

塚本学院校友会誌ウイングス
Number 44
wings
January.2023



2022年12月30日速報!!
大阪芸術大学
富士山女子駅伝10位健闘
選手みなさまおめでとう!
監督、そしてサポーターのみなさま
ありがとうございます。

表紙の作品は、アーティストの松本セイジ様(大阪芸術大学美術学科 OB)の作品です。
ありがとうございました。

プチギャラリー Wings に掲載する在学生作品を選んでいただいた 大阪芸大 美術学科
版画コースの日下部一司先生、山本善一郎先生、短期大学部 デザイン美術 版画担当の安
井寿磨子先生、大船光洋先生、大阪芸大 工芸学科 テキスタイル・染織コースの竹垣恵子
先生(広報委員)ありがとうございました。

企画広報委員長 田村昭彦



塚本学院校友会
会長 福永 亮碩

今年こそは・・・

塚本学院校友会会員の皆様新年おめでとうございます。

今年は卯年、昨年暮れ1字でその年の世相を表す「今年の漢字」では「戦」と決定されました。この漢字の右側部分の「戈(ほこ)」は、古代中国の武器を表し「戦」は武器を使っての争いごとといわれています。

「戦」に投票された多くの方々は、ロシアによるウクライナ侵攻を意識され、その戦争が今年こそ終結して平和な世界が訪れることを祈念されての投票ではなかったかなと推測します。

そして、さらにもう一つの願いは、パンデミック4年目の今年こそ新型コロナウイルスと人類の戦いが沈静化して、平穏な日常が取り戻されることではないでしょうか。ひょっとしたら平穏な平原に真っ白なうさが飛び跳ねているような、争いごとのない世界の実現を飛躍・向上の象徴ともいわれる今年の干支“うさぎ”に託されたような気持ちになりました。

このような厳しい状況下ではありますが校友会員の皆様におかれましては新型コロナウイルスにおけるいろいろな制約があるなかで作品展・音楽会等精一杯の活躍をされていることに対して常にエールを送っているのも私ひとりではないと思います。特に最近の傾向として、会員の活動の場が、映画“男はつらいよ”シリーズで寅さんが大活躍していたような地方の町、しかもその場所が大きなホールやギャラリーではなく小さな喫茶店・レストラン・お寺・神社・教会等において校友会員はもとより住民も参加しての催しが増えてきたように思われます。

まさに大阪芸術大学グループ各学校の卒業生すなわち塚本学院校友会の会員諸氏が全国津々浦々で活躍している証だと思いよろこんでおります。

さて、私共塚本学院校友会は、令和6年(2024年)に設立55周年を迎えます。そのため、一人でも多くの会員の皆さまとの交流があり親睦が深まりそして母校の発展に貢献する記念事業を企画実施する体制を役員会の中に整えたところです。その活躍にご期待ください。

最後になりましたが、会員各位のご健勝ご多幸を祈念するとともに、本号の企画・編集そして発行にご尽力いただきました田村昭彦企画広報委員長はじめ委員の皆様、各種情報を提供いただきました会員の皆様及び各学校関係者に対しまして厚く御礼申し上げます。

1 令和3年12月5日(日) 定例役員会

- ①理事1名の辞任が承認された。
- ②各委員会の活動報告が行われた。

2 令和4年6月19日(日) 定例役員会

- ①理事1名が選任された。
- ②令和3年度事業報告・決算が承認された。
- ③令和4年度事業計画・予算が承認された。
- ④各委員会の活動報告が行われた。



塚本学院校友会一般会計 (単位：円)

科 目		令和 3 年度決算額	令和 4 年度予算額
収 入 の 部	前年度繰越金	7,246,506	9,709,000
	名簿頒布金	0	0
	基金受取利息	155,443	150,000
	預金受取利息	56	1,000
	一般寄付金	10,000	0
	広告収入	150,000	140,000
	基金繰入金	47,000,000	58,000,000
	雑収入	0	0
	合 計	54,562,005	68,000,000
支 出 の 部	会 議 費 (各種会議開催経費)	3,144,244	5,500,000
	名簿調整費	0	0
	会誌発行費 (wings印刷・送付経費)	15,419,612	17,000,000
	表彰協賛費 (催し物協賛)	1,742,665	2,000,000
	準 会 員 費 (奨学金等在校生支援費)	8,617,680	11,500,000
	渉外慶弔費	598,500	1,000,000
	支部開設費 (支部開設準備・運営費)	0	1,000,000
	記念行事費	0	0
	ITシステム諸費 (ホームページ運営経費)	297,352	4,300,000
	雑 支 出	770	800,000
	事務局費 (事務局人件費・事務用品等)	15,031,451	20,880,000
	予 備 費	0	4,020,000
	合 計	44,852,274	68,000,000
差 引 繰 越 額		9,709,731	

会長挨拶 1

役員会報告 2

ピオレやスマートEXのキャラクターデザインを手がけ
日本にとどまらず世界で活躍するアーティスト
松本セイジ 4

あのこと、あの場所で、
キャンパスは永久(とわ)に 6

卒業生が働く会社訪問 10
NHKを陰から支えるタイトルアート

工房訪問 Vol.2 14
Galerie I.TO 伊藤 均さん・伊藤 尚子さん

探検部 17
50周年記念集会

井上博道記念館 18
井上博道

佐々木侃司先生 広島にて遺作展
しごきの野球部展 20

RED BULL BOX CART RACE OSAKA 2022
大阪芸大 '83 OB オッサンズ 24

80年代の作品が
本年度の中学校用図書教材「美術資料」に掲載されました
中西 學 26

質感ノイズ 28
増田敏也

美しい名画の配色 ポストカードブック 西洋編
高田 雄吉 30

見る人に静かに語りかけて心に印象を残すロゴを設計。
京都市京セラ美術館
杉崎 真之助 31

母校愛のきずな「親子二代Vol.11」 32

開催報告
第26回 高山竹あかり 35
長谷川 政弘

堺市「大仙公園日本庭園写真コンテスト」 36
和泉市久保惣記念美術館 久保邸(登録有形文化財)庭園
「橿原神宮の森の再生計画」プロジェクトに、チャレンジしています
「チームフクハラと日本庭園」世界で作る日本の庭園 作品展
福原 成雄 / 奥見 俊晴

げいたんほいくの「あんよがじょうず」 40

出かけるアート パートⅡ 41

Design Intelligence Award (DIA)
デザイン賞を受賞 42
大阪芸術大学 建築学科
木寅 篤人

国際審査員長に任命され参加しました 43
大阪芸術大学短期大学部 デザイン美術学科 学科長
松井 桂三先生

令和4年度
校友会社会貢献等支援事業概要 43

発表します(2023)・発表しました(2022) 44
会員の各種活動に対する支援状況

奨学生の声 50

関西学生・全日本大学 52
対校女子駅伝結果報告

凸凹母校 活躍するOB・OG特集 54

プチギャラリー Wings 70

ハガキ短信 76

書籍・CD・DVD出版 80

支部活動 開催報告 82

学びのフィールド 87

学校法人塚本学院
研修センター施設のご案内 88

学校便り 90

学生活動支援制度 93

入学試験日程 95

図書館の利用について 97

2023 卒業制作展のご案内 98

卒業生114,000人とツナガル
Business Card Ad100

執筆等、お世話になった方々102

Artist
松本セイジ

2007年度 大阪芸術大学美術学科 卒業 (F04115)

ビオレやスマートEXのキャラクター
デザインを手がけ日本にとどまらず
世界で活躍するアーティスト



活動状況

大阪芸術大学を卒業後デザイナーとしてキャリアをスタートしました。東京、ニューヨークでの活動を経て、現在は長野県の山麓にアトリエを構えて活動しています。制作はアート作品から、企業のイラストやキャラクターグッズまで多岐にわたります。自分の活動に対して、自分自身で制限を設けたくないという理由からアート、イラスト、デザインのジャンルに捉われずに境界線を超えて表現しています。これからも、さまざまなジャンルを経験しているからこそできる表現を求めて、自由に活動していきたいと思っています。

作品について

僕の作品は、自分自身の何気ない生活から受けた刺激や感動などの経験を元に、すでに日常の中にある幸せを動物達に表現しています。多くの人が生き行く中で、



In cheese 2022
1620×1303×63 アクリルキャンバス

辛いことや悲しいことなど、大変なことばかり感じてしまう時があると思います。実際、僕自身も幸せを探してしまう時があります。でも本当は幸せは近くに必ずあって、気付いていないだけだと思うんです。作品が、その幸せに気付くきっかけになればという思いを込めて制作しています。

大学時代について

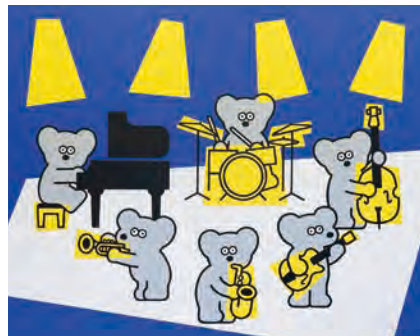
絵を描くのが好きだったので美術学科を受験しました。大阪芸大一択でした。実家から近いという理由からです。一年生で油画、日本画、版画。彫刻を学び最終的に木版画を専攻しました。透明水彩の色合いや木版画独特の風合いに惹かれたからです。制作は真面目にやっていた方だと思います。遅くまで制作して「**ゲーダイガー***」の練習を横目に見ながら帰宅するのが好きでした。印象に残っていることは、卒業制作を作っている時に何を描けばよいか悩んでなかなか進めずにいました。その時に先生に「たくさん作品を作りなさい」とアドバイスを頂きました。一つの作品に時間をかけて悩みすぎず、多くを作っていく中から見えてくるものがあると伝えてくれたんだと思っています。その言葉は今でも大事にしています。

学生たちに伝えたいこと

今になって気付いた事でもありますが、周りを気にせずに自分自身が楽しいな、好きだなと思う事をやってほしいです。やりたいことが途中で変われば、また新しく取り組みばいいと思っています。たとえ失敗しても気にしないでいいです。失敗するより、将来にやっておいたら良かったと思う方が僕にとっては怖いんです。体験が多いほど視野も広がります。僕も今までの経験が、すべて糧になっています。自分の人生は自分で決めて生きてほしいです。

ゲーダイガー* について

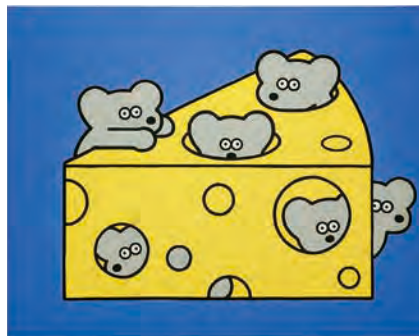
大阪芸術大学のサークル、『芸大アクションチーム (Geidai Action Team)』略して GAT が製作しているローカルヒーローです。シナリオ・殺陣・衣装、全てオリジナルのショーを製作・公演しています。



とある日の週末 2022
1303×1620×63 アクリルキャンバス



Can't sleep 2022
1303×1620×63 アクリルキャンバス



ANDY-Hide-and-seek 2021
1120×1455×63 アクリルキャンバス

展覧会歴

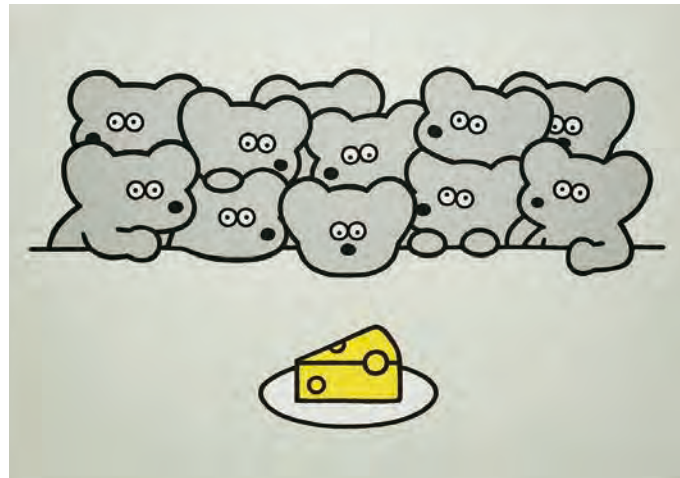
2022 - 個展 / 心斎橋パルコ / 大阪(日本)
2022 - アートフェア / Kiaf PLUS / ソウル(韓国)
2022 - アートフェア / art stage OSAKA / 大阪(日本)
2022 - グループ展 / YUKIKO MIZUTANI / 東京(日本)
2022 - アートフェア / ART FAIR TOKYO / 東京(日本)
2021 - 個展 / YUKIKO MIZUTANI / 東京(日本)
2021 - 個展 / Foret Coffee / 長野(日本)
2020 - 個展 / CLOUDS GALLERY+COFFEE / 東京(日本)
2019 - 個展 / NOS ORG SHIBUYA / 東京(日本)
2019 - 個展 / Café Grumpy FiDi / ニューヨーク(アメリカ)
2019 - グループ展 / SBC GALLERY / ニューヨーク(アメリカ)
2019 - グループ展 / Bank Bed Gallery / 東京(日本)
2018 - 個展 / Foret Coffee / 長野(日本)
2018 - グループ展 / Hive gallery / ロサンゼルス(アメリカ)
2018 - グループ展 / Robert miller gallery / ニューヨーク(アメリカ)
2018 - 個展 / Café Grumpy Chelsea / ニューヨーク(アメリカ)
2017 - 個展 / ambassador / ニューヨーク(アメリカ)
2017 - 個展 / Café Grumpy Fashion District / ニューヨーク(アメリカ)
2017 - グループ展 / Beyond Studios / ニューヨーク(アメリカ)
2017 - 個展 / SBC GALLERY / ニューヨーク(アメリカ)
2017 - 個展 / Café Grumpy Grand Central Terminal / ニューヨーク(アメリカ)
2017 - グループ展 / House of yes / ニューヨーク(アメリカ)

今後の展覧会(2023年以降)

2023年以降も個展やアートフェアへの参加を予定しています。

プロフィール

1986年、大阪府生まれ。
大阪芸術大学卒業後、デザイナーとしてキャリアをスタートさせました。
東京、ニューヨークでの活動を経て、現在は長野県の山麓にアトリエを構えて活動しています。
主に、動物をモチーフにした作品を描く。
アート、イラスト、グラフィックデザインの垣根を越えて様々なフィールドで自身の世界観を表現している。
これまでに東京、ニューヨーク、ロサンゼルス、ソウルなどの都市で個展やアートイベントへ参加。New Balance、NIKE、UNIQLO、The New York Times など国内外の様々なプロジェクトに携わる。



ANDY EVERYDAY 2021
1120×1455×63 アクリルキャンバス



探しもの 2022
803×1000×63 アクリルキャンバス



それぞれの世界 2022
1303×1620×63 アクリルキャンバス



ANDY Trashcan 2021
1000×803×63 アクリルキャンバス

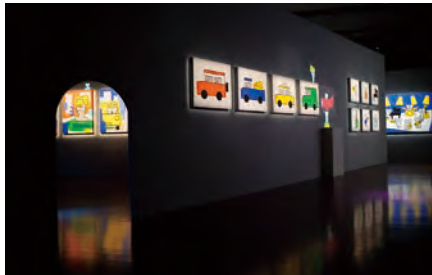


日々の習慣 4 2022
530×455×63 アクリルキャンバス

EVERYDAY 2021



Fun! 2022



連載企画

あのころ、あの場所で、Part 3

キャンパスは永久(とわ)に

■取材・文責／企画広報委員 和田 貢

■現地撮影・調査／企画広報委員 平松 佑介 東陰地 正喜

『あのころ、あの場所で、』は3回目の連載となりました。今回は前号で紹介しきれなかった写真をもとに、思い出の場所を訪訪し、あの場所は今?を探ります。前回提供いただいた、芸術計画学科1980年卒業の片岡昭夫さんをはじめ、今回はWINGUSの発行に携わる企画広報委員の皆さんからも沢山の懐かしい写真をいただきました。



あのころ



現在



嗚呼～学園祭 1978

最初にご紹介するのは1978年の『芸大祭』の風景です。大学生活で楽しみイベントのひとつが学園祭です。今も昔も変わらず学園祭では模擬店や演奏会、作品展示など、さまざまな催し物がありますが、大きな違いは学園祭での飲酒です。当時はあまり問題視されていませんでしたが、2000年前後から未成年の飲酒による事故やトラブルが取りざたされ、昨今では未成年の飲酒禁止が強化され酒類規制を実施する学園祭が多く、私どもの大学祭でも今は全面禁酒となっています。また、写真をよく見ると、当時のトレンドがうかがえます。時代背景はアメリカで長髪にパンタロンをはくヒッピー文化が生まれ、日本にもそのブームが到来。長髪の有名人やフォークソング歌手が登場し、ヒッピースタイルを真似る若者が全国にあふれていたころでした。今のように茶髪や金髪のカラーリング生徒が見受けられないのも時代を感じさせます。



1976年、77年当時の芸大祭ポスター。多分、在校生の作品だと思います。

あのころ



模擬店での買い物、
飲食も楽しみのひとつ、
今も昔も変わらず、
学生たちは趣向を
凝らしたお店を展開!

現在



あのころ



現在



このあたりに
当時のグラウンドが
あったようですが・・・

グラウンドはいずこ

次に、この古い2枚の写真から探索を開始しました。場所は1976年、当時のグラウンドと体育会系の部室です。体育の授業でしょうか?ソフトボールのようです。その奥に体育会系クラブの部室が少し見えています。かなりアバウトな場所指定と当時の学舎配置図サインの写真が添えられていましたので、おぼしき場所を探してみました。当時のグラウンドはキャンパスの学舎の連なりが終わる、7・8号館を過ぎたあたりから、緩やかな傾斜の坂を上ったところにあったように思います。この学舎配置図(今はキャンパス案内)をもとに探索しましたが、旧グラウンドは、現9号館と10号館をふくむ、キャラクターデザイン学科の新校舎33号館あたりまでの、広い範囲の一角だと思われます。今となつてはこの広範囲のなか、ピンポイントで場所を確定するのは困難でした。しかし、この辺りの写真を見ると、当時グラウンドを隔て、金網越しに部室の前に広がっていた雑木林の雰囲気が残っているようにも思えます。また部室も1980年代頃に改修され、その後移転して今は立派な2階建てものになっています。

あのころ



撮影場所

あのころ



現在



あのころ



1976年当時の学舎配置図

現在



今のキャンパス案内
※撮影時に33号館は記載されていませんでした。



実習の財産

今度はWINGS企画広報委員から提供の3枚の写真です。時は1974年。写真実習で『自宅から学校まで』というテーマで通学路の行程写真を撮る授業があり、そのうちの現存する3枚です。どのような道順でこれを撮影したのか、不明ですので、大学を臨む写真以外は、現在の場所特定に、かなりの時間を費やしました。何とか概ねの場所が分りました。特に最初の写真ですが、塔屋看板からうかがえる、トヨタカラーの店舗も今は無く、近隣の同名店舗を探してみました。170号線にトヨタカラー南海富田林店がありました。店舗に問い合わせましたが随分昔に移転したそうです。当時を知る方が一人もいないので、旧住所は不明のまま、不鮮明ながら写っているバス停（今はありません）の停留所名を参考にしました。じっと眺



3枚目は芸坂を登る手前の空き地（現在はバスの待機場所として利用されています）からの撮影でしょうか？現在見るできない校舎が写っていますが、古い学内案内図にあった0号館なのでしょうか？今の9号館や10号館が存在するあたりはグラウンドになっていたことがわかります。

学生時代毎日歩いて登った芸坂ですが、現在はバスが11号館前まで登ってくれるようになりました。

（撮影・現地調査：平松・和田 企画広報委員）

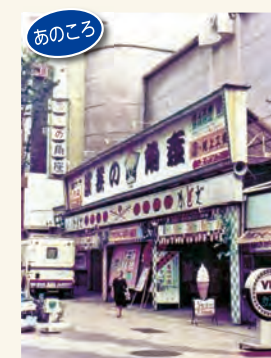
NANIWA HISTORY 梅田から難波まで

そして今回も前号に続き『あのこと、なにわのあの場所で』をご紹介します。ここでも解明が困難な1枚の写真がありましたが、添付には1976年の御堂筋と記されていましたが、御堂筋は梅田から難波までは一方通行ではと疑問が・・・なぜか写真では対面通行です。調べてみると梅田新道（南北／御堂筋＝国道176号と東西／国道1号・2号の交差点）より北から梅田までの短い区間だけ両面通行になっていることが判明し、梅田の第3ビル・第4ビルの並びに向かって撮影しました。多分ここら辺りかと思われます。



●千日前アーケード

右側「うなぎ豊川」の向こうに「敷島シネマ」があり、これは現在パチンコのマルハンのビルの4FにあるTOHOシネマズなんば別館になっています。現在は、垂れ幕がかかってアーチ状の「千日前」の看板は見えませんが、覗き込むと元の場所に残っていました。



●芝居は中座（上）・演芸は角座（下）

中座の閉館は1999年10月末ころ、跡地は「中座くいだおれビル」となっています。角座の跡地には現在は下にドラッグストアや回転寿司などの店舗が入り、上はホテルになっています。なお、演芸場としての角座は1984年に閉鎖され、86年に映画館を含む複合ビルに改装され再オープンしたようですが、それも2007年に閉鎖したとのことです。

（撮影・現地調査 東陰地 企画広報委員）

資料：写真提供

1980年芸術計画学科卒業（T6020）
岡山市少林寺拳法連盟 理事長
芳賀狭山スポーツ少年団 支部長
片岡 昭夫さん

写真提供

（1986年学生自治会アルバム委員会制作『夢彩色』より）
スタジオトキワ 大和郡山市東丘町



●移転前の新歌舞伎座

現在は新歌舞伎座跡地としてファサードだけ残って高層ビルになっています。新歌舞伎座の移転先は上本町6丁目（近鉄劇場跡地）です。なお、難波は2009年6月に閉鎖しました。



お知らせ

塚本学院校友会誌ウイングスでは、会員の皆さまからの『あの場所の今を知りたい!』に、お答えしようと思っています。書面にて、今を知りたい場所や、当時の写真、エピソードなどを添えて、校友会事務局まで、お知らせください。

塚本学院校友会事務局

〒546-0023 大阪市東住吉区矢田2-14-19
塚本学院校友会『あのこと、あの場所』係宛

NHKを陰から支えるタイトルアート



左から、岩竹彩華さん、鵜飼 隆さん、辻本恵子さん、林 洋一さん

1971年に創業された、放送グラフィックスの制作会社タイトルアート。
NHK大阪放送局を中心にNHKの縁の下の力持ちとして、日々のニュースやその他の番組制作に貢献されています。そんなタイトルアートさまには、5名の大阪芸大グループ出身者が働いていると聞きつけ、社長の鵜飼隆さまとともに、林洋一さん、辻本恵子さん、岩竹彩華さんに、お話を伺いました。
なお、浜崎広さんは取材当日、ニュース番組本番に入られていましたので、同じ質問事項に書面でご回答いただきました。

——本日はお忙しいところ、みなさん、ありがとうございます。早速ですが、まず鵜飼さんにお尋ねします。社長から見た、お一人お一人の仕事ぶりや人物像を紹介していただけますか？

鵜飼：まず、林さんは、私よりも社歴も長く、現場の中核の一人ですね。設備面や機材にとても強く、ベースとなるシステムや、人の管理も含めた、うちの仕事のプラットフォームを構築、運用してくれています。2003年の地上波のデジタル放送への移行という大転換期も、彼がいたから乗り切れましたね。またシフト調整など、若い社員にも慕われ、休みの相談など彼のところにみんな行くんですが、うまく調整してくれています。
次に、卒業してないからと、取材は固辞されたんですが、もう一人圓光さんという方もキャリアが長く、林さんとともに、システムの構築と維持に貢献されています。機材に精通していて、



圓光弘一さん

鵜飼 隆さん（有限会社タイトルアート取締役社長）

林 洋一さん

大阪芸術大学映像計画学科（1987年度卒業）

浜崎 広さん

大阪美術専門学校デザイン学科コンピュータグラフィックス専攻（1987年度卒業）

圓光弘一さん

大阪芸術大学音楽学科中退（1988年度入学）

辻本恵子さん

大阪芸術大学デザイン学科ビジュアルアーツコース（2011年度卒業）

岩竹彩華さん

大阪美術専門学校コミック・アート学科コミックイラストコース（2018年度卒業）

トラブルの対処やメンテナンスなど、外部業者に頼れない際にも彼がいることで、仕事がスムーズに進められます。今日はニュースに入っていて、来れませんでした。浜崎さんも、彼らと同じくキャリアが長くて、デザインに長けた社員です。常にデザイナーとして成長しようとしていて、妥協しない姿勢を見せてくれます。番組改編期など、たとえば「ほっと関西」など長く続くニュース番組でも、年度ごとにイメージの変更を行うのですが、その度に新しいデザインに挑戦し続けて、より良いものを追求しています。



また若手では、辻本さんが既に中堅として立派な仕事をされています。放送中の朝ドラ「舞いあがれ!」のテロップ制作を引き受けてくれています。常に冷静沈着で、安心感があります。うちの仕事は、さまざまなセクションの発注者さまと一緒に番組を作っていくので、スタッフ間のコミュニケーションが欠かせません。彼女は、控えめで積極的に口を出すタイプではありませんが、鋭い観察眼で議論を見聞きして、ここぞというタイミングで建設的な意見を述べてくれます。そういうところは、芸大で副手をされていて、先生と学生の間の橋渡しをする仕事をされていた経験が活きているんだろうなと思います。
さらに一番若い岩竹さんも、美専でアシスタントをしていたということで、常に現場を明るくしてくれています。何より笑い声がいちばん大きい（笑）。もちろん、デザインの仕事もしっかり勉強されており、貴重な戦力です。本人がイラスト教室の先生をしていたり、自分の絵の時間をとりたいということで、残念ながらフルタイムでは勤務されていないのですが、他の社員からも慕われていて、DTPの

最後の砦」と呼ばれています。

——岩竹さんはフルタイムじゃないんですね？

鵜飼：そうなんです。もちろん、こちらとしては毎日来てほしいという気持ちはあるんですが、それぞれのライフスタイルを尊重して、気持ちよく働いてもらえる会社でありたいと思っていますので。
辻本さんもそうですが、女性としてデザインの世界で生きること、その働き方のモデルになってほしいですね。デザインのスキルだけでなく、発注者様とのコミュニケーションを大事にする、先方を喜ばせるスキルというのは、彼女らに共通する長所です。

——ありがとうございます。みなさん、素敵な会社で、素敵な社長さんの下で、思う存分活躍されているようです。では、そんなみなさんに質問です。まず、学生時代の思い出や印象的なエピソードがあれば、教えてください。

林：大学入ってまず驚いたのが、デカい、ということですね。それと、当時は、喜志駅から大学までのバスが坂の下までしか行かなくて。今は？

辻本：今は、芸大坂の上までバス行きますよ。

林：羨ましい。でも、あの芸大坂を毎日歩いて上り下りしていたのが印象に残っています。帰りとか、バスがなくて、歩いて駅まで行くこともあって、田畑の間を抜けていくんですが、雀除けの空砲が鳴ったりしたときはびっくりしましたね（笑）。
大学には色々な学科の人がいて面白かった。通学に2時間半くらいかかってましたが、苦にならないくらい、毎日学校に行くのが楽しみでした。



辻本：私はビジュアルアーツコースにいて、デザイン学科の中でもアート寄りの勉強をしていたんですが、学内ギャラリーでグループ展示を経験したことが印象に残っています。私も1時間半か2時間かけて通っていましたが、本当に学校は楽しかったです。
副手をしていた頃は、色々な先生について、シルクスクリーンなども制作させてもらう機会があって、すごく面白くてためになりました。

岩竹：私の場合はお二人と違って、美専なので、すごく小さい学校なんです。色んなコースがあって、中庭とかに行くと、必ず誰か他のコースの友だちがいて、色々な話が聞けたのが楽しかったです。
授業では、芸大の先生も多くいらっちゃって、美専にいながら、芸大のお話がいろいろ聞けたのが良かったです。



浜崎：入学前の美専見学で「これからはコンピュータでデザインする時代になる」とお聞きし、特に機械やコンピュータが好きなわけではなかったのですが、新設されたばかりのコンピュータグラフィックス専攻に入りました。世界中がAdobeのソフトでデザインするようになる何年も前のことで、確かLINKSというCG機や、初期のアップルを触っていたと思います。デザインを学び、デザイン制作するツールとしてコンピュータを使うというコンセプトだったと思います。覚えているのが、仮想企業のロゴを制作するという課題で、ロゴシェイプをデザイン考案するプロセスを学び、Adobeソフトもない頃にロゴをアップルで作ったことです。

——みなさん、いい学生生活を送られていたようですね。さて、そんな学生時代に学んだことや経験したことは、今のお仕事にどう繋がっていますか？

林：私は映像計画学科だったので、それこそ学生時代はずっと、物事を様々な角度から見ることを仕込まれました。また、撮影一つにしてもそれぞれの過程で色々なことを考えながら作業することが癖づけられていました。その経験は今も活きていると思います。

——学生の頃から、この会社でバイトをされていたとか？

林：はい、3回生の頃にここでバイトをしていて、それも面白かったのですが、4回生では他の会社も考えて就職活動をしました。でも、当時の社長に「林くん、うちの仕事が好きなんやったら、来たらええ」と誘ってもらって。
学生の頃から、フィルム撮影の勉強もしていたんですが、個人的にはビデオに興味があって。当時のビデオって、ちやちい画質なんです。面白くて。まだテープtoテープの編集が主で、コンピュータグラフィックスもあるにはありましたが、ごく初期のものでした。会社に入ってからすぐの頃は、まだ写植も使っていました。局とのやりとりもあってEグラフっていう専用機を使ったり、Photoshopなどを使うようになったのは、入社してから10年後くらいですね。

卒業生が働く会社訪問

——では、コンピュータを使った作業とか、システムの構築とか、そういうのは、すべて仕事の中で覚えていったという感じですか？



林：そうです。とにかく使えないと仕事にならないので、必要に迫られて取り組んでいくうちに覚えたり、新しいことを学んでいく感じでした。そういうの好きなんで、楽しかったですけどね。ただ、今の学生さんは最初からコンピュータで作業しているので、羨ましいですね。

辻本：私も、学生時代は手描きとかで作品を作ることが多くて、PhotoshopもIllustratorもちよっと触ったことがあるという程度でしたから、就職した時は大変でしたね。アナログから急にデジタルの作業に、しかも経験のない放送用のデザインというのもあって戸惑いました。

——では辻本さんも働きながら学んでいったんですね。

辻本：はい、先輩について少しずつ勉強して。

——今はお一人で朝ドラ関連のテロップ制作を担当されていると聞きましたが、いつ頃、自分の仕事に自信が持てるようになりましたか？

辻本：いえ、まだ、、。まٰ3年目くらいには、少しは。

林：嘘やん、1年目からバリバリ戦力になっとったで。

辻本：ありがとうございます。でも自分では、まだまだ学ぶことがたくさんあります。

鵜飼：謙遜してますが、もう、うちには欠かせない存在です。

——なるほど。岩竹さんは、まだ経験が浅いですが。

岩竹：そうですね、学生時代はコミックイラストコースで、デジタルで絵を描くことはしていましたが、広く浅くという感じで、そんなにAdobeのソフトにも詳しくなくて。アシスタント時代に他のコースのお手伝いをする事が多

くて、授業や先生のデザインのお仕事をお手伝いしたことが、少しは今の仕事に役立ってるかなと思います。

浜崎：放送用グラフィックスの世界では、Adobeソフトも使われていない頃から既に専用アート制作機器での制作でした。特に機械好きでもない私が、入社直後から手探りしながらでも制作機器でのアート業務に対応できたのは学校でコンピュータ機器で制作をする下地があったからだと思います。

——ありがとうございます。

では、みなさんの今後の目標や、やりたい仕事について教えてください。

林：システムにせよ、人の管理にせよ、今やっている仕事が好きなので、このまま、これをもっと究めたい、という感じです。

辻本：私も今やっているデザインの仕事で、もっと番組のサポートをしていきたいですね。番組のコンセプトに沿った心地よいデザインで、視聴者に見やすいデザインを心がけていきたいです。

岩竹：私はまだまだ新人で、TV業界向けのデザインをもっと基礎から学んでいきたいです。仕事中はもちろんですが、美術展や普段の街歩きや電車の中でも、家でテレビを観ていても、レイアウトや色遣いといったデザインに関する気づきは多くあるので、いっぱい吸収して、もっといい仕事ができるようにしたいです。

浜崎：報道ニュース番組のアート業務に今後も携わっていければと思います。

時が過ぎるのは早いもので、気がつけば私は退職年齢まであと7年足らずです。約20年前、会社のトップが変わり新入社員が多く入ってきた時期、中堅で若かった私は、がむしゃらに仕事をしてきました。

その頃の新入社員たちは、現在社内各部署の中心となり、クライアントである大阪局の信頼を得ています。

逆に私は衰えを感じる日々ではありますが、残る数年ニュースアート業務で貢献できればと思っています。



浜崎 広さん

——みなさん、どうもありがとうございます。では、最後に社長の鵜飼さんに、大阪芸大グループの出身者に共通するところ、あるいは彼らに期待する点がありましたら、教えてください。



鵜飼：私自身は大阪芸大出身ではなく、これも古いイメージかもしれませんが、もともと自然豊かな土地に新しく生まれた芸術大学であり、伝統に寄りかかるのではなく、伝統を作っていくんだという気概のある大学、という印象がありました。デザインが社会を開いていく、そんな信念が感じられる学風で、自分自身をデザインする人が集まる場所、と感じています。彼らに共通するのは、個性豊かでユニークだという点です。先生方もユニークですよ。芸大の自由な精神、それが底流にあると思います。そして自由人でありながら、基礎はしっかりと仕込まれています。

私たちは、あくまで黒子です。クライアントであるNHKの要望に沿って進化してきました。そのなかで、局の報道、番組スタッフ、技術スタッフと様々な擦り合わせを行い、番組を下支えし、局の役に立つ仕事をするのが使命です。ですから、デザインだけでなく、林さんや圓光さん、浜崎さんをはじめ社内の一岡が、局のさまざまな部署のみなさんと共同しながら円滑に仕事のできる社内制作システムの構築やプラットフォーム作り、その維持・運営をしてきました。そのすべての面において、先の三人を含めた大阪芸大グループのみなさんは、本当に大きな力を発揮してくれてきましたし、これからもそれを期待しています。



「バラエティ生活笑百科」オープニングアニメーション 2017
画像提供：NHK



一人ひとりが活発な細胞だとすると、それがシナプス結合のようにネットワーク化してスパークする、そんな可能性に期待しています。

——今日は、お忙しいなか、本当に貴重なお話を伺えました。どうもありがとうございました。



会社のロゴを作った夫馬千里さん(故人)も大阪芸大出身(環境計画学科 昭和51年度卒業)

有限会社タイトルアート

1971年に設立。NHK大阪放送局におけるタイトル、フリップ制作について業務委託契約を締結。
翌72年にはNHK神戸放送局、NHK奈良放送局とタイトル制作契約。以後、NHK和歌山放送局、NHK京都放送局、NHK大阪放送局から随時に受注。さまざまな制作業務へと拡大。
以降、99年には3DCG制作を開始し、2003年には地上デジタル、ハイビジョン放送への対応に向けた新体制への移行、2005年にはバーチャルスタジオセットの制作、さらに近年ではリアルタイム・オンエア・グラフィックス、4K対応など、NHKの要望に応じて常に新たな制作システムを構築しながら、グラフィックス制作を中心に、NHKおよび関連団体のコンテンツ制作をサポートし続けている。

本店所在地 大阪市中央区内農人橋1-4-6-206
事業所 大阪市中央区大手前4-1-20
NHK大阪放送局12FタイトルC.G.コーナー
代表者 取締役 鵜飼隆
従業員数 33名(アルバイトスタッフ含む)

取材・文責／企画広報委員 東陰地 正喜
菅原 広司



「第52回 NHK 上方漫才コンテスト」オープニングアニメーション 2022
画像提供：NHK



京都の伊藤家にある Galerie I.TO にて 美専の卒業生が展覧会

伊藤 均 (学籍番号 08025)

〈プロフィール〉

1948年	京都市に生まれる
1973年	大阪芸術大学 工芸学科陶芸専攻卒業
1975年	京都府立陶工専修職業訓練校卒業
1982年	大阪芸術大学 附属大阪美術専門学校 陶芸研究室勤務
1986年	走泥社同人
1986～98年	走泥社展 (京都市美術館、伊勢丹美術館)
1991,93,2000,05年	ギャラリーマロニエ (京都)
1993年	領域…線 (京都)
1994,96年	集雅堂ギャラリー (大阪)
1998年	走泥社解散
1999,2001年	CITY GALLERY
2001,03年	目黒陶芸館
2004年	50CeramicWerks (長野県立信濃美術館)
2006,10年	GALLERY はねうさぎ (京都)
2008,9,12,13,18年	天野画廊 (大阪)
2009年	gallerism2009 画廊の視点 (大阪) 日本と済州海を越えたやさしめの造形美 山田光展走泥社とともに (岐阜県現代陶芸美術館)
2017年	アートフェアアジア (福岡)
2018年	大阪美術専門学校退官
2019年	骨髄異形成症候群による白血病の為死去8/24



伊藤尚子さんの作品



伊藤均先生



伊藤均先生の作品

〈美術専門学校〉

夫伊藤均は、大阪美術専門学校の黎明期より 70 歳で退官に至るまで、約 40 年陶芸指導を主に運営に携わっておりまし

た。その間には、沢山の先生方・スタッフの皆さん、そしてバラエティに富んだ個性豊かな学生さん達…指導という立場もさることながら、新しい発見の日々フレッシュな感性に学ぶところも多く、共に成長させて頂いたようです。

〈走泥社—山田光先生のこと〉

1979 年の秋、芸大の陶芸研究室に長めの髪はボサボサ、少し歪んでメガネを掛けた初老の男性が林康夫先生の後ろにくつつくようにやって来ました。四回生の私達は興味津々、土ム口に登り窓越しに中を覗いていました。口の悪い学生は『東海林太郎みたいなオッサンが来たで!』と。

その後、後期から教壇に立たれる山田光先生と紹介されました。走泥社展ではスタイリッシュで抑揚の効いたオブジェ、丸善・ヤマハ等のギャラリーでは洗練されたモダンなクラフト作品、それらとは正反対の、朴訥な風貌にビックリ! とつつと話をされるひと言ひと言に、地に足のついた重みと飾らぬお人柄に魅了されました。山田先生が来校されると誰ともなく日本酒を買いに走る学生が。当時の工芸棟の裏にあったプレハブでの先生のお話は、主に走泥社と八木一夫さんの事。初めはゆっくりと、お酒が入ると滑らかに…。

プレハブから実習棟の間には急な土手があり、登るのが困難な先生の手を女子学生が引っ張ります。先生は少し顔を赤らめ『君の手は冷たいなあ』と云われました。

翌年 4 月研究室長となられ、夫と私はスタッフとして関わる事になりました。折にふれ走泥社でのエピソードを伺う度、八木一夫さんが亡くなり間もない頃に、芸大に来られた山田先生の喪失感は私達には計り知れないものだったと思います。1986 年先生にお誘い頂いて、夫は走泥社同人となり、多くの方々との関わり、新しい創作の道へと進みました。

〈夫の病氣〉

15 年前ステージ 1 の肺癌に罹患し右肺の一部とリンパの摘出手術を受けました。その後も時々息苦しさを訴え入院、その時の血液検査で血液の癌『骨髄異形成症候群』と診断されました。70 歳以上・肺疾患有りという 2 つの理由で骨髄移植は無理、治療方法は輸血と酸素吸入そして抗癌剤投与でした。毎朝渡される血液検査の結果を推考することと、リフォーム中のギャラリーデザインが病と対峙するエネルギー源だったようです。2 つ目迄の抗癌剤は効果も副作用も無く、3 つ目の薬投与の翌日、酸素吸入の目盛を MAX にしても息苦しく、自らモルヒネを請い間もなく旅立ちました。最後迄『イラチ』でした。



〈Galerie I.TO〉

2020 年コロナ禍で様子を見つつ、ギャラリーをオープンしました。元々「あたりえいとう」として工房を運営していましたので、やはりフランス語表記かな(?) という理由で Galerie (ギャルリ) I.TO (イトウ) と名付けました。

I と TO の間には・があり、(I) には私・愛、(TO) には陶という意味も含んでいます。卒業生をはじめ作家の発表の場として、画像だけでは得られない作品の真の姿・空間、そしてその場で出会う一期一会の人々…退官数年前から



卒業生の作品

2 軒続きの住居の一部をギャラリーにしたいという思いがあったようです。京都駅から地下鉄で 15 分、北大路駅の北に隣接する我が家は賀茂川のほとり、利便性と静かな環境にあります。リフォームはゆっくり進み週 1 回のペースで設計士さんと打ち合わせ、時には、病院の談話室でという事もありました。築 90 年を超える京町家の利点を生かしつつ、外壁下部には 40 年使った窯の棚板を利用し、車椅子でも移動し易い段差の無い桜材の床等、自分であれこれ決めたにもかかわらず工事の途中で旅立ちました。

2020 年 7 月オープニング企画展として [伊藤均展] を開催しました。自宅に『小さなギャラリースペースを…』

陶芸を愛し、志半ばで逝った夫の作品展、饒舌ではなかった夫の作品を通して彼と対話して頂ければ…という想いでした。

薫陶—そして・それから… 美専陶芸研究室 OB・OG 展

2022 年 5 月に Galerie I.TO で開催されたグループ展は、生前常々云っていた『卒業生の皆さんに発表の場を提供したい』という遺志のもと、現研究室のご協力ですべての卒業生の皆さんに出展をお願いしたところ、50 名近くの方が参加して下さいました。立体作品が多くを占める陶芸の展示、壁面のスペース活用は、晩年夫がお世話になった『天野ギャラリー』の天野和夫さんが壁に設置する小箱を伝授して下さいました。(後日見本が送られてきました) 感謝!!

亡くなった同級生の作品を携えた人、子育ての前に制作したものを送ってきた人、この展示を機に久々の作陶、友人の窯で焼成してもらった人…搬入は 2 日に渡り皆さんでワイワイと…入口近くに掛けた写真の夫も『おおやっとなるなあ〜』とよろこんでくれたことでしょう。長い年月の間には、それぞれ制作出来ずにいる事情があり、このグループ展が創作への新たな足掛かりとなる事を願います。卒業生だけでなく、新旧のスタッフの皆さんも出展して下さい、その中の元スタッフ (現 琉球大で教鞭を取っておられる) 亀井洋一郎さんが [ある一つの事] (I 先生の言葉から) に添えて夫の文章を送って下さいました。

『ただ森羅万象の内に「ある一つの事」に非常に興味を持ち始めると、その事をテーマに作品を創る。他人が何を言おうと、世間がどう動いていようと、作家という当人に置いては、ただ黙々と「つくる」という行為をくり返すだけなのだ。仮に、「ある一つの事」がどんなにつまらない事であっても、当人には、今非常に重大なテーマなのだ。そして作品が出来る事は、彼の宇宙に新しい空間が生まれることを意味する。そこから又次の作品への足がかりが出現する。とはいっても、そう次から次へと、新しい出会いが表出する訳でもなく、行きつ戻りつの様である。作品を見て「心を悩まし」新しい出会いに「思い焦がれる」のである。作者は、きっと、己の次の作品をつくる為に、今の作品をつくっているのではないかと思う。』(陶説に掲載)

ものを作る人ならどんなジャンルであれ共感し確信をもって次の制作に進める文章です。作品をお返しする折にコピーを添えました。小品ながら其々のエネルギーが伝わる良い展示でした。『搬出はボチボチよろか』と思っていたら



工房



エントランスの展示

最終日直接引き取りに来られた方々が『あっ!!』という間に終了! 嬉しい誤算でした。勿論、その後の乾杯!! は盛り上がりました。搬出作業の、何倍もの時間をかけて…。

〈作品と今後の展望〉

私の作品 [POINT OF VIEW ー視点] は子どもが 20 歳を迎えた頃に制作したものです。母親として見守る存在でありたいとの想いから、方向性を持った 4 つの立方体を組み合わせた壁面レリーフで、キューブを斜めにずらし金彩を施した焼締めの作品です。リフォーム前、夫が『コレを展示する個展せな…なっ』と云っていたのを思い出し、20 年ぶりに展示したところで気付きました。『見守られてるのんわたしの方やん! 夫に…』

ここ数年『月』をテーマにした作品を作っています。それまでは抽象色が強く立方体・錘・球体等をモチーフにしていましたが、球である月へ、同じく球体の太陽はいつもギラギラしたまんまる! しかし月は日々形を変え、ゆるやかに光り、特に昼の月『残月』は己の存在をひた隠すようにひっそりと佇む、まるでこちらの心情を投影するかのようで魅力的です。制作は何にも左右されずに、身の回りの些細な事象に気付き、素直な想いと願いを作品に具現化していきたいと思っています。Galerie の企画は月 1 のペースでばちばちと、次の世代に発表の場と人と人の繋がりを大切に、新たな発見の空間であると同時にほっこり出来る『トキ』を提案したいです。2023 年 4 月には [伊藤均・伊藤尚子ふたり展] を予定しております。京都にお越しの折りは是非お立ち寄り下さい。



田村委員長と伊藤尚子さん 取材の様子

展覧会予定

〈Galerie I.TO 企画展予定〉

2023.2 月	大越順子個展 (版画) 芸大卒
2023.3 月	斎藤稜・煤田亨樹展 (木工)
2023.4 月	伊藤均・伊藤尚子ふたり展芸大卒
2023.6 月	藤川稔 + 2 人 (陶芸) 美専卒
2023.10 月	佐藤ゆき・浅田宏 2 人展 (陶芸・木工) 美専卒

〈伊藤尚子発表予定〉

2023.1 月	1/18~24 名古屋三越 (名古屋)
2023.4 月	伊藤均とのふたり展 (京都)
2023.9 月	二人展・古書ギャラリー月 (東京)



展示・販売の作品

伊藤 尚子 (学籍番号 C 6027)

〈プロフィール〉

1957 年	名古屋に生まれる
1980 年	大阪芸術大学 工芸学科陶芸専攻卒業
	中日国際陶芸展 [外務大臣賞] (名古屋)
	朝日陶芸展 [朝日陶芸 81 賞]
	[8 人の方向展] ギャラリー白 (大阪)
	2 人展ギャラリーマロニエ (京都)
	京都クラフトセンター (京都)
	アトリエ kiki (京都)
	[京に育まれた女性 2 人展]
	[ガラス造形と陶芸 2 人の作家展] (山梨)
	[ふたりの伊藤尚子展] (大阪)

個展

p-wood ギャラリー (伊丹)	azed (奈良)
六曜舎 (大阪)	ピアマグランカイ審査員
静かな向い風 (兵庫)	銀座・名古屋・倉敷・広島・福岡
ギャラリーアングルワン (大阪)	三越にて発表
piare (姫路)	2020 Galerie I.TO 開設
oldcourse (大阪)	

取材: 企画広報委員長 田村 昭彦
撮影: 校友会事務局 松本 晴名

50周年記念集会

探検部

時空を超え、タイムスリップ
大阪中央公会堂の45人!

100周年へ向け 次の50年へ!

2022年6月18日



集合写真



総会の様子

開催地、大阪のシンボル築 100 年の大阪中央公会堂大ホールでの 1 日は、参加者 18 歳 ~ 70 歳の 45 人が懐かしい探検部「部室」へタイムスリップしたようなぬくもりとあたたかさに包まれた中で、創作年表ワークショップ、自己紹介や活動プレゼン、部歌発表と時空を超え、たっぷりと幸せな 1 日となった。

願わくば 50 年後の 100 周年も「会いたい」を肴に集える、このような至福の素晴らしい会であって欲しい。

(追記) 当日参加 41 人、リモート 4 人、合計 45 人と子供達
1972 年 6 月大阪芸大探検部創立であり、集会当日は正確に創立 50 年に当たり、コロナに関わらず流石探検部!

文責 首藤 (旧姓: 戎) 由美子 (学籍番号: L2013)
1976 年 大阪芸術大学 文芸学科卒

- ◆ 名称 大阪芸術大学 探検部 創部 50 周年記念集会
- ◆ 場所 大阪中央公会堂
- ◆ 日時 2022 年 6 月 18 日 (土)

- ・実行委員会メンバー 集合
- ・会場作り 受付、机椅子配置、オンライン準備、子供休憩場所 (テント) 等、飲み物等準備 藤原好彦、中村治、上嶋佳子、濱地彩 他
- ・50 年の創作年表ワークショップ 10m の模造紙を使用し、2m を 10 年単位として 50 年分の年表作成。持参してきた写真等を置く。(撮影) 小澤貴仁

- ◆ 1 部会 オンライン開始 赤松富美雄 (司会者) 山口亜希、高田昌耶
- ・開始の挨拶 / OB 代表 恋水善弘
- ・出席者紹介 / 顧問 (奥田基之先生)、OB、現役生
- ・50 年の創作年表の解説 (司会進行) 小堀洋
- ・講演 1 / 上村武継

- ・講演 2 / カール友波 (原口由美子)
- ・講演 3 / 入江努
- ・講演 4 / 安田佳弘
- ・講演 5 / 現役代表 岩井原拓己

- ◆ 2 部会 オンライン中
- ・ライブ / 渡辺哲存
- ・全員の記念撮影
- ・終了の挨拶 / 実行委員長 伊藤郁夫

- ◆ オンライン終了



ライブの様子

※探検部 OB でコンタクトをとりたい方は、facebook のグループ「大阪芸大探検部」を検索し、実名にて参加希望をお願いいたします。

井上博道記念館



2022年6月28日、1983年から1997年まで教鞭をとった井上博道(1931-2012)を記念するミュージアムが奈良市内に開館しました。

井上 博道



井上博道は、昭和6年(1931)、兵庫県香住の禅寺の長男として生まれました。昭和29年(1954)に龍谷大学文学部仏教史学科を卒業し、産経新聞社に入社。編集局写真部に配属されます。博道が産経新聞に入社するきっかけを作ってくれたのは司馬遼太郎でした。在学中、博道は大学の隣にある西本願寺へたびたび撮影に行っていました。そこで当時西本願寺詰めの産経新聞記者だった司馬遼太郎に出会います。その後、司馬遼太郎との縁は生涯続きました。博道にとって司馬遼太郎は、少し歳の離れた兄のような存在でした。新聞社在籍中、その後の礎ともなった仕事がありました。担当記者が司馬遼太郎、撮影が博道というコンビで取材した『美の脇役』(淡交新社、産経新聞社編、1961)の出版です。この時の博道は入社4年目。まだ20歳代の仕事です。『美の脇役』は産経新聞大阪版文化欄にほぼ毎週、4年にわたって連載された記事が一冊の本にまとめられたものです。四天王に踏みつけられる邪鬼や石段に彫られた文様など、主役にはならずとも、独特の存在感を放っている「美」に注目した博道独自の視点が遺憾なく発揮された作品です。

昭和41年(1966)にフリーカメラマンとして独立後、雑誌「太陽」の取材や、淡交新社『邪鬼の性』『山の宗教』などの仕事が続きます。なかでも昭和56年(1981)に出版された『隠れた仏たち』(学生社)は、無名の仏像に

スポットライトを当てたもので、知られざる仏像の魅力を伝えた点で注目に値する作品となりました。



大阪芸術大学に奉職、そして

フリーになってからも出版社の仕事を精力的にこなす中、昭和58年(1983)、岩宮武二先生のお誘いを受け、大阪芸術大学 写真学科に勤務することになりました。大学で教鞭をとっている時代に博道が一番大切にしていたことは、若い学生たちとの触れ合いでした。若者と直に接することで自身のエネルギーも充填されているようでした。教えることで学生たちが成長していくその姿を見るのがとても嬉しかったようです。特に学生たちと一緒に行くゼミの撮影旅行は毎回とても楽しみにしていました。そして何よりも、大学勤務が博道に与えた最大の影響は、学生たちからの刺激によって博道の作風が徐々に変わっていったことにあると思います。博道独自の写真の世界は、大学奉職後に生まれたと言っても過言ではないでしょう。以降、『奈良万葉』(奈良市、1988)、『葛城の道』(御所市、1988)、『やまとのかたち』『やまとのころ』(講談社、1993)などの出版が続きます。なかでも平成元年(1989)に出版された『東大寺』(中央公論社)は、東大寺の年中行事を中心にドキュメンタリータッチで撮影したもので、若い頃からの東大寺に対する博道の思いが込められた代表作となりました。

大学退職後は、撮影・創作活動に専念することになり

ました。昭和53年(1978)、奈良に自宅を置いてからは、主に奈良の風景や文化財を撮影していましたが、退職後は一層奈良に対する思いが強くなり、県内の各地域を網羅的に撮影するようになりました。平成24年(2012)、撮影中の不慮の事故により81歳で他界しました。

井上博道記念館について

博道が遺した写真の枚数はおよそ17万枚に及びます。写真家本人が亡くなった後、重要となる課題は大きく分けて二つあると思われます。一つは写真そのものの保存。二つ目は写真活用の促進です。本人が亡くなった後、遺族や関係者はどのようにしてこの二つの課題に向き合うのでしょうか。井上博道の場合、保存と活用の事業は、博道が創業した井上企画・幡に委ねられることになりました。博道が亡くなった直後から、井上企画・幡は遺作の保存と活用の道を探っていましたが、2015年になって会社の事業の一つとして活動をスタートさせることとなりました。そして足掛け8年の歳月をかけて、フィルムの整理と保存処理、及びおよそ2割のフィルムのデジタルアーカイブの作業をおこなってきましたが、それもまもなく完了しようとしています。そして、その次は、一人でも多くの人に博道の写真を観ていただく施設を作ることが目標になりました。

奈良の魅力を伝えたい。このような想いから井上博道記念館は設立されました。当館は、博道が最晩年の10年間を過ごした住宅を写真美術館に改装したもので、柱や梁には奈良吉野産のスギやヒノキが多く使われています。改修にあたっては、もとの良さを生かしつつ、構



造材にマツ、クリ、ケヤキなどの国産材を新たに導入し、また、化粧柱や引戸の制作に数寄屋建築の伝統の技を駆使するなど、館内の随所に様々な工夫が凝らされています。

当館の最大の目的は、博道が撮影した写真を通して、奈良の知られざる魅力を多くの人に伝えることにあります。また、写真を展示するギャラリーに加え、ダイニング、カフェ、ショップも併設し、来館されたお客様に、心静かに、ゆったりとした時間を過ごしていただける場となっています。

寄稿者 / 井上 千鶴
原稿依頼 / 企画広報委員 平松 佑介



〒631-0003 奈良市中登美ヶ丘2丁目1984-31
電話 0742-43-9111
FAX 0742-43-9222
E-mail him@ban-dorigine.co.jp

開館日 / 毎週木曜日、金曜日、土曜日の3日間

開館時間(営業時間)

ギャラリー	11:00 ~ 17:00
カフェ・ショップ	11:00 ~ 17:00
ダイニング	11:30 ~ 14:00 (要予約)



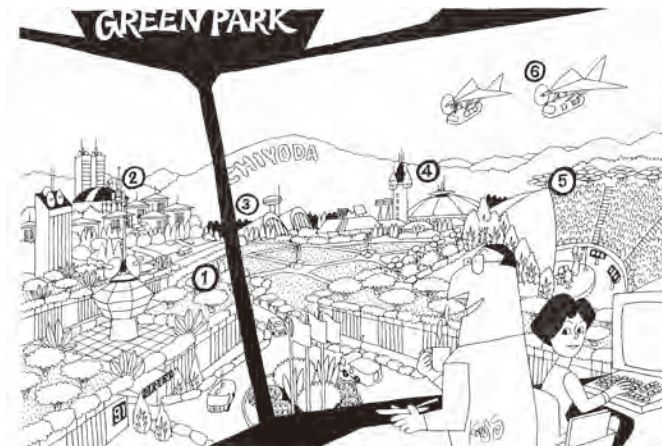
佐々木侃司先生 広島にて遺作展 しごきの野球部展

期 間：2022年7月6日(水)～7月31日(日)

会 場：北広島町図書館 本館ギャラリー

北広島町にゆかりのデザイナー佐々木侃司先生の展覧会が開催されました。長年サントリーでデザイナーとして活躍され、ワインラベルや広告制作の他にも、北 杜夫「どくとるマンボウ」シリーズや開高 健、吉行淳之介などの書籍の装丁イラストなどを手掛けられた佐々木侃司先生から、昭和59年に寄贈いただいたイラスト作品42点の他、この展示会のために借用したイラストを展示しました。

戦後、大陸から現・北広島町へ引き揚げて来た佐々木少年が熱中した「野球」をテーマにした作品群「しごきの野球部展」は、スポーツや学業に熱中する学生や、当時を体験した方に懐かしさを感じて頂きました。



千代田の未来(イラスト 佐々木侃司先生)



新たな社会 "Society5.0" (イメージ図) (文部科学省より提供)

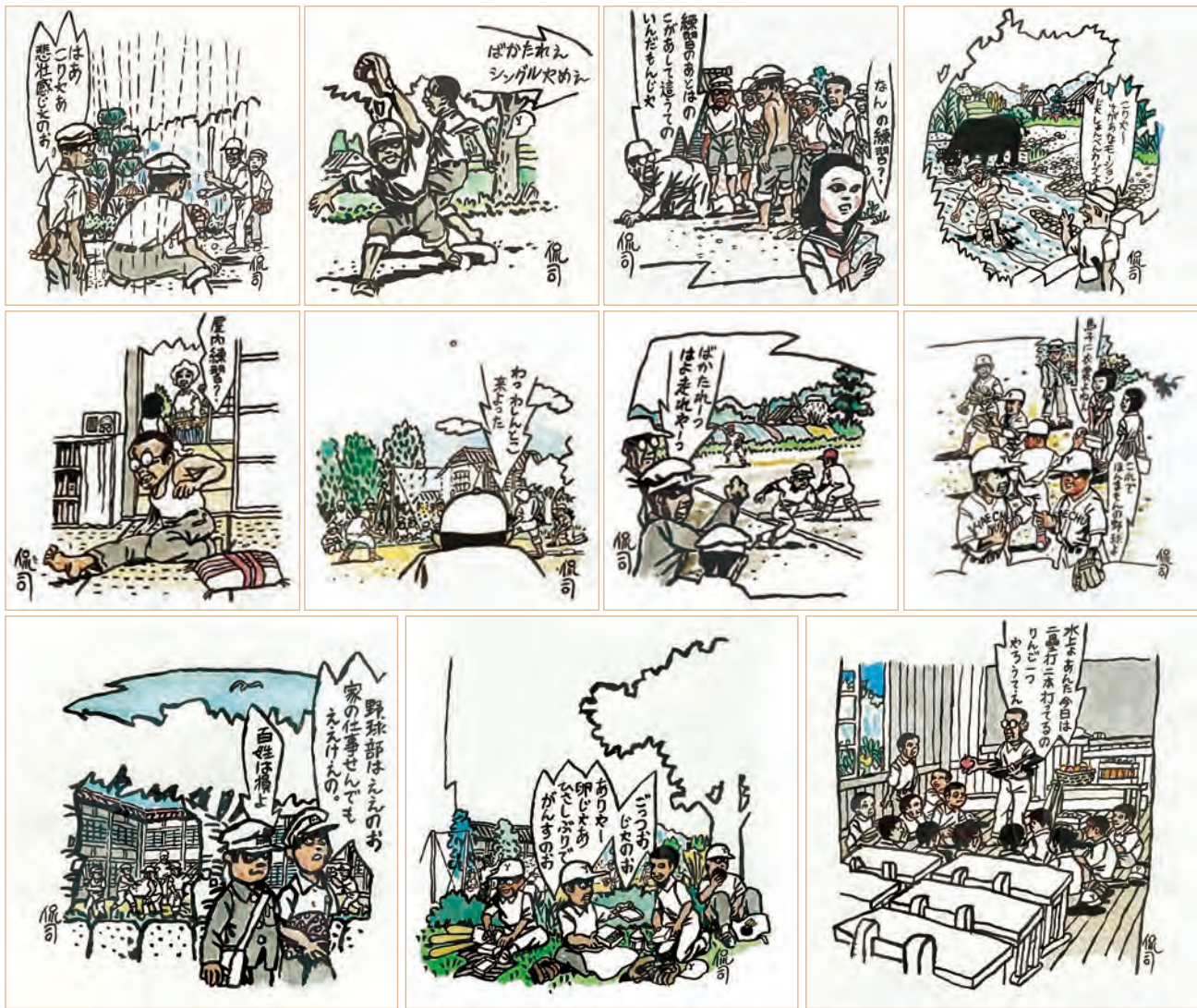
千代田の未来は、佐々木侃司先生が今から50年も前に考えた千代田の未来図です。ドローン・集合住宅・アリーナ・シアター・スマート農業・無人カーなど、現在、国が進めようとしている「Society5.0」と呼ばれる近未来社会の図と類似しており、佐々木侃司先生の豊かな想像力、発想力に感嘆するばかりです。

1972年、映像学科の前進である映像計画学科が増設されて2年目、我々が2回生の時、佐々木侃司先生は映像合成演習(当時、一年二コマの演習授業。後にアニメーション研究に改名)という科目の担当として就任された。一回生の終わりがろ学科長が「君ら、サントリーのトリスウイスキーのCFアニメ、アングルトリスを知ってるか、その作者の柳原良平さんに、来年から来てもらおうで」とおっしゃっていましたが、2回生になってカリキュラム表見ると、担当が佐々木侃司になっていたのです。初日、教室に現れたのはピンクのジャケットにピンク掛かったネクタイ、黒縁の眼鏡を掛けた小柄な体躯の人。ビジュアルな効果は抜群。「今日から映像合成演習を担当する佐々木侃司です」「サントリーの宣伝部デザイン室に勤めています」オー、映画志望の我々でも天下の洋酒メーカー、そのデザイン室のことは知っている。羨望感が漂います。「ここだけの話ですが、実はここに来ていることは社に内緒で、終われば直ぐに社にもどります」と話されると、やおら白墨を持ち、黒板にあの北 杜夫著(文庫本)『どくとるマンボウ』シリーズの装丁や挿絵に観られる独創的な3等身のプロポーションキャラが描かれ、横にローマ字のサイン、佐々木侃司が記されていたではないか。「イラストも描いております」…本物だ!! 今後の授業内容に興味がわいてくるのでした。

佐々木侃司著『絵かき教室』に書かれた文章の中に「絵を画くのは上手でなければという考え方がおかしい」「絵を見ることの楽しさはあっても下手だときめつけて絵を画くことのたのしさをしらない」「下手な絵でも創造を楽しむ権利をつかめ」という言葉があります。今でこそアニメ制作を目指す人は多いでしょうが、当時は高名脚本家である依田義賢学科長のもと、劇映画製作を目指し入学した人がほとんどだったと思います。我々の思い、絵のセンスを知っていたかのように、このコンセプトで進む演習授業は我々にピタッとはまる処方箋のようでした。「まず絵とは重要な《情報手段》だと考えよ」犬を描いて猫に見えては誤解が生じる。それには形状の《細部にこだわるのでわなく》、《シルエット》で捕えよ。その特徴を捕え典型化、簡略化、単純化し、それが《らしく》見えさえすれば《情報》として伝わる」「《らしく》表現できれば、そのものの機能、その特質など付加し、加工表現するのがキャラクター造形、デザインといえるものです」まさしく現存しない犬なのだが、犬なのである。現存しない人間なのだが人間なのである。

創造された佐々木侃司スタイルのキャラが黒板に並ぶ、創造する楽しさが伝わってくるのでした。

佐々木先生が、我々を引き付けたもう一つの理由があります。それが酒学なる講義の存在なのです。課題の講評が終わり、先生の「まだ時間が余っていますので、少しお酒の話でもしましょうか」この言葉が切っ掛けで、酒学なるものが開講されたのです。タイトルには「酒のいろいろ」「蒸留酒、醸造酒について」「ワインの手引き、ビールについて、ウイスキー考」「二日酔い」「飲みすぎない為には」「酒にかかわる人間模様」などなど、さすがサントリーにお勤めだけあって酒について詳しく、



展覧会情報/写真提供:佐々木 仁司
1986年度 大阪芸術大学 映像学科卒業 (V83067)



どくとるマンボウ医局記 北 杜夫 著



酒について キングズレー・エイミス 著



その話題は豊富。虚実ない交ぜにしたような話は生々しく、講義の域を超え、漫談を聞いているかのように思わず聞き入ってしまいました。我々の強い要望があって「でわ酒学を始めます」で始まる講義。授業内後半にこの特別講義が付いてくるのです。カリキュラムに載らない幻の教養科目です。アニメ学と酒学が、佐々木先生のエンターテイナー性を介してコラボした映像合成演習は、緊張と緩和のバランスのとれた素敵な授業でした。決して押し付けるのではなく、個性を引き出すための簡単な道筋を示してくださいました。酒学を通して滲み出る人柄、授業内容、イラスト群は、今でも私の創造に深く影響しております。

卒業後私は映像学科研究室にはいりました。私を含め副手、先生方の研究室退出時間ごろになると、「第二研究室に先に行ってます」の伝言がまわってきます。第二研究室とは行き付けのビアホールのことです。実は佐々木先生は大のビール党です。すでに佐々木先生は我々の席を確保して、〈ジョッキ〉と〈殻付きの南京豆〉、〈ショートホープ〉をくゆらしながらの、いつも変わらぬこのスタイルで待っておられます。目が合うと三種の酒器を前に、あのチェシヤ猫のニタ。アイン・ツワイン・ドライ!! 飲むほどに酔うほどに話しがはずみ、能弁は冴え、我々も乗っかって、さらにしゃべり続けて終電車に駆け込む。春夏秋冬多い時には週4回もありました。まるでパッカスのもとに集う信者のように。その様な日常が今は懐かしく思いだされます。

文責/企画広報委員 吉川 幸夫



左：八重中学校野球部 集合写真 佐々木侃司先生(後方 右から3人目) 右：佐々木侃司「おもいで」(「館報ふるさとだより8月号」より抜粋)



佐々木 侃司 (ささき かんじ)

1933年 旅順大連生まれ
 1957年 京都市立美術大学工芸科卒 / サントリー株式会社宣伝部入社
 1960年 「どくとるマンボウ航海記・北杜夫著」装幀・イラストレーション
 1964年 NHK教育TV・みんなの歌アニメ制作
 1976年 「酒について・キングズレー・エミス著 吉行淳之介/林 節雄訳」装幀・イラストレーション
 1993年 「どくとるマンボウ医局記・北杜夫著」装幀・イラストレーション・著書 「絵かき教室」(金園社)
 日本宣伝美術会会員・日本漫画家協会会員・東京イラストレーターズクラブ会員
 1971年 大阪芸術大学映像計画学科 教授
 1989年 大阪芸術大学映像学科 学科長 就任
 2005年1月24日没

久保田 晴名 (MS11038) 2024年度 大阪芸術大学大学院 博士課程(前期) 修了

毎年8月に京都のアートギャラリー北野にて、他大学の出身者と展覧会を開催しております。参加メンバーは、京都精華大学、大阪教育大学、倉敷芸術科学大学と多岐にわたり、制作や作品に対する意見交換をしながら切磋琢磨しております。今回はコロナによる自粛制限の緩和により、旅行やアウトドアへの願望や憧れが動物たちに強く反映された作品となりました。

第5回 草創

●期間

2022年8月3日(水)
 ～8月8日(月)

●会場

アートギャラリー北野
 京都府京都市中京区
 恵比須町439-4 コーカビル

使用素材：パネル・ワトソン紙
 油性ボールペン
 アクリルガッシュ



飛行機雲
 220×273mm



Summer vacation
 190×273mm



準備万端ー浮き輪ー
 180×140mm



準備万端ービーチボールー
 180×140mm



準備万端ースイカ割りー
 180×140mm



準備万端ーサーフィンー
 180×180mm



準備万端ー潜水ー
 140×180mm



drive
 220×273mm



travel
 180×180mm



ペンギンフロート
 230×180mm

ここはどこでしょう？

校友会事務局に残っている資料の中にあったモノクロ写真。この写真が何年何月に撮られたものなのか、記録が一切ありません。

写真から読み取れるのは塚本学院初代学長・理事長の塚本英世先生と熱心に話を聞く生徒たちです。ノースリーブと半袖のシャツやワンピース。という事は夏のスクーリングでしょうか。

ヒントは現在も残っている場所です。

思い出してきました？
 円形校舎の最上階にある、あの部屋です。





左から、岩崎 純 (デザイン学科インテリアD専攻)、石川成利 (デザイン学科インダストリアルD専攻)、秋田 康 (デザイン学科インダストリアルD専攻)、大杉基也 (工芸学科テキスタイルD専攻)

デザイン課題に明け暮れた 苦しくも楽しい日々を 取り戻そうと活動を開始。



こんにちは！私たちは、大阪芸術大学を1987年に卒業しました4人組「**大阪芸大 '83 OB オッサンズ**」です。今回、私たちが25年振りに集まって挑戦しました、「**RED BULL BOX CART RACE OSAKA 2022**」についてレポートさせていただきます。

RED BULL Box Cart Race とは、規定に沿って作られた動力を持たない手作りのカートを使って、カーブやジャンプ台が設置されたおよそ 340m の坂道コースを使用し、カートの創造性、レース前のパフォーマンス、そしてタイム、以上 3 つの基準で競うレースです。海外では「Soapbox Car」や「Soap Cart」と呼ばれています。この動力を持たない手作りの車を使ったレースは、世界各地で開催されている人気の高いイベントで、レッドブルは独自のマーケティング戦略の一つとして、2000 年より世界各地で 138 回以上、日本では 2009 年から 4 回開催しています。

私たちは卒業して就職してからも、スキーやバイクツーリングなど何かと遊ぶ時は一緒に行動していましたが、結婚してからはそれぞれの生活重視で、次第に会う機会も



1990 年頃の四人組

少なくなり、日々仕事と家庭中心の毎日でした。しかし最近では子供も成人し、自分の時間も増えたけれど何かするでもなく過ごしていたら、気が付くと 60 才近く

に！『ああ、こんな事じゃいかんなあ…』と思っていた矢先、テレビで流れた「RED BULL BOX CART RACE OSAKA 2022 が大阪・万博記念公園で開催！エントリー 7/22 まで！」というCMを見て、「あっこれだ！カートを作りたい！」とビビッと来ました。

早速 25 年振りに連絡を取り参加を呼びかけたところ即座に皆 OK。大学時代のデザインの課題に明け暮れる苦しくも楽しい日々を取り戻そうとおバカな活動が始まりました。

1000 通を超す応募から幸いにも審査に通過した 35 チームの中に入る事が出来た私たちのデザインは、運転席にハンモックを採用した、滑走しながら休息と癒しが味わえる究極のドリームカー。前後のポールにバランスよく吊られた布製のポケットコクピットは、身体が包み込まれ、左右の揺れと、上下のバウンドを吸収しながら、様々なコーナーを華麗にクリアしていくというコンセプトです。



応募したデザイン

東大阪の溶接施設でシャーシ部分とハンモックバー、ハンドル連結部分を制作し、試運転を繰り返しながら装飾を施して約 2 か月、本番の 1 週間前というギリギリに完成しました。



カートの名前は、SANITATEM 1983 GG-R TURBO (SANITATEM=サニターテム (ラテン語で癒し))



レース風景 (ドライバー大杉)

いよいよ 2022 年 10 月 22 日 (土) 大勢の観客の中本選が開催！史上最大の難関コースと称された、角度 35° のスタート坂から、高さ 35 cm のジャンプ台、高低差 7cm の波状パネル、スラローム障害物、二つの 45° バンクを難なくこなしながら走行していましたが、最終コーナーを攻め過ぎてクラッシュ！なんとか起こしてゴールは出来て完走しましたが、クラッシュした影響が大きく、招待カートを含む 44 台中総合 27 位という結果でした。

デザイン案から実際に制作し、皆が同条件の中、技とスピードとユーモアを競い合うまでの 5 か月間、なんて楽しかった事でしょう。今はレッドブルロスが続いています。この楽しみを知ってしまった私たちは、もう止められませ

ん。もう既に次のデザインをどうするか考えている私たちが怖い。皆さんも参加してみれば分かります。この感動を一度味わってみませんか？

今回制作にあたり、塚本学院校友会様はじめ多くの方々にご協力いただきました。重ねてお礼を申し上げます。

QRコードを
ご覧ください。

レースの様子は、レッドブル公式HP

<https://www.redbull.com/jp-ja/events/red-bull-soapbox-japan-2022>



制作の様子は、「大阪芸大 '83 OB オッサンズ」チーム

Twitter @hWR1gmJM9UDHnLZ



チームyoutubeチャンネル

https://youtube.com/channel/UCK_nW88OnzhGMHidBiNrLuw



大阪芸大'83OBオッサンズ

秋田 康、石川成利、岩崎 純、大杉基也

プチギャラリー Wings

コミック・アート学科 美術・工芸コース (版画専攻)

大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校

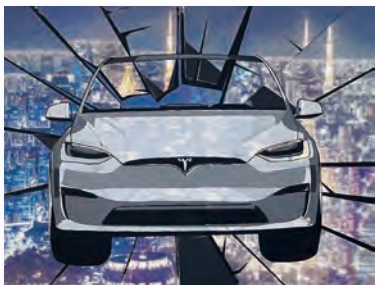
作品サイズの単位は mm



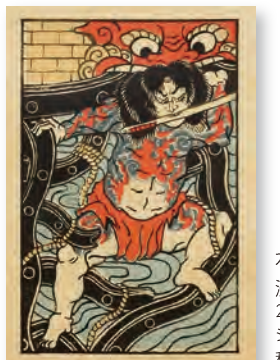
I (past and present)
井上 夢依
524 × 411mm
ドライポイント / 紙



囁き蠢き
廣瀬 陸
510 × 393mm
紙凹版 / 紙



テスラモデル X
川畑 保々美
400 × 532mm
シルクスクリーン / 紙



水門破り
濱中 祐介
234 × 153mm
シルクスクリーン /
和紙



Mike Ehrmantraut
中前 和太
300 × 224mm
木版画 / 紙



ありがたく受けたまえ
鄭 翔兮
150 × 100mm
木口木版 / 和紙

中西 學 80年代の作品が 本年度の中学校用図書教材「美術資料」に 掲載されました

(2022年4月株式会社秀学社発行)

1982年 大阪芸術大学 芸術学部 美術学科 卒業
2016年 大阪芸術大学大学院 博士課程(後期)修了 博士(芸術)取得



中学校美術教材・新版『美術資料』表紙

本年度の中学校の美術教材・新版『美術資料』(写真右上)に、80年代の拙作「THE ROCKIN' BAND: The Guitar Man」(写真右)が掲載されました。この作品は、1985年(7月15日～20日)美術評論家・たにあらた氏企画による「臨界芸術・'85年の位相展」(村松画廊・東京)に初出品しました(2018年には「ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代」国立国際美術館に展示)(写真下)。長く創作活動を継続していると、思いがけないことが起こりました。



「ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代」国立国際美術館 2018
撮影: 中西學



新版『美術資料』(41頁・いろいろなものに描く)

兵庫県立美術館開館20周年「関西の80年代」展について(2022年6月18日～8月21日開催)

出品作は36年前の『アート・ナウ'86』(兵庫県立近代美術館)において発表した「THE SUPER PALACE」の部分です(写真右下)。仮定のロックバンド「THE ROCKIN' BAND」を和風建築にある欄間彫刻に見立て、作品構成要素の1部として制作しました。「関西の80年代」では、当時と異なり、作品を横一列に配置するという初の試みにより、あらためてロック音楽と日本の装飾様式との融合を提示しました(写真左下)。また郷愁感など全くなく、今の時代と向き合う新作同様に発表しました。



「関西の80年代」兵庫県立美術館 出品作
撮影: 高嶋清俊



「THE SUPER PALACE」1986「アートナウ'86」
撮影: 石原友明

創作に関して(創作活動40周年展「My trial road 1983-2023」に寄せて)

1980年代初頭の駆け出しの頃は原色を多用し、音(ロック音楽、都会のノイズ、稲妻音など)をイメージした開放的で疾走感のある造形作品(平面・立体)を日本各地のギャラリーや美術館で精力的に発表しました。そうした「音」を思索していると、宇宙誕生の「ビックバン」のような現存しない音へと関心に移り、やがてそれは宇宙(天体)をテーマにした作品へ接続されました。また1990年代から2000年代には、アートと天文を融合させたコンセプトで実験的な展覧会を行うようになりました。

そして、ここ近年は、「光源」「渦流」「溶食」などの『変化する現象』を主題とした展覧会の開催はもとより、各地で宇宙や天体を題材にしたワークショップの実施や日本の伝統染色技法のひとつ「越前墨流し」の研究発表も行うなど、駆け出しの頃には想いもよらないことに取り組んでいます。

創作活動40周年を迎え、今後も作品表現の可能性を探索し、展覧会や自身の振る舞いが、少しでも社会貢献につながるよう努めたいと考えています。



個展「溶食形態Ⅱ」(天野画廊・大阪) 2022



個展「造形の諸相」- Polymorphous - (茨木市立川端康成文学館) 2021

【展覧会歴】(近年の主な展覧会等)

2015年	徳島県立近代美術館開館25周年記念展 「人間表現を楽しむ25のとりら展」 個展「中西 學・造形の世界」 (徳島県立近代美術館主催 展示ギャラリー)	2021年	個展「造形の諸相」- Polymorphous - 茨木市立川端康成文学館ギャラリー企画 (茨木市立川端康成文学館)
2017年	「新古宮展」(伊丹市立伊丹郷町館/岡岡田家住宅・酒蔵 旧石橋家住宅)	2022年	兵庫県立美術館開館20周年記念展 「関西の80年代」(兵庫県立美術館) 『日本の戦後彫刻』(徳島県立近代美術館) 国立国際美術館イベント 『NMAO トーク・マラソン2022』に登壇 「関西ニュー・ウェイブとその時代」 中西學(現代美術家)×安来正博(国立国際美術館上席研究員) 「現代アートフェスティバル」 (近鉄上本町店8階アートギャラリー・大阪)
2018年	ART OSAKA 2018・大阪芸術大学ブース (ホテルグランヴィア大阪) 「ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代」 (国立国際美術館)		
2019年	奈良町現代美術館開館25周年において個展 「渦流のふるまい」開催		

【2023年展覧会情報】

2023年2月18日-2月26日	中西 學 創作活動40周年記念展「滑らかな多様体 - The Scope of Topology -」 宝塚市立文化芸術センター(キューブホール)・兵庫
2023年11月予定	中西 學 創作活動40周年記念展「My trial road 1983-2023」 あべのハルカス近鉄本店美術画廊・大阪



中西 學 [Manabu Nakanishi] (DS13002)

プロフィール

1982年大阪芸術大学 美術学科卒業後に創作活動を開始する。
1985年の兵庫県立近代美術館(現・兵庫県立美術館)「アート・ナウ'85」を初め、日本各地のギャラリーや美術館で作品を発表し、高い評価を得る。1987年吉原治良賞美術コンクール展においてコンクール賞受賞、1990年には大阪市の「咲くやこの花賞」(美術部門〈現代美術〉)を受賞する。近年は徳島県立近代美術館「中西學・造形の世界」の展覧会開催、国立国際美術館「ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代」出品の他、伊丹市立工芸センター(現・市立伊丹ミュージアム)など各地で宇宙を題材にしたワークショップを実施している。現在 大阪芸術大学短期大学部 デザイン美術学科 客員教授

増田 敏也 1999 年 大阪芸術大学 工芸学科 卒業
 仮想世界（イマジナリー）と現実世界（リアル）が
 混在する現代のリアリティ

質感ノイズ



Low pixel CG「オールスター」
 2019年／陶
 W29×H12×D13.5(cm) ※片足分のサイズ
 個人蔵



Low pixel CG「質感ノイズ 青花2」
 2022年／陶
 W24×H24×D35(cm)

Q.1 陶芸作品を作るきっかけについて

大学卒業後、金工副手になってから制作する中で「幼少期に影響を受けたゲームの世界観を立体化したい」という思いが強くなり金属で制作するも、素材に関して疑問が生まれ、よりデジタルなビジュアルを表現する上でイメージのギャップが大きい陶芸という存在を意識するようになってから陶芸をメインにするようになりました。

Q.2 作品コンセプトについて

質感や実在感のないCGというデジタルイメージを、質感や実在感という真逆のイメージを持つセラミックスで表現することで生まれたイメージのギャップ。

このイメージのギャップから感じられる不思議さは、仮想世界（イマジナリー）と現実世界（リアル）が混在する現代のリアリティを考えるきっかけになると同時に、陶芸の長い歴史の中で斬新さやオリジナリティを獲得することになると考えています。

Q.3 作品はどのように作られているのか

テーマになる言葉からモチーフになるものを考え、そのモチーフの寸法を測り、CT スキャンのような輪切りの断面のような型紙を用意する。

10～15mm程度の厚みに伸ばした土の板から型紙の形に土を切り出していき、その板を積層してだまかな形を作り、ナイフやヘラで細かく角を削り出していく。

成形終了後素焼きし、陶芸用下絵の具で着色し、釉薬をかけずに本焼きする。

Q.4 新宿高島屋で行われた個展「質感ノイズ」について

映像や音楽などに発生するノイズには、「ノイズが気になることでメインのものにピントが合わなくなる感覚」があるように思います。

物質感の強い土味や釉薬などはデジタル画像をイメージしている私にはある意味ノイズになると考えて制作してきましたが、自分にとってのノイズを意図的に入れることで陶芸表現における視覚的効果や、陶芸である必然性や意味を高めることが出来るのではないかと。というところと、陶芸の名品などをモチーフにすることで、陶芸史へのオマージュと共に視覚情報としての陶芸作品の強調を試みています。

展示会歴

個展

- 2016 「Yin and Yang」VOLTA NY【ギャラリー小暮】(PIER 90・NY)
- 2019 「懐かしい未来」アートフェア東京【水戸忠交易】(東京国際フォーラム・東京)
- 2020 「記憶すくい」現代美術 舩居(京都)
- 2021 「質感ノイズ」スペース大原(岐阜・多治見)
- 2022 「質感ノイズ」新宿高島屋美術館・高島屋大阪店ギャラリー NEXT(東京・大阪)

グループ展等

- 2018 Sans les mains! (Limoges, France)
 「風詠抄・浪(ROU)」高島屋大阪店6階美術館(大阪)
- 2021 「悉皆・風の時代の継承者たち」
 (高島屋美術館 日本橋・大阪・京都・横浜・新宿巡回)
 開館15周年記念特別展「No Man's Land - 陶芸の未来、未だ見ぬ地平の先 -」
 (兵庫陶芸美術館・兵庫)
- 2022 2022 Taiwan Ceramics Biennale 新北市鶯歌陶瓷博物館(台北・台湾)

2023年1月以降の展示予定

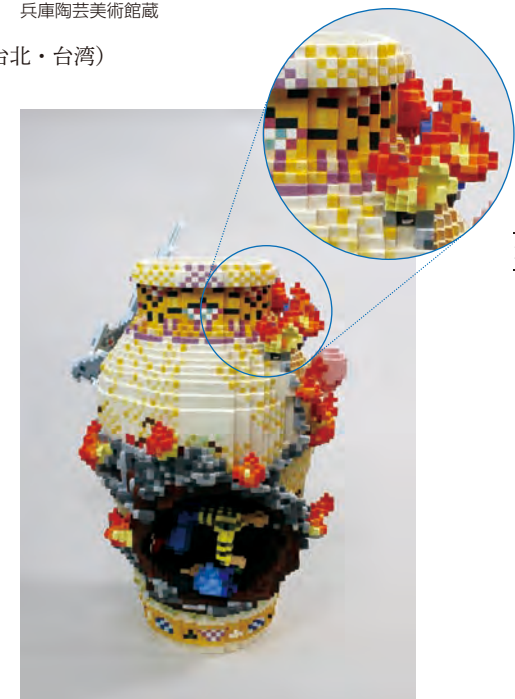
2022年9月9日～2023年4月16日 Taiwan Ceramics Biennale 新北市鶯歌陶瓷博物館(台北・台湾)



Low pixel CG「回想プレイリスト」
 2021年／陶
 ラジカセ：W32×H16×D18(cm)
 カセットテープ：W10×H6×D1.3(cm)
 個人蔵



Low pixel CG
 「ボーナスポイント(パイナップル)」
 2019年／陶
 缶：W12×H12×D24(cm)
 中身：W26×H17×D4.5(cm)
 兵庫陶芸美術館蔵



Low pixel CG
 「オマージュ - 親子空爆避難細工花瓶 -」
 2017年／陶
 W32×H28×D42.5(cm)
 ヴィクトリア&アルバート博物館蔵

※すべての作品の技法：板作り、手びねり



増田 敏也 (C95087)

プロフィール

- 1977 大阪に生まれる
- 1999 大阪芸術大学 芸術学部工芸学科金属工芸コース 卒業
- 1999～2003 大阪芸術大学 芸術学部工芸学科金属工芸コース
 非常勤副手として勤務
- 現在 嵯峨美術大学 造形学科 複合領域 陶芸 非常勤講師
 嵯峨美術短期大学 デザイン分野 暮らしのグッツデザイン領域
 非常勤講師



高田雄吉

大阪芸術大学デザイン学科教授
グラフィックデザインコース

Color Palette of World Masterpieces

美しい名画の配色イメージ ポストカードブック 西洋編

カバー

ヴィーナスの誕生
サントロ・ボッティチェリ

ひまわり

フィンセント・ファン・ゴッホ

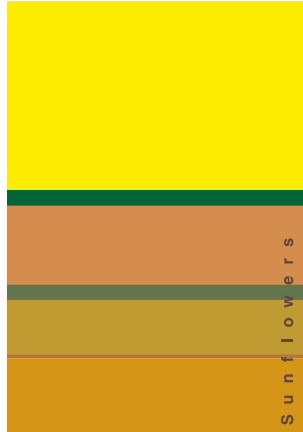
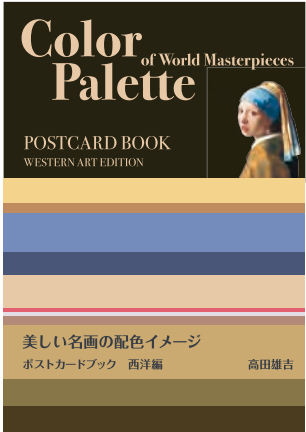
赤い部屋 (赤のハーモニー)
アンリ・マティス

睡蓮

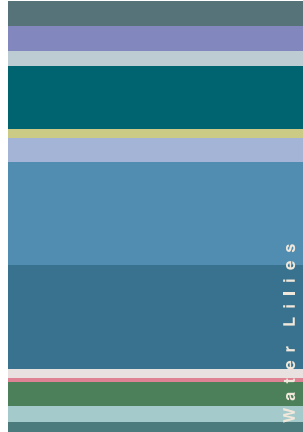
クロード・モネ

バイエルンのドン・ジョバンニ

パウル・クレー



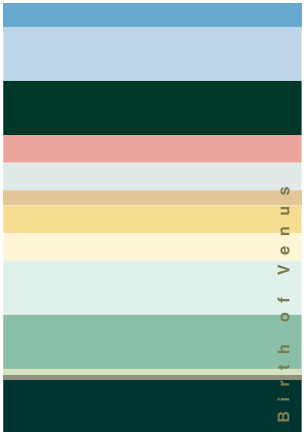
1



2



3



4



5



1



2



3



4



5

『美しい名画の配色イメージ
ポストカードブック 西洋編』
カードサイズ／オールカラー
定価：本体 1,600 円＋税
発売日：2022 年 7 月 5 日
著者：高田雄吉
出版社：パイ インターナショナル

高田雄吉 Yukichi Takada
大阪芸術大学デザイン学科 1976 年卒。
1953 年大阪市生まれ。大阪府立岡高卒。
主な仕事に、近鉄不動産ローレル CI、
山陽電鉄 CI、京都橋大学 CI、ライオンホ
テル CI、など。
主な受賞に、愛知万博誘致シンボルマーク
コンペグランプリ 大阪府ドーンセンター
シンボルマークコンペグランプリ、
ウクライナ 4th Block 奨励賞 (03・06)、
15th ジェシュフ国際シアターポスタービエ
ンナーレ FUD-UJEP 特別賞。
日本タイポグラフィ協会理事、日本 CI 会議体
幹事、NY タイプディレクターズクラブ会員、
DAS 理事、JAGDA 会員。
著書に『ロゴ・ロジック』、『タイポグラフィ・
ペイシック』、『グラフィック・セオリー』。

見る人に静かに語りかけて
心に印象を残すロゴを設計。



杉崎真之助

グラフィックデザイナー。デザインを情報の構築と
印象の設計と捉え、明快で良質なコミュニケーショ
ンの実現をめざす。著書に『アタマとカラダでわか
るデザイン』パイインターナショナルなど。現在、
大阪芸術大学デザイン学科教授、株式会社真之助デ
ザイン代表。AGI 会員 www.shinn.co.jp
1975 年 大阪芸術大学卒 (D1083)

京都市
京セラ
美術館



京都市京セラ美術館 京都市左京区岡崎円勝寺町 124

公立美術館に企業名を加えてどう表現するか

1933 年に開館した歴史ある京都市立美術館が、2020 年に「京都市京セラ美術館」としてリニューアルオープン。新たな名称
のロゴを杉崎真之助が担当しました。
リニューアルにあたり京都市はネーミングライツ制度を導入し、改修費用の一部としましたが、京都を代表する公立美術館
ですから、市民の間では名称に企業名を加えることへの議論も起こりました。一方で企業の立場からすれば、社会貢献の実績
や文化支援の姿勢を明示したいという意向は当然のことです。
これらの複雑で相反する背景を統合して全体解決するロゴとして、杉崎真之助は「社会にもたらす価値」を「静かに語るデザ
イン」で表現しました。

コンセプトは個性を主張しすぎない「京モダン」

「京モダン」とは、時間と空間を経て現代につながる普遍的な新しさをめざしたコンセプト。シンプルで端正なタイポグラ
フィを使用し、個性を主張しすぎない、品格をさりげなく伝える、美術館に寄り添うたたずまいを視覚化しました。
従来の美術館にありがちな威風堂々としたロゴとは対照的なイメージです。デザイン自体を目立たせるのではなく、一見す
ると普通の細ゴシック体のようでありながら、見る人に静かに語りかけて心に残る印象を設計しています。

光のスリットをアクセントに、カラーは京墨

そして印象を特徴づけているのが、ディテールデザインの光のスリットです。文字の「京」と「美」の一部をわずかにカットし、
小さなスリットが輝いているように見えるアクセントとしました。
ロゴカラーに設定したのは、創造の原点となる無彩色のグレー。京墨は、古文書や絵画の墨色から連想した造語で、時代を超
えて伝統と洗練を伝える人の手の軌跡を象徴しています。

親子一代

母校愛のきずな

Vol.11

長谷川 政弘さん
眞由美さん
貫さん 親子

Profile

長谷川 政弘 Hasegawa Masahiro
学生番号 C80-044
1983年度 大阪芸術大学 工芸学科 卒業
現在、大阪芸術大学 工芸学科 教授

長谷川 眞由美 Hasegawa Mayumi (旧姓 織田)
学生番号 C9-016
1983年度 大阪芸術大学 工芸学科 卒業

長谷川 貫 Hasegawa Kan
学生番号 C09-036
2012年度 大阪芸術大学 工芸学科 卒業

3人にお伺いします。

大阪芸術大学に進学しようと思われたのはどのようなきっかけだったのでしょうか？

父の政弘さん（以下、父）

父：高校になってから勉強に嫌気がさして3年生になって進路について悩んでいたところ、姉から美大という毎日が美術の時間！！の大学があると聞き、そんな大学があるならと、そこからデッサンと油絵の猛勉強を始めました。もともと絵を描いたりものを作ったりすることが大好きで、高校時代は美術の時間が唯一の楽しい時間でした。

結果、東京の美大の油絵科にも合格していたのですが、地元の香川から遠いな、という簡単な理由でこちらに進学しました。

母の眞由美さん（以下、母）

母：中高が女子校で、ずっと自分の居場所ではないと感じていました。



長谷川家(ご自宅にて)

そのまま上の女子大に行くのだけは避けたかったのでデッサンを勉強しはじめました。

高校からは京都の女子美大を勧められましたが、それでは系列の女子大に行くのと変わらない！と大阪芸大を選びました。当時はうちの高校から大阪芸大の美術系に進んだ人はいなかったの、先生方も困ったと思います。

工芸学科が一番入りやすいかな、程度で選びましたが今となっては私の選択は間違っていなかったなと思っています。

息子の貫さん（以下、子）

子：高校時代には特に夢も目標もなく、大学進学にも関心がありませんでした。そこで見かねた父が大阪芸術大学を勧めてくれたのがきっかけでした。幼少期より父の展覧会や母の作品といった芸術に触れる機会が多かったため、見たものを直感的に「カッコいい」「美しい」という感覚が身についていたのですが、受験のためにいざ自分が父からデッサンを教わるも、自分のデッサンを見てがっかりすることも多く、無から有を作り出すことがこれほどにも難しいものなのかと痛感しました。その後、父の懸命な指導と母の応援により、なんとか入学することができました。現在は大学生活で培った技術やノウハウを活かし、

ものづくりの仕事をしていますが、今では仕事を通して大きな目標、やりがいが見つかったので勤めてくれた父には本当に感謝しています。

息子さんにお伺いします。

ご両親が工芸学科の卒業生でいらしたことは、進学をされるときにきっかけのひとつになったようですが、具体的にはどのようなことだったのでしょうか？

また、在学中、お父さまが金属工芸の教員でいらしたわけですが、何か影響を受けられたことなどございましたか？

子：先ほども言った通り、両親が工芸学科卒だったのは大きなきっかけだったと言えます。幼い頃から「ものをつくる父」の背中を見ていたので少なからず影響は受けていたと思います。大学での「教員である父」は、家の中とは違った新たな側面を感じました。それと小学生の頃から父に連れられ、度々大阪芸術大学に行くことがあったので入学した際は、逆に懐かしさを感じる少し不思議な感覚だったのを思い出しました。

お父さまに伺います。

息子さんが在学中は、親である前に教員であったかと思いますが、特に気をつけていたことなどございますか？

父：特になかったと思います。

息子が無事工芸学科に入学できたのですが、2回生からのコース選択でまさか私のいる金属工芸コースに来るとは夢にも思っていませんでした。はっきり言ってこちらが戸惑いしましたが、逆に息子の方は全く平気な感じでして。最初はみんな私が親であることは知らなかったようでしたが、だんだんと知れ渡ってきて、その頃はもう私のキャラや息子のキャラも周りに知れ渡っていましたので特に親子だからと言って意識せずお互い過ごせていたと思います。

ご両親に伺います。

息子さんが大阪芸大に進学されることをどのように感じられましたか？

母：大阪芸大の工芸学科で過ごした宝石のような時間を息子にも体験してほしいと強く思いました。

父：うちにはこの息子より5歳年上の長男がおります。一人目だったこともあって僕たち夫婦はこの子に関して小さな頃からお絵かきの時など干渉しすぎたのかもしれない。彼は別の道に進みました。それもあって進路を迷っていた次男には親として、ものづくりに関わる仕事について欲しいなという想いがありました。それと家内と同じように、私たちがここで過ごした濃密な4年間を過ごして欲しいという想いもあって母校を勧めました。結果的にはものづくりに目覚め

てくれて、今の職につくことができて本当によかったと思います。

3人に伺います。

学生時代に影響を受けた先生などいらっしゃったら教えてください。

また、印象に残ったことなど教えてください。

父：特に作家として影響を受けた先生はいませんでした。ただ当時の先生たちはみんな気さくで楽しい方たちばかりで、本当に自由に楽しく伸び伸びと4年間過ごさせていただきました。作品制作やコンパなどの共同作業を通して学びの中で先輩や後輩、同期との人々との繋がりの大切さを多く学ばせていただきました。

母：私たちの時代は先生方も若く、課題を制作した思い出より一緒に飲んだり食べたりしていただいたことが印象に残っています。私は毎日用事もないのに残って買い出しに行き、鶏を串に刺したり大鍋でおでんを炊いたり本当に楽しかったです。金工の同期も先輩、後輩もみんな仲が良くて人生で一番楽しい時間でした。楽しすぎて5年も学校にいられることになり（留年です 笑）おかげで生涯の伴侶も見つけることができました。



1984年長谷川夫妻

子：本当に個性豊かな先生方ばかりでした。金属工芸学科には溶接、鋳造、鍛金、彫金といった様々な技法があり、その分野のプロフェッショナルである先生方が揃っていましたので自分の課題や学びたい技法によってその都度いろいろな先生にご教授いただいでいました。

3人に伺います。

もしよろしければ、現在のお仕事についてお話しください。

子：卒業後、株式会社ワン・バイ・ワンという会社に勤めています。業種はアパレル店舗の陳列金物を主軸に



貫さんの会社での仕事

企画、提案、製造をしています。もしかすると皆さんのご存知のブランドショップで私の携わったものを目にされているかもしれません。他にも飲食店、企業オフィス、ホテル等の内装、外装金物、オブジェ製作もしています。現在、22名の従業員が在籍していますが、そのうち5人が大阪芸大の金属工芸コースの卒業生であり学校とは縁が深く、それぞれが製品の企画、図面作成、制作と、大学生活の経験を活かし皆が活躍しており、世界を代表するオンリーワン企業を目指しています。

父：今は大阪芸大の教員として、そして金属造形作家として活動をしています。個展の開催やグループ展の出品、コミッションワーク、地元木津川市のアートフェスティバルのディレクターなどをこなしてきました。金属の作品以外にも茶筌の産地である生駒市のイベントの「高山竹あかり」では竹の大型オブジェのデザイナーとして関わって今年で6年目になります。200本以上の竹を使った造形物を高山の職人さんとともに制作しロウソクでライトアップするイベントです。現在、大阪の某会社のロビーに設置する金属のモニュメントや東京のマンションのエントランスに設置する作品のプランが進行しております。大学の方では、これまでの先生方が築いてくださった工芸学科の自由な空気の中で、制作に関する厳しさなどを伝えつつ社会に出ても通用するような人間力のある学生を育てて行けたらと思っています。



生駒市のイベント「高山竹あかり」



瞑色の庭

母：10年くらい前から刺繍で立体作品を制作しています。それ以前もなんやかやと手作りはしていましたが、同じ工芸学科の同級生や、後輩の現代美術作家として活躍している友達に背中を押されて、最近は作品を人様に見て頂くことが増えました。8月には西脇岡の山美術館アトリエで個展をさせていただきました。



眞由美さんの作品

3人に伺います。今後の展望或いは目標のようなものがあれば教えていただけますか？

子：会社の定義である「空間美の具現化」を実現すること、ものづくりを通してお客様に喜んでもらうこと、社会に貢献することが、今の私のやりがいとなりました。

父：現在、作品の発表では、「暝色の庭」というタイトルで鉄の鍛造で蓮の葉や花、蕾、花托などをモチーフにインスタレーションで蓮池の情景をつくる仕事をしています。これから先もパーツを増やしていったって、どんどんと大きな蓮池にしていく構想があります。どこまで拡げられるかわかりませんが、ライフワークとして制作が可能な限り、続けていきたいと思っています。

母：とりあえずの目標は、来年の枚方のNote Galleryでの個展にどんな面白いものを作れるかです。

最後に母校や校友会に対して期待していることなどございましたらお話しください

父：在学中は大阪芸大といえはまだまだ若い大学という感じでしたが、私が卒業して40年近く経った今では数え切れないほどの卒業生を輩出して様々な芸術分野で大活躍しています。

今では私も大学側の人間でもあります。大学や校友会と一緒に今後卒業生が活躍していけるようなサポート体制をしっかりと築いていきたいと思っています。

この度はお忙しい中、取材に協力していただきありがとうございました。

文責／企画広報委員 竹垣 恵子



開催報告 第26回 高山竹あかり 長谷川 政弘 (大阪芸術大学 工芸学科 教授)

下記の期間に開催された、「高山竹あかり」に、造形で参加しました。

高山竹あかりの竹の造形物のデザインを担当して6年目になります。

奈良県生駒市高山地区は竹製品の製造の盛んな地域です。特に500年の歴史を持つと言われている茶筌は、国内のほぼ10割が高山地区で生産されています。

今回で26回目の開催となる高山竹あかり。私が描いたデザイン画をもとに茶筌組合、茶道具組合、編み針組合の職人の方々が制作を担当するコラボレーション作品群です。ロウソクのあかりを主として松明やスポットライトなど様々なあかりで演出された竹の作品群をコンサートと共に楽しんでいただきました。

大型の竹造形が竹林園の至る所に配置され会場全体がインスタレーション作品のように輝いた夜でした。

期 間：2022年10月8日(土)～9(日)

会 場：高山竹林園

入場料：無料

主 催：高山竹あかり実行委員会（生駒商工会議所、生駒市茶道協会、奈良県編針工業協同組合奈良県茶道具具同業組合、奈良県高山茶筌生産協同組合）生駒市

後 援：生駒市観光協会

【公式サイト】<https://takayamatakeakari.amebaownd.com/>



堺市「大仙公園日本庭園写真コンテスト」

「大仙公園日本庭園写真コンテスト」は、審査委員長に元大阪芸術大学芸術学部写真学科教授で写真家有野永霧先生をお迎えして 2010 年にスタートし、2021 年度で 11 回行われています。

2022 年度からは、審査員長に大阪芸術大学芸術学部写真学科准教授で、特に風景をモチーフに作品制作をされている写真家奥田基之先生にバトンタッチされました。

これから近隣の自然に目を向け、表現の原点を追求されている視点から「大仙公園日本庭園写真コンテスト」では講演会、審査が行われます。

有野永霧先生写真撮影セミナー

有野永霧先生最終講座

奥田基之先生写真撮影セミナー

写真コンテストは、大仙公園日本庭園の四季の移り変わりの中に、大仙公園日本庭園の魅力を見つけ、写真によって多くの人々に知っていただき、その活動により庭園文化交流、社会貢献を行うことです。

審査は提出写真の審査を行い、金賞、銀賞、園長賞、来園者賞等の各賞を決定しています。

春 4 月から初夏 6 月にかけて応募が行われ、審査の結果金・銀・各賞を選定し、大仙公園日本庭園ホームページで紹介し、受賞作品のパネル展を大仙公園日本庭園休憩舎で行っています。

年を重ねるごとに地域に溶込み、活動が広がり、意識が高まっている事を感じ、コンクールの意義を年毎に高められた多くの応募者の熱意に感動しています。



第6回 金賞「雪が舞う」



第11回 金賞「甘泉殿の眺め」

大仙公園日本庭園について

大仙公園日本庭園は、昭和 64 年 (1989) の堺市制 100 周年記念事業として昭和 60 年 (1985) から昭和 63 年 (1988) にかけて作庭され、平成元年 (1989) 3 月に開園しました。古い歴史と新しい文化の融合を目指す大仙公園の中に、日本の文化や伝統を継承し、新しい文化、教養施設として広く市民の方々に利用していただける文化創造の中心として、大仙公園日本庭園が位置付けられました。

本庭園は、日本庭園の伝統によって養われた「美」と日本人の心を紹介し、堺市民、堺市を訪れる人々に安らぎの場を提供することを目的に、「水の流れに、堺市の進歩と時の流れを越えて、さらに雄飛しようとする歴史的・国際的都市・緑の近代的都市を象徴させる」ことを設計意図としています。

このため、その景観構成は、多くの来園者が回遊できる「築山林泉回遊式庭園」と呼ばれる様式とし、自然の風景要素を人口の山、滝、流、池で表現し、その池や、流れの周辺を散策しながら風景を楽しみ、心の安らぎを得る意匠とするものです。

本計画では山水のモチーフに泉北丘陵を取り囲む山々として「築山」、その山々より流れ出る水を「滝流」「溪流」「流」、そして、大阪湾を表す海を「池泉」により表しています。庭園の総面積は 26,000㎡で、そのうち 3 分の 1 程度を占める水景を中心に、ぐると園内を一周できます。庭園の設計者は、足立美術館庭園設計などで知られる中根金作先生です。2019 年 7 月に世界文化遺産に登録された百舌鳥古墳群の一角に位置しています。

塚本学院校友会常任理事
大阪芸術大学短期大学部客員教授
大仙公園日本庭園維持管理顧問

福原 成雄

和泉市久保惣記念美術館 久保邸(登録有形文化財) 庭園

はじめに

2015 年に和泉市久保惣記念美術館久保邸庭園文化財調査を大阪芸術大学芸術学部建築学科福原研究室が行いました。2021 年に国登録名勝に指定され、2021 年から久保惣記念美術館茶室耐震補強工事で識者会議委員として参加しています。そのことについて報告します。

1) 調査概要

大阪南部、和泉市久保邸庭園は、綿業の久保家が明治期に建築した工場、自宅を美術館として 1982 年 (昭和 57) 和泉市に寄贈し久保惣記念美術館となった。庭園は、二代目久保惣太郎が邸内に表千家茶室不審庵、残月亭と茶庭 (露地) を写して築造し、大阪財界人の社交場として使用した。

2006 年 (平成 18)、国の登録有形文化財に指定された。

2015 年 (平成 27) 建築実測調査に伴い、未調査であった茶庭 (露地) の実測調査を行った。

茶室は特別公開を行っているが、茶庭 (露地) は、非公開で、腰掛待合、庭門、各種袖垣、樹木剪定、灯籠等の維持管理不足による痛みが心配される。早急に建物と一体となった文化財指定 (名勝) を検討し、保存管理を行う必要がある保存調査事例である。

聴泉亭、楠陰庵の実測図面作成を行う。

調査建築: 聴泉亭、楠陰庵、待合腰掛、梅見門、土蔵 2 棟

調査庭園: 露地

建築実測調査は、山形政昭 (大阪芸術大学)、久米智陽、好川忠延 (好川忠延建築設計事務所)、好川拓が行った。

庭園実測調査は、福原成雄 (大阪芸術大学)、堀川 (大阪芸術大学)、建築学科学学生が行った。

久保惣記念美術館茶庭は、旧松尾川を埋立てて地形を巧みに活かし、松尾川に架かる木橋「洗塵橋」を渡り、表千家写しの茶室、茶庭を一体として造り上げた久保惣茶庭独自の構想、表千家露地の意趣、景趣を受け継ぎ泉州地域で実業家によって建設、活用された地域性と歴史的価値、それらが和泉市久保惣記念美術館施設として茶室と茶庭が一体的に保存されており貴重な価値を有する存在である

和泉市久保惣記念美術館
茶庭実測図

塚本学院校友会常任理事 / 大阪芸術大学短期大学部客員教授
文化遺産信託研究会理事長 / 一般社団法人 日本庭園文化国際研究会代表理事

福原 成雄



北門から玄関前庭

「樫原神宮の森の再生計画」プロジェクトに、チャレンジしています

森の再生を深く意識するようになったのは、毎年、2月11日樫原神宮の「紀元祭」に参拝しており、定点観測視点で、神社と鎮守の森の関係を再構築出来るものと思い、このテーマと課題に取り組みました。

1回生の「紀元祭」に、大学の先輩に同行して、初めて樫原神宮に参拝しました。現在と異なり当時は、早朝から近鉄樫原神宮前駅から参道、外拝殿前まで大混雑する中、大勢の老若男女の参拝者に混じって、参拝団体の一員として参加しました。通常非公開で一般の人は立ち入る事の出来ない勅使館に入れて頂いた記憶が鮮明に残っております。それ以降、毎年欠かさず「紀元祭」に参拝させて頂き、約半世紀を迎えました。

時代の経過と共に、樫原神宮の参道と森の移り変わり様をつぶさに観て参りました。

2018年6月、塚本学院校友会定例役員会総会終了後のお茶会からプロジェクトが始まりました。

校友会の会議でよく隣り合わせになる建築学科の福原成雄先生に、「樫原神宮の森を創建当初の計画の様に再生させたい」と相談しましたところ「やりましょう」と言って頂いたのが始まりです。

2018年12月9日、現場調査の計画案を示し神宮の考えも双方で確認し、後日、神宮から樹木調査の実施承認を得ることができました。

2019年5月6日、現場調査に先駆けて、久保田宮司と面談し山形政昭先生、福原成雄先生、浦崎真一先生、松川純也先生同席のもと樹木調査の計画に沿って神宮から提出頂く過去の資料提出を依頼し現場調査の準備をしました。2019年8月12日、13日、14日 現場調査
2019年12月28日、29日、現場調査
2020年1月18日、19日 現場調査
2021年26日、27日、29日 現場調査
2021年2月24日、現場調査の資料を報告書にまとめて神宮会館で発表会を実施しました。



樫原神宮境内環境調査報告会（樫原神宮会館にて）

畝傍山の東南の地において、樫原の宮で初代天皇として即位された神武天皇。

紀元660年、初代神武天皇の建国から数えて、今上天皇で126代とされます。

我が国の天皇家は万世1系、建国から国家が一度も途切れること無く、現在に至るまで継承されている世界最古の国家であり、ギネス記録にも認定されており、世界に類を見ない誇るべき国家なのです。このことは、歴代の天皇、皇室を崇拝する精神が脈々と、国民に根付いて受け継がれている証でもあります。

明治に入り、神武天皇の御聖業を称えて、樫原の宮跡に神宮創建の申請が民間有志から起きて、明治23年4月2日、樫原神宮が創建されました。

創建後の昭和15年（紀元2千6百年）の拡張整備では、全国の民間有志から寄せられた献木数2万2千534本（樫原神宮紀元2千6百年造営記録より）と、購入木で現在の森の原型が生まれています。人工林を自然林として育む計画で拡張整備されました。

この林苑の植栽工事に全国から人々が集まり、建国の地に祈りを込めて樹木を植えられています。

ともすれば、大正9年（1920）創建された明治神宮の人工林は現在100年を経て、自然の森林に蘇って例として、世界中から日本文化が注目され称賛されています。

樫原神宮は、拡張整備の植栽工事は2年間で終了して現在80年が経過しております。

当時の時代背景は戦局の悪化で、植栽工事を急ぎ終了した事も後々を見据えた植栽計画に成り得なかったと思われる。

近年は神宮の森林の荒廃が特に目立つようになってきています。

考えられる主な原因として、

- ① 畝傍山一帯から蔓延する樹木の病害虫（カシノナガキクイムシ）で枯死した樹木
- ② 参道近くまでせり出した竹の増殖で既存の樹木が竹に置き換わろうとしている竹林
- ③ 聖域であるべき神社と森の境界が無くなり生活道路化した参道と森林で心無い人によるごみ投棄・ペットの糞害
- ④ 駐車場のアスファルト化で雨水の涵養を妨げている
駐車場拡大で樹木の生育阻害
- ⑤ 水鳥の営巣木の糞害による枯死した樹木
- ⑥ 水はけの悪い地質の樹木の病気と発育不全
- ⑦ 近年の異常気象による台風の大型化により病害虫で枯損した木の枝と倒木被害の影響

があげられます。

この調査によって、今後将来に向けて伝えるべき課題として、報告書にまとめ発表させて頂きました。

我々は、大和樫原の地で即位された初代天神武天皇を祀る社と森を大事に育み、次の世代に神社と鎮守の森を受け繋ぎなければなりません。創建当初と同じく民間の活力を以って森の再生に向けて取組みたいです。何十年後には、新たに森の再生が図られた事例として世界

から称賛される樫原神宮の森を蘇えらせたいのです。

この調査にご協力頂いた皆様に、感謝申し上げますと共に、今後樫原神宮の森の再生に向けてのご支援を引き続きお願い申し上げます。地道な漸進で樫原神宮の森を



樫原神宮の鳥居（撮影2010年5月1日）

保護し、再生する事で、幾久しく樫原神宮の繁栄が続いて行くことを切に願っております。

大阪芸術大学 写真学科 昭和50年（1975年）卒業

奥見 俊晴（学生番号：P1-19）



明治神宮の鳥居（撮影2010年6月20日）

「チームフクハラと日本庭園」世界で作る日本の庭園 作品展

2000年からチームフクハラとして仲間と学生と共に作庭活動してきましたが、2021年9月、各個、チームフクハラがさらに飛躍するため一般社団法人日本庭園文化国際研究会を設立しました。

2022年10月、今まで人と自然の関わりを思考し、庭園、建築としてどう表現したか、各々が作り上げた世界と心をつなげて共同した活動軌跡を多くの方々に見ていただきたく「チームフクハラと日本庭園」世界で作る日本の庭園作品展を開催しました。

期 間：2022年10月22日（金）～24日（月）
場 所：知恩院和順会館地下1階 ギャラリー和順

出展者

福原 成雄	造園家	チームフクハラ
福地 準次	作庭家	フクチ造園
金森 清正	建築家	金森一級建築設計事務所
松川 純也	作庭家	庭まつかわ（建築学科非常勤講師）
菱井 愛	作庭家	momiji design LTD（環境計画学科卒業生、現在英国在住）
水野 大次郎	作庭家	Omodaka Landscapes in Netherlands（現在オランダ在住）
堀川 孟史	造園家	株式会社緑景（大学院環境建築領域卒業、現在造園設計事務所勤務）



会場風景



塚本学院校友会常任理事
大阪芸術大学短期大学部客員教授

福原 成雄

「あんよがじょうず」 「げいたんほいくの」

学生たちの頑張りとキラキラ笑顔が弾けるイベント



オープンキャンパスの「あんよがじょうず～よちよち歩きの子たちの保育デビュー」は学生たちが日頃の学びを高校生に紹介するイベントです。学生たちが企画・運営し年に2～3回行なっています。

手遊び、工作、パネルシアター、ゲーム、体操、ペープサート、エプロンシアターなど普段の授業や実習での経験を生かした多彩なプログラムが繰り上げられます。

手話を交えた演目「ながればし」は10年以上前から続く演目で、時間をかけた練習が息の揃ったパフォーマンスを披露します。イベントで養った力を自分の強みにし、学生たちは保育現場に羽ばたきます。入学を希望する高校生もこのイベントを見て「入学を決めた!」と言う方も多く、先輩から後輩へ受け継がれる大切なイベントをこれからも守っていききたいと思います。

文責/企画広報委員 楓井 由美



【開催報告】 2022年7月19日～31日 大阪 楓ギャラリー 出かけるアートパートⅡ



2019年3月に初開催した「出かけるアート●(展)」の第2弾、「出かけるアートパートⅡ」。

コロナ禍、1年延期となつての開催となりましたが、新たなメンバーが加わり、15名から総勢23名となりました。今回は大阪芸術大学工芸学科の染色・織・テキスタイルデザイン卒業生に金工の卒業生も加わり、異なった素材・手法・表現により、バラエティ溢れる展覧会となりました。

初回と同様、「持ち歩けるアート」をコンセプトとし、メンバーそれぞれの手軽に身近にクリエイティブに持ち歩けるアートを創造すべく、同じ大学で学んだ同志、ジェネレーションを超えて、鑑賞するアート・雑貨アート、アクセサリアート、着飾るアートなど、十人十色ならぬ、“二十三人二十三色”の世界をお愉しみいただけたのではないかと思います。

7月ながら、35℃を超える真夏日の中、沢山の方にお出でいただき、とても幸せな時間を過ごすことが出来ました。また第3弾をご報告出来れば、嬉しいです。



謝辞：DMデザイン作成を快諾してくださった、田村昭彦先生。場と機会を与えてくださった、楓ギャラリー三島啓子氏に深く感謝いたします。

出かけるアート●メンバー

持ち歩くことのできるアートをコンセプトに

石田元二
岩本真子
上田恭方
宇野千尋
大瀬千尋

出かける
アートパートⅡ

2022年7月19日～31日
12:00～19:00 最終日 16:00 月曜休館

織田里奈
河合美幸
杉原直美
北野静樹
北村日乃

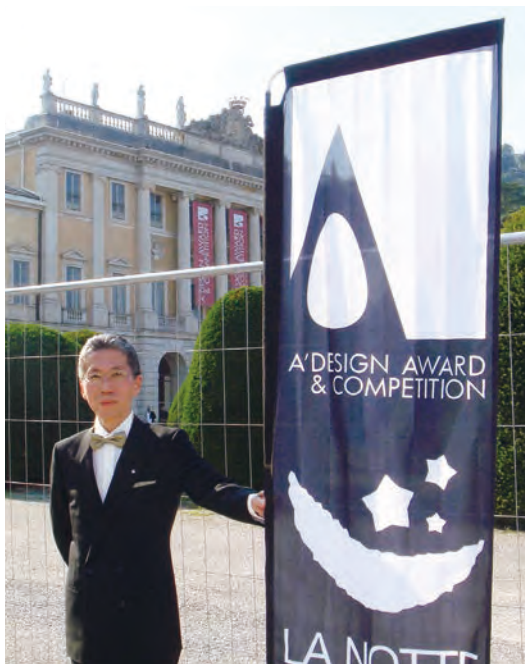
濱久仁子
三浦奈巳
山本将昇
吉田平穂
薮科美友
渡邊麻友

木下幸子
小林功大地
坂本千穂
白石亜希
高橋亜梨

楓 Koede Gallery

〒542-0062 大阪市中央区上本町西1-4-20
TEL&FAX: 06-6761-0388
mail: kaede-g@mx.biglobe.ne.jp
http://www.7a.biglobe.ne.jp/kaede-g/

Design Intelligence Award (DIA) デザイン賞を受賞



2017年 A'design Award授賞式 Como (イタリア)にて

木寅 篤人

1988年 大阪芸術大学 建築学科卒業 (A84-131)

Design Intelligence Award (DIA) は、中国美術学院と中国工業デザイン協会が主催し、浙江省政府が後援する大規模なデザイン賞です。デザインとイノベーションの力で未来を築く国際的なプラットフォームとして急速に発展しています。

2022年のテーマは「デザイン協同」。WITH コロナの時代において、デザインを通じて障壁が取り除かれ新たな調和の関係が築かれることを競い合いました。機能や美しさ、社会的な影響、産業界や未来への貢献といった様々な角度から評価され、応募数8,010作品から355作品が受賞いたしました。日中国交正常化50周年の節目の年での映えある栄誉に驚くと共に、身が引き締まる思いです。この受賞は、諸先輩方のご指導を賜りました先生方、そしてなりよりも様々な課題に悩み、励まし合いながら同じ時間を過ごした同期の皆様方と分かち合いたいと思います。チャレンジ精神旺盛な個人が、世界的な大企業と競合して勝利をえた事実はとても大きいと考えております。異分野からの参加でも、強い意志とデザインを伝えようとする

姿勢があれば、互角に戦える事を実践いたしました。生活を少しでも楽しくしたいとの思いと、2050年脱炭素社会の実現に向けた未来への提案力が高く評価され受賞に繋がったと思います。海外のプロダクトデザイン賞への参加は、考え方や目指す方向性を見極めるために応募、その結果を実務にフィードバックしています。今後は更なる活動に邁進し、感性を研ぎ澄まして参りたいと考えております。このような機会をいただき本当にありがとうございました。



Entry ID : CA202235547
Name : Re-Cardboard
Product attributes : Aid relief packaging
Category : Concept Group - Cultural Innovation



Entry ID : CA202235500
Name : Wind power next-generation
Product attributes : Wind-powered generator
Category : Concept Group - Cultural Innovation



Entry ID : CB202235476
Name : The eye-seeds
Product attributes : Glass
Category : Concept Group - Life Wisdom

〈主要な受賞歴〉

2022 Design Intelligence Award (中) 4作品同時受賞

2021 iF Design Award受賞 (独)

2作品同時受賞 (SONYのEVコンセプトカーと同じ部門で受賞)

2017 A'design Award受賞 (イタリア)

2015 iF Design Award受賞 (独)

2作品同時受賞 Universal Design Award (独) 受賞

2014 iF Design Award受賞 (独) Universal Design Award (独) 受賞

2013 iF Design Award受賞 (独)

Industrial Design Society of America design award (米) 受賞

2011 Red dot Design Award受賞 (独)

International Design excellence award (米) 受賞

モスクワ国際グラフィックデザインビエンナーレ [Golden Bee 15] に、主催者である Serge Serov 会長と他 5 名の国際審査員より国際審査員長に任命され参加しました。



松井 桂三

大阪芸術大学短期大学部 デザイン美術学科 学科長

モスクワ国際グラフィックデザインビエンナーレ [Golden Bee 15] に世界 70 カ国から 18,945 点のコンペティションエントリーが提出されました。第 1 回ノミネート [Just a Poster] 部門ではゴールデンビー賞 15 個、インセンティブディプロマ 15 個の作品が受賞しました。ここに、Golden Bee 15 の松井桂三国際審査員長より一言。

まずは、Golden Bee 15 の関係者の皆様、審査員の皆様、Golden Bee 15 委員会、そして最も特別に Serge Serov 会長に感謝申し上げます。私たち審査員は確かに高品質なデザイン作品と、参加者一人一人が文化的背景に基づいて制作したものを幅広く見ることができました。Golden Bee 15 のメンバー全員に、私たちの友情とデザイン精神を世界に示してくれたことに感謝します。また、現在の複雑な世界情勢の中で国際交流の多様性を受け入れることの重要性を世界に示してくれたことに深く感謝しています。本企画による未来へのアピールが 1 つの大きなメッセージとなって、この地球上すべての人間が互いに繋がり互いの文化を尊重し合い、平和に安心して暮らしていける日が必ず来ると信じています。

令和4年度 校友会社会貢献等支援事業概要

塚本学院校友会社会貢献顕彰制度委員会 委員長 小山保広

1 令和4年度社会貢献等支援事業審査状況

社会貢献顕彰委員会では、毎年度校友会員の連帯意識の高揚と母校の発展を目指して会員等に対する表彰制度と会員による社会貢献等の事業支援制度につきましてその推薦又は申請について審査しております。令和4年度は、表彰制度は推薦がありませんでしたので、社会貢献等支援事業につきましてその審査結果について報告します。

(1) 本年度は新規申請が3件あり審査の結果つぎの事業の支援が決定しました。

- ①特定非営利活動法人 SST 交流会が行う、人付き合いにストレスを感じている方々が、自分らしく自信と希望をもった生活ができるようになるための「よいとこ探しとほめ方教室」の紹介動画を、学校・PTA・就労支援関係者などに配布し、その対応トレーニングの普及を図る事業を支援する。
- ②ニューアート・ゼロ会が主催する様々なジャンル、年齢の幅広い作家の方々の作品を展示する“ゼロ展”を支援する。
- ③その他 昨年度からの継続支援が2件あります。

2 来年度 (令和5年度) の顕彰制度及び社会貢献等支援事業につきましては年明け早々に募集をはじめ、5月末の締め切りを予定しております。詳しくは校友会事務局までお問い合わせください。

塚本学院校友会事務局

〒546-0023 大阪府大阪市東住吉区矢田2-14-19

TEL 06-6607-1988

FAX 06-6607-7485



校友会誌 ウィングスを 活用しましょう!!

校友会では、会員の技術の向上を図るとともに会員相互の親睦を図るため、会員主催又は参加の各種催しに対して後援を行っております。

また、後援を申請していただいた会員には、催しの会場にお祝い花をお贈りさせていただきます。

なお、これら催しの主催者・参加者から校友会会員向けの「招待券」も校友会本部にて預かっております。鑑賞等をご希望の会員は是非事務局までお問合せください。

右は、2022年3月から12月までの会員（敬称略）の活動状況（発表しました）と2023年1月からの活動予定（発表します）です。

2023

発表します		年明け早々ですが発表します!! 是非ご来場	ください。	Wings44	
開催日（期間）	主催会員等氏名	催しタイトル名等		催しの区分	催し会場等
1月8日	坂田 愛夏	第3回フルート&オーボエ		発表会	阿倍野区民センター小ホール（大阪府大阪市）
1月13日～15日	蓮見 恭子	たこ焼きの岸本		演 劇	ABC Hall（大阪府大阪市）
1月15日	上田 衛	音楽でバリアフリー～音楽に	言葉はいらない～	音楽会	久保惣Eiホール（大阪府和泉市）
1月21日	阪本 康生	阪本康生ニューイヤーピアノ	コンサート	音楽会	ホテルプラザオーサカ（大阪府大阪市）
2月18日～26日	中西 學	中西 學 創作活動40周年記念展	「滑らかな多様体—Scope of Topology—」	作品展	宝塚市立文化芸術センター（兵庫県宝塚市）
3月2日～12日	田口幸加子	田口幸加子 展		作品展	gallery DELLA PACE（兵庫県神戸市）
3月19日	阪本 康生	ジョイントコンサート	”ラ・フルール”	音楽会	アルカディア・グレースホール（兵庫県芦屋市）
3月16日～21日	松井公一 他	2023・ZERO 展		作品展	宝塚市立文化芸術センター（兵庫県宝塚市）
3月16日～21日	田村昭彦 他	ZEROのポスター展		作品展	宝塚市立文化芸術センター（兵庫県宝塚市）
3月26日	吉田 佳子	第3回京田辺市音楽コンクール		音楽会	京都府立けいはんなホール（京都府精華町）
4月29日	高 果 奈	高果奈ピアノリサイタル		音楽会	東大阪文化創造館ジャトーハーモニー小ホール（大阪府東大阪市）
10月29日	阪本 康生	阪本康生ピアノリサイタル	vol.22	音楽会	ムラマツリサイタルホール新大阪（大阪府大阪市）
11月（予定）	中西 學	中西 學 創作活動40周年	記念展「My trial road 1983-2023」	作品展	あべのハルカス近鉄本店美術画廊（大阪府大阪市）
予定	竹垣 恵子	アーティフィシャルな位相	Vol.37	作品展	天野画廊（大阪府大阪市）
予定	伊賀幸雄 他	交感するアート展		作品展	芝田町画廊（大阪府大阪市）

2022

発表しました		発表は終了致しましたが報告にて失礼!!		Wings43	
開催日（期間）	主催会員等氏名	催しタイトル名等		催しの区分	催し会場等
3.8～3.13	長谷川さゆり	長谷川遼人個展・長谷川さゆり	作品展	作品展	スタジオコートギャラリー（大阪府大阪市）
3.11	白 井 康 暉	白井康暉打楽器リサイタル		音楽会	阿部野区民センター（大阪府大阪市）
3.19～3.20	池 田 康 子	池田康子の舞踊と癒しの集い		舞 踊	池田康子創作舞踊ワークショップ（大阪府大阪市）
3.30～4.11	明 田 一 久	SCULPTURE SELECTION		作品展	日本橋高島屋（東京都中央区）
3.31～4.5	齋 藤 孝	齋藤孝個展「華と花を描く」	in OSAKA	作品展	MAG 南森町アートギャラリー（大阪府大阪市）
3.31～4.10	田 嶋 悦 子	Two Persons Exhibition 華と夢		作品展	ギャラリー恵風（京都府京都市）
4.2～4.17	池 松 静	第2回チャリティ 絵画同好展示会		作品展	みづまふれ愛ホール（広島県尾道市）
4.3	山下 知 絵	すずらん会ピアノエレクトーン	発表会	音楽会	大阪フィルハーモニー会館（大阪府大阪市）
4.8～4.17	小 西 聡 甫	みやび流押絵4代目 小西聡甫展	「長閑」	作品展	ギャラリーPAW（兵庫県芦屋市）
4.16	あまのしげ	鍋井克之と堺事件～旧跡を訪ねる～		講演会	ギャラリー住吉橋・妙国寺（大阪府堺市）
4.17	嶋 田 由 実	ピアノ・エレクトーン発表会		音楽会	宇治田原町総合文化センター（京都府宇治田原町）
4.22～4.24	杉田真梨子	劇団まげもん 時代劇コメディ	よいではないか25	演 劇	朝日放送テレビ内ABCホール（大阪府大阪市）
5.1	阪 本 久 美	阪本久美ピアノリサイタル		音楽会	枚方市総合文化芸術センター関西医大ホール（大阪府枚方市）
5.1	高橋真由美	SPRING CONCERT 2022		音楽会	八千代市勝田台文化センター（千葉県八千代市）
5.3	岡 崎 尊 子	ファミリーコンサートシリーズ	クラシックコンサートVol.5	音楽会	尼崎ピッコロシアター（兵庫県尼崎市）



展示会・演奏会・舞台等、皆様から
 催し物の情報をお待ちしております。

塚本学院校友会 事務局
 〒546-0023
 大阪府大阪市東住吉区矢田2-14-19
 TEL:06-6607-1988
 FAX:06-6607-7485
 E-mail
 tgkouyukai-3@giga.ocn.ne.jp

発表しました		発表は終了致しましたが報告にて失礼 !!		Wings43	
開催日 (期間)	主催会員等氏名	催しタイトル名等		催しの区分	催し会場等
5.4	山田 まゆみ	春のジョイントコンサート		音楽会	豊中市立ローズ文化ホール (大阪府豊中市)
5.4～5.15	堀北 阿希	堀北阿希個展「OBORESK」		作品展	MOUNT tokyo (東京都世田谷区)
5.14～5.29	小野山和代	小野山和代卓上の風景		作品展	GALLERY GALLERY (京都府京都市)
5.15	阪本 康生	阪本康生サロンコンサート	Plus Familier	音楽会	La Paz (大阪府大阪市)
5.29	小山 初美	piano concert		音楽会	柏原市民文化会館リビエールホール (大阪府柏原市)
6.4～6.5	豊田 千晶	広島オペラアンサンブル公演	オペラ「コシファントウツテ」	音楽会	JMSアステールプラザ (広島県広島市)
6.5	田中 公道	卒寿を目指して！世界を駆ける	85歳のオペラ歌手田中公道テノールリサイタル	音楽会	和泉市久保惣記念美術館久保惣Eiホール (大阪府和泉市)
6.11～6.12	上杉 真由	niconomiel 自主公演 vol.3	「Synergy2」	舞踊	一心寺シアター倶楽 (大阪府大阪市)
6.21～12.16 (全20回)	西田 和久	フレッシュコンサート及びドリーム	コンサート	音楽会	大阪国際交流センター大ホール 他19会場 (大阪府大阪市 他)
6.25	池田 康子	池田康子創作舞踊公演		舞踊	ホテルオークラ JRハウステンボス (長崎県佐世保市)
7.3	田中 公道	卒寿を目指して！世界を駆ける	85歳のオペラ歌手田中公道テノールリサイタル	音楽会	大阪市福島区民センター大ホール (大阪府大阪市)
7.6	飯田 憲司	飯田憲司サクソフォンリサイタル	サクソフォンの魅力24	音楽会	芦屋市民センタールナホール (兵庫県芦屋市)
7.9	上田 衛	第3回上田衛バリトンリサイタル	「日本の心を歌う」	音楽会	ムラマツリサイタルホール新大阪 (大阪府大阪市)
7.1	田中 公道	～始まりは恐怖だった～秘められた	怖さを知れば暑さも吹っ飛ば!! 納涼コンサート	音楽会	あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール (大阪府大阪市)
7.14～7.20	東野 穂澄	東野穂澄童画展		作品展	京阪百貨店守口店 (大阪府守口市)
7.17	木村 香緒里	色音～Nozomu Art Connection～		音楽会	ドルチェ・アートホール Osaka (大阪府大阪市)
7.18	大垣 瑞穂	第61回ピアノ発表会		音楽会	東大阪市文化創造館 (大阪府東大阪市)
7.19～7.31	竹垣 恵子	出かけるアート展 パートⅡ		作品展	楓ギャラリー (大阪府大阪市)
8.3～8.8	久保田 晴名	第5回草創		作品展	アートギャラリー北野 (京都府京都市)
8.21	吉岡 紀子	むじっく☆ショー vol.5		音楽会	池田市民文化会館 (大阪府池田市)
8.23	田中 公道	卒寿を目指して！世界を駆ける テノールリサイタルとお話	85.5歳のオペラ歌手田中公道	音楽会	堺市南区茶山台校区地域会館 (大阪府堺市)
8.24～8.30	長谷川さゆり	長谷川さゆり 絵画展	Dreamy Sphere- 夢の領域 -	作品展	近鉄百貨店奈良店 (奈良県奈良市)
9.3	細川 昌美	和泉市音楽家連盟「音の和」14th	コンサート”弥生の風劇場”	音楽会	和泉シティプラザ 弥生の風ホール (大阪府和泉市)
9.4	中村 加奈	第20回プティ・コンサート		音楽会	東大阪市文化創造館 (大阪府東大阪市)
9.7	橋口 新一郎	織物の茶室 富士山頂茶会		茶会	烏帽子岩神社 (山梨県富士吉田市)
9.7	田中 公道	あしたへ～書と音楽のタベ～		音楽会	兵庫県立芸術文化センター (兵庫県西宮市)
9.7～9.26	中島 晴美	中島晴美 展 ざわざわするかたち		作品展	高島屋日本橋店 (東京都中央区)
9.12～9.16	田嶋 悦子	工芸のちから2022教員スタッフ展		作品展	大阪芸術大学芸術情報センター (大阪府南河内郡河南町)
9.13～9.18	酒井 民子	酒井民子アート押し花教室作品展		作品展	茶臼山画廊 (大阪府大阪市)
9.14	田中 公道	90歳を目指して！世界を駆け テノールリサイタルとお話	抜ける85.6歳のオペラ歌手田中公道	音楽会	神戸市立丸山中学校西野分校 (兵庫県神戸市)
9.17～12.18	野田 正明	野田正明 50年の軌跡	ニューヨークから世界へ	作品展	高梁市成羽美術館 (岡山県高梁市)
9.17	川口 智也	ミ・ベモル サクソフォン	アンサンブル ポピュラーコンサート2022	音楽会	西宮市民会館 (アミティホール) (兵庫県西宮市)
9.17～10.10	角倉 起美	角倉起美 陶芸展 私の睡鳩荘	物語	作品展	旧朝吹山荘「睡鳩荘」(長野県北佐久郡軽井沢町)
9.18	前田 幸弘	上方ウィンズクラリネット& ～BACHへのオマージュ～	サクソフォンジョイントリサイタル	音楽会	ドルチェ・アートホール OSAKA (大阪府大阪市)
9.19	瀬戸山 修三	Classy Style ～芸術の森		音楽会	兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー (兵庫県神戸市)
9.19	田中 公道	2022 広島のうたごえ祭典	ピース・ウェーブ・コンサート	音楽会	コジマホールディングス 西区民文化センターホール (広島県広島市)
9.23～10.2	島垣 亜弥	プリムリーゴー不思議の森と動物	たちー	作品展	ギャラリーからこ (大阪府高槻市)



展示会・演奏会・舞台等、皆様から
 催し物の情報をお待ちしております。

塚本学院校友会 事務局
 〒546-0023
 大阪府大阪市東住吉区矢田2-14-19
 TEL:06-6607-1988
 FAX:06-6607-7485
 E-mail
 tgkouyukai-3@giga.ocn.ne.jp

2022

発表しました		発表は終了致しましたが報告にて失礼!!		Wings43	
開催日(期間)	主催会員等氏名	催しタイトル名等		催しの区分	催し会場等
9.25	阪本 康生	阪本康生ピアノコンサート		音楽会	松風ギャラリー(ホール)(兵庫県加古川市)
9.27～10.2	今中 和義	今中和義作品展		作品展	奈良県文化会館(奈良県奈良市)
10.3～10.28	宮田 透	フォト・イラスト短歌展	ー第20回宮田透作品展ー	作品展	Jazz cafe 884(ジャズカフェハヤシ)(長野県松本市)
10.9	今堀 有理	今堀有理マリンバリサイタル		音楽会	枚方市総合文化芸術センター関西医大ホール(大阪府枚方市)
10.9,10.29 11.8,12.17	山本 昌代	万葉からの祈り Vol.3		音楽会	奈良県文化会館国際ホール 他3会場(奈良県奈良市 他)
10.10	片山 道寛	合唱団CET第4回演奏会		音楽会	住友生命いずみホール(大阪府大阪市)
10.11～10.23	岸田 めぐみ	自我像展		作品展	GALLERY4・5 maronie(京都府京都市)
10.13～10.25	河野 玄容	河野玄容陶磁器展		作品展	いよてつ高島屋(愛媛県松山市)
10.19～11.4	竹崎 勝代	竹崎勝代 木版画展		作品展	コマチ(兵庫県神戸市)
10.21～10.23	杉田 真梨子	劇団まげもん 時代劇コメディ	よいではないか26	演劇	朝日放送テレビ内ABCホール(大阪府大阪市)
10.21～11.7	内田 千恵	奈良・町家の芸術祭 はならあと	2022	作品展	天理本通り商店街の元商店・空き家(奈良県天理市)
10.22～10.24	福原 成雄	「チームフクハラと日本庭園」		作品展	知恩院和順会館 ギャラリー和順(京都府京都市)
10.22	内藤 綾乃	Klavierabend 2022		音楽会	宝塚ベガホール(兵庫県宝塚市)
10.22～10.23	岸田 めぐみ	大阪文化芸術創出事業	OSAKA LAUGH & ART 2022	作品展	大阪市中央公会堂 3階中集会室(大阪府大阪市)
10.28	加藤 八千代	三八式楽府 デュオライブ		音楽会	日本キリスト教団天満教会(大阪府大阪市)
10.29	阪本 康生	阪本康生ピアノリサイタル2022		音楽会	ムラマツリサイタルホール新大阪(大阪府大阪市)
10.29	古庄 新一	第25回大阪芸術大学 Euphonium	&Tuba Ensemble Concert	音楽会	大阪市立阿倍野区民センター(大阪府大阪市)
11.5	田中 公道	兵庫県立尼崎西高等学校創立60周年	記念式典 田中公道 テノール ミニリサイタル	音楽会	あましんアルカイックホール(兵庫県尼崎市)
11.11	田中 公道	UNRISE PRAYER FOR WORLD PECE	世界平和 祈りの幕開け 田中公道 テノールミニリサイタル	音楽会	神戸ポートピアホテル(兵庫県神戸市)
11.13	田中 公道	第25回 敬老の集い2022～感謝の	気持ちを込めて～田中公道 テノールリサイタル	音楽会	堺市立泉北高倉小学校 体育館(大阪府堺市)
11.14～11.26	中西 學	中西 學 溶食形態Ⅱ		作品展	天野画廊(大阪府大阪市)
11.16～11.23	小泉 里美	第18回日韓現代美術同行展		作品展	大阪芸術大学スカイキャンパス(大阪府大阪市)
11.17	田中 公道	PLATINUM CONCERT 2022	～輝きは色褪せず～	音楽会	兵庫県立芸術文化センター(兵庫県西宮市)
11.18～12.5	松本 セイジ	SEIJI MATSUMOTO EXHIBITION	「Fun !」	作品展	SPACE14/SkiiMa Gallery(大阪府大阪市)
11.19～R5.1.9	三浦 太郎	三浦太郎展 絵本とタブロー		作品展	板橋区立美術館(東京都板橋区)
11.20	寺倉 礼那	華舞道一想ー		舞踊	高野山遍照尊院(和歌山県高野町)
11.25～R5.1.20	高山 博子	日印国交樹立70周年記念特別展 ーウペンドラ・マハラティと高山	「絵画で紡ぐインドと日本のきずな」 博子ー	作品展	広島県立美術館(広島県広島市)
11.26	阪本 康生	阪本康生ピアノコンサート～我が	恩師西垣勝恵先生に捧ぐ～	音楽会	大阪神愛教会(大阪府大阪市)
12.3	吉田 芳一	年忘れ&クリスマスディナーライブ		音楽会	ホテルプラザオーサカ(大阪府大阪市)
12.7～12.18	若林 富美子	第2回”classical photograph	の魅力	作品展	堺アルフォンス・ミュシャ館堺市立文化館ギャラリーつつじ(大阪府堺市)
12.9	久納 卓	セザール・フランクの世界～生誕	200年に寄せて～	音楽会	神戸市中央区文化センター(兵庫県神戸市)
12.10～12.13	若林 富美子	詫び寂び		作品展	さかい利晶の杜(大阪府堺市)
12.14	門谷 行宏	第46回保育学科インターフェス	ティバル	音楽会	大阪芸術大学短期大学部 大阪学舎(大阪府大阪市)
12.18	宮本 ひとみ	韓国歌曲研究会第七回演奏会韓国	のうた・日本のうた・世界のうた	音楽会	兵庫県立芸術文化センター神戸女学院ホール(兵庫県西宮市)
12.26	紺谷 志野	Trio Abend 15th Anniversary	Concert	音楽会	日本キリスト教団宇治教会(京都府宇治市)

◆◆奨学生の声

大阪芸術大学 大阪芸術大学短期大学部 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

◆大阪芸術大学 M・M

物心ついた頃から絵を描くことが大好きでアニメーターを志すようになったのは高校二年生の時でした。貴学のアニメーションコースの存在を知り、これ程実践的なアニメーション制作を学べる場所は他にないと入学を決意したことを今でもよく覚えています。母子家庭につき経済的に苦しく、アルバイトを頑張り続ける日々だったので、今回奨学金を付与して頂きとても助かりました。残りの学生生活で、これまで学んできたことの集大成を卒業制作のアニメーションとして完成させ、皆様にお見せしたいです。卒業後は、ご期待に添えるよう業界の最前線で活躍するアニメーターとして、ジャパニメーションを世界中に広めるため精進していきます。この度は本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

◆大阪芸術大学 大学院 H・B

私は中国の貴州省の小さな農村出身で、大学を卒業した後、自分の絵画能力を磨き続けるために日本に留学し、東京でアルバイトで忙しく、一生懸命に受験しました。ついに夢の大学である大阪芸術大学に合格しました。しかし、同時に、母はコロナが原因で仕事を失い、父も収入が急に下がり、私自身の経済圧力が急増しました。奨学金を申し込むことにした時も少し緊張しました。しかし、私が奨学金の申請に成功したという通知を受けた時、その場で興奮して涙を流した。この奨学金は本当に私を助けてくれました。

これから、私は絵画の知識をもっと一生懸命勉強し、自分の絵画の基礎を精進し、より良い絵を作ります。

この度は塚本学院校友会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

◆大阪芸術大学 短期大学部 Y・U

私の学費に加え姉の学費もあるので、両親に負担をかけており、家からの仕送りが見込めないため、学生生活を送るための生活費として、また両親の負担を減らしたいと思い、塚本学院校友会奨学援助金を申請しました。申請するにあたって、私は文章を書くことと面接が苦手なので、書類が通るか、面接できちんと答えることができるか不安でした。しかし、審査結果の通知が来たとき、親から連絡が来たときは、とても安心しました。また、親に「良かったね」と言ってもらえたので、「親の負担を減らせたかな。少しでも力になれたかな。」と感じ、嬉しく思いました。

後期では卒業制作が始まるので、そちらに専念して、積極的に作業に取り組みます。学生達みんな協力してお客様に感動していただけるような良い作品を作りたいと思います。残りの学生生活を悔いのないように過ごしていきます。塚本学院校友会の皆様、この度は誠にありがとうございました。

◆大阪芸術大学 短期大学部 S・S

私は大学進学に伴い、同時期に進学する双子の姉と田舎から兵庫に出てきました。同時期の二人の進学はかかる学費や生活費も二倍になり、女手一つで育ててくれる母に大きな負担をかけてしまいました。しかし母は、進学を決めた際にも嫌な顔一つせず、私の夢を全力で応援してくれ、仕事がどれだけ忙しい中でも「いつでも帰ってきていいからね」といつも気にかけてくれています。そんな母の期待に少しでも応えたい一心で日々の授業や実習、調査には人一倍熱心に取り組む、課外活動にも積極的に取り組んできました。そして今回、奨学生として認定していただくことができ、母に

◆大阪美術専門学校 N・T・M・H

小さい頃から芸術や審美的なものに興味を持っていました。また、私は常に自然から芸術的なインスピレーションを得ています。自然は美しい生き物を多く与えてくれ、芸術作品の豊かなインスピレーションの源であり、作品を生み出すための素材の源でもあります。しかし、社会が発展すればするほど、人々は慌ただしく生活し、見た目や利便性を重視するようになります。人間のニーズを満たすためのアイテムの過剰生産や、使い捨て製品の過剰な使用は環境に大きな負担をもたらしています。アートは、世界観を表現したり、アーティストの気持ちを伝える手段です。それがアートの意味だと思います。アートを通じて、自分の世界観を表現するだけでなく、自然の美しさを称え、環境保護についてのメッセージを伝えたいと思っています。

ベトナムからの留学生で、この困難なところに塚本学院校友会の奨学生に認定していただき、感謝しています。

◆大阪美術専門学校 K・M

私は中国からの留学生で、2018年に渡日、日本語学校を卒業して、大阪美術専門学校に三年間在学し、大阪芸術大学の三年次に編入予定です。本日は、奨学金を給付して頂き誠にありがとうございました。今年は今まで一番辛い年だと思います。私の祖父と祖母が亡くなりました。コロナのせいで、私はもう三年間帰国できませんでした。両親は私が病気になるのを恐れて、私をバイトに行かせてくれません。両親はずっと私の学費と生活費を支持していますが、私は普通の家庭なので、きつと大変だと知っています。そのため、私は努力しないといけない理由があります。もっと優秀な自分になって、

嬉しい報告と少しですが恩返しをすることができました。これからも奨学生としての責任、自覚そして多くの人への感謝の気持ちを忘れず、今後もより一層夢に向かって精進していきます。

最後になりましたが、この度は塚本学院校友会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

◆大阪芸術大学 短期大学部 C・S

高三の冬、私は両親に「学費全部自分で払うから、演劇学べる大学に行かせて」と言い、念願叶って今の大学に通う事になりました。

しかし、当時の私は学費を全額負担する大変さを知りませんでした。実際払っていく中で、学費を工面する難しさ、お金の大切さ、そしてその現実を痛感しました。そうした中、塚本学院校友会奨学金の応募のメールを見つけました。一つの希望に託してみようと思い、両親には頼らず、自分で準備をして応募しました。合格の通知が来た時、今までの努力が報われたような気がしました。

私を奨学生に認定して頂き、誠にありがとうございました。喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

今現在、私は経済的な心配なく、のびのびと自分の好きな演劇を学んでいます。まだまだ未熟な私です。努力を忘れずに、これからも自分の目標に向かって、全身全霊で突っ走っていきます。

◆大阪芸術大学 短期大学部 H・S

この度は、塚本学院校友会の奨学生に認定していただきありがとうございます。

将来私は、自分のブランドを立ち上げ、絵を使って幅広い表現をしていくクリエイターを目指しています。

私を愛する人のために何があっても諦めません。

奨学金をくれて、両親を喜ばせて、ストレスを解消してくれたことに感謝したいと思います。今後は芸大生として学ぶ事になります。精一杯励みたいと思います。未来の私にご期待ください。よろしくお願いいたします。

◆大阪美術専門学校 R・G

私は大阪美術専門学校に入学する以前、デザインとは全く関係ない大学に在籍していました。卒業する直前、就職先を探している中で母からかけられたのは「専門学校に通ってもいいんじゃない？」という思いもよらない一言でした。幼い頃から興味のあったデザインの道を志してもいいんだと気づき、一念発起して数年が経ちました。良い友達に恵まれ新鮮で楽しい日々を過ごせることに對して、母には感謝してもしきれません。早くに父が他界し、女手一つでありながらも十分な学業の機会を与えてくれたからこそ、私のやりたいことができています。そんな母の助けに少しでもなれば、と思い奨学援助金制度に申し込みをしました。結果認定して頂くことになり大変感謝しております。この場を借りて、校友会の皆様には厚くお礼申し上げます。私自身まだまだ未熟で、社会に出れば様々な困難に立ち向かうことと思いますが、この学校で学んだことを忘れず日々精進していきたいと思っています。

◆大阪芸術大学 短期大学部 A・T

この度は、令和四年度塚本学院校友会の奨学生に認定していただき誠にありがとうございました。私は将来地元である徳島県美波町の魅力を世界に発信できるグラフィックデザイナーになりたいと思います大阪芸術大学短期大学部にてグラフィックデザインコースを専攻しています。私の地元には日本に一つしかないウミガメ博物館や四国遍路八十八カ所に認定されているお寺などがある魅力溢れる街ですが、過疎地域ということもありその魅力や文化は全国的に知られていません。生まれ育った街の魅力や文化が消えないためにもデザイン

の力で地元の魅力を伝え、町おこしに貢献できるグラフィックデザイナーになりたいと考えています。そのため授業の課題や自主制作では地元を題材にしたプランディングやロゴ制作を主に取り組んできました。卒業後は大阪芸術大学に編入し、デザインプロジェクトで現場に近いデザインを学んでいきたいと思っています。この度はありがとうございました。

ありがとうございます。

塚本学院 校友会奨学金検討委員会では、大阪芸術大学グループ各校の最終学年を対象に、奨学援助金を希望する学生を募集し、援助金を給付しております。令和四年度は各校から合わせて12件の申請があり、書類選考・面接審査を経て10名の奨学生が認定されました。ここでは奨学生から寄せられた感想文を紹介いたします。

第32回関西学生対校女子駅伝競走大会 総合6位

7年連続10回目の全日本大学女子駅伝出場権獲得 (大阪芸術大学 女子駅伝部)



女子駅伝部監督 中瀬 洋一
スは駅伝デビューの1区菊地結香(デザイン2)が緊張し過ぎたのか10位とまさかの出選



1区 菊池選手

れ。2区日吉鈴菜(芸術計画4)が順位を3つ押し上げ7位に浮上。3区古原夏音(工芸3)が前との差を詰め、4区古賀華実(初等芸術教育4)が主将の意地を見せ1校を抜き6位に。5区北川星瑠(舞台芸術3)は何とか出場には間に合ったが本来の力を出せず、6区アンカー鈴木杏奈(初等芸術教育3)も前を追いかけるも抜くことが出来ず6位でゴールした。1位は立命館大学、2位に大阪学



1区 菊池選手-2区 日吉選手



4区 古賀選手-5区 北川選手



6区 鈴木選手

院大学のシード校が入り、3位佛教大学、4位関西大学、5位関西外国語大学が続いた。6位の本学は関西地区枠4番目で通過。創部14年目で10回目の全日本大学女子駅伝の出場権を得た。大会1週間前にワールドユニバーシティゲームズハーフマラソン日本代表の北川星瑠(舞台芸術3)が練習中に捻挫。直前に全区間のオーダー変更を余儀なくされたことが響いた。昨年の2位から6位に沈み全日本大学女子駅伝でのリベンジを誓った。



3区 古原選手

第32回関西学生対校女子駅伝競走大会 2022.9.23 神戸しあわせの村周回

区間	選手名	学科	距離	記録	区間順位	通過順位
1区	菊地 結香	デザイン2	3.9km	13分16秒	10	10
2区	日吉 鈴菜	芸術計画4	3.3km	11分01秒	6	10→7
3区	古原 夏音	工芸3	6.5km	22分35秒	6	7
4区	古賀 華実	初等芸術教育4	6.5km	22分30秒	4	7→6
5区	北川 星瑠	舞台芸術3	3.3km	10分52秒	3	6
6区	鈴木 杏奈	初等芸術教育3	6.5km	22分50秒	5	6
total			30.0km	1時間43分04秒		総合6位



1区 古賀選手

2区 日吉選手

3区 北川選手

4区 菊池選手

5区 古原選手

6区 鈴木選手

第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 総合10位

昨年の11位より1つ順位を上げるもシード権獲得ならず (大阪芸術大学 女子駅伝部)



1区 古賀選手

10月30日(日)宮城県仙台市陸上競技場をスタートし、仙台市役所までの6区間38.1kmを走る第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会が行われた。シード7校と各地区予選を勝ち抜いた18校、それにオープン参加の東北学連選抜を含む計26校で学生日本一をかけ競い合った。昨年は11位。今年はその悔しさを晴らすべく、8位のシード権獲得を目標に過酷なトレーニングを積んできた。レースは1区古賀華実(初等芸術教育4)が10位で襷を渡し流れを作った。2区日吉鈴菜(芸術計画4)はスピードランナーが集まる区間で力及ばず3校に抜かれ13位に後退。3区エース北川星瑠(舞台芸術3)は13位で襷を受け取ると、前を行くランナーを次々抜き去り7位に浮上。



2区 日吉選手-3区 北川選手

シード権内に突入した。4区菊地結香(デザイン2)は他大学と力の差を痛感。順位を3つ落とし10位に。5区古原夏音(工芸3)は他大学のエースを相手に順位をキープ。6区アンカー鈴木杏奈(初等芸術教育3)は前だけを見て追いかけたが順位変わらず10位でフィニッシュした。シード権獲得の8位までは僅か17秒届かなかったが、上位12位までに与えられる年末の全日本大学女子選抜駅伝競走大会(富士山女子駅伝)の出場権を手にした。



5区 古原選手-6区 鈴木選手

第40回全日本大学女子駅伝競走大会 2022.10.30 仙台市陸上競技場

区間	選手名	学科	距離	記録	区間順位	通過順位
1区	古賀 華実	初等芸術教育4	6.6km	21分56秒	10	10
2区	日吉 鈴菜	芸術計画4	3.9km	13分23秒	19	10→13
3区	北川 星瑠	舞台芸術3	6.9km	22分42秒	5	13→7
4区	菊地 結香	デザイン2	4.8km	16分53秒	15	7→10
5区	古原 夏音	工芸3	9.2km	31分53秒	13	10
6区	鈴木 杏奈	初等芸術教育3	6.7km	23分30秒	10	10
total			38.1km	2時間10分17秒		総合10位

レース後の中瀬監督のことは

シード権まであと2つ。来年はシード権を獲得し、皆さんと共に喜びを分かち合えるよう頑張ってまいります。

写真/大阪芸術大学
文責/中瀬 洋一



川西 純市さん

1990年 大阪芸術大学 芸術学部美術学科 卒業
1992年 大阪芸術大学 芸術専攻科美術専攻 修了

東京オリンピックメダル および 近鉄電車あをによしエンブレムやラトビアのリガ国際マラソン30周年記念メダルをデザインされた、デザイナー川西純市さんをインタビュー。デザインに込めた想いや、いろいろなデザインをされていることについてお話を聞きました。

このたびは、近鉄電車の観光特急「あをによし」のエンブレムデザイン・東京オリンピックメダルデザイン等について伺いました。近鉄電車観光特急エンブレム「あをによし」は、古代の文様を現代風にアレンジして奈良に幸せを運ぶ！鳳凰や鶴などの端鳥が草花や花枝などをくわえた姿をあらわしています。ササン朝ペルシャを起源とし、日本では正倉院御物や数々の工芸品の装飾に見られ、ノアの箱舟から飛び立ち、オリーブの枝葉をくわえて戻ってきた鳥と同様に幸せの兆しとされる縁起の良い吉祥文様として用いられています。オリンピック関連では、「光と輝き」「アスリートのエネルギー」「多様性と調和」という3つのコンセプトをもとに、輝く光の輪をイメージしましたが、まずは応募の規定となる「エンブレム」のコンセプトを熟知することから始めました。「エンブレム」の異なる3種類の四角形をくみあわせた組市松紋は、多様性を表現し国や人種を超えて、人々がつながれるコンセプトを引き継ぎ、「和」よりも“グローバル”を意識して、地球のモチーフの上にエンブレムを置き、まわりを立体的な光が反射し輝いて見える曲面を設計した、光の渦としました。

近鉄観光特急「あをによし」



「あをによし」エンブレムデザイン



近鉄観光特急



あをによし グッズ

クライアント：近畿日本鉄道株式会社
設計：近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部 企画統括部 技術管理部(車両) 奥山 元紀
インテリアデザイン：株式会社 近創 デザイン・設計部 中川 利江
文様デザイン：Tenpyo-design 藤野 千代
エンブレムデザイン：川西 純市



東京2020オリンピックメダル



2021年 リガ国際マラソンメダル
30周年記念メダルとリボンをデザイン

プロフィール

川西純市 (かわにし・じゅんいち)
SIGNSPLAN (サインズプラン) 代表
SDA 公益社団法人 日本サインデザイン協会 常任理事

略歴

1967年 大阪府大阪市出身。
1990年 大阪芸術大学芸術学部美術学科 卒業
1992年 大阪芸術大学芸術専攻科美術専攻 修了
1992-1995年 大阪芸術大学デザイン学科空間デザイン研究室 副手勤務
1996-2006年 ランドスケープ設計事務所、サインメーカー勤務
2006年 デザイン事務所・SIGNSPLAN を設立、関西を中心に役所や学校、病院等の公共施設、オフィス、ホテル、商業空間のサイン計画、空間グラフィックを手掛ける。

主な作品・受賞等

2006年 SETRE LEVER HOTEL+OCEAN サイン計画 第40回 SDA (日本サインデザイン賞) 入選
2010年 駿台予備校京都南校サイン計画 第44回 SDA 賞入選
2011年 IMD 国際医療開発センターサイン計画 第45回 SDA 賞入選
奈良市保健所・教育総合センターサイン計画 第45回 SDA 賞入選
2013年 和歌山信愛中学・高等学校サイン計画 第47回 SDA 賞奨励賞
2014年 セトレマリーナびわ湖 第48回 SDA 賞入選
2015年 長浜市役所サイン計画 第49回 SDA 賞入選
2016年 雲南市役所サイン計画 第50回 SDA 賞入選・中国地区デザイン賞
天理メディカルセンター 第50回 SDA 賞入選
神戸学院大学付属高等学校 サイン計画 第50回 SDA 賞入選
2018年 甲南大学 iCommons サイン計画 第52回 SDA 賞入選
浜寺病院「けやき棟」第52回 SDA 賞入選・関西地区デザイン賞
2019年 なんばスカイオサイングラフィック
TOKYO2020 オリンピックメダルデザインに選ばれる
2020年 新長田合同庁舎サイン計画 第54回 SDA 賞 銅賞
SETRE ならまちサイン計画 第54回 SDA 賞 関西地区デザイン賞
2021年 ラトビア リガ国際マラソンメダル A'Design Award ブロンズ賞 (イタリア)
2022年 JST ハリスバーグ研究所 (USA) 第56回 SDA 賞 銅賞
高松第一高等学校サインプロジェクト 第56回 SDA 賞 銅賞
近鉄観光特急「あをによし」エンブレムデザイン 第56回 SDA 賞 入選



2022年 JSTハリスバーグ研究所



2022年 高松第一高等学校サインプロジェクト



2020年
新長田合同庁舎
サイン計画



安井 寿磨子さん

1981年度 大阪芸術大学 美術学科 絵画コース 卒業 (F8126)
大阪芸術大学美術学科教授

今回は、安井寿磨子展 -花野にて-ギャラリー プチボワ(大阪)
2022年8月22日(月)～9月10日(土)を取材。本展では、秋をテーマにした新作版画を中心にドローイング、オブジェなどの展示もあり、また今年2月に刊行された自伝絵本『ほじょりん工場のすまこちゃん』の挿絵、銅版画が入った特装本も並びました。

銅版画に出会ってから
今まで飽きることなく、
いつの間にかライフワークに。



青い月



ふわふわの着物



版画教室



今年の新作のテーマは「秋」。これは一昨年の「春」、昨年の「夏」に続く、季節ごとの彩りを表現したシリーズです。
秋のひんやりとした空気に包まれる深い情景の中に、満ち溢れる草花と静かな月。「秋」の冷えはじめた空気の中の、儚い夢の世界です。
眺めるたびに新しい発見がある花の美しさを版画に込めて、想うまま、感じるままの作品の誕生を、作家自身も楽しんでいるようです。
繊細なエッチングにパステルで手彩色した、柔らかく温かみのある作品は、村上龍、池上永一、瀬戸内寂聴などの装画にも採用され、その他にも、新聞の挿絵連載や絵本執筆、堺市親善大使を務めるなど、幅広い活躍をされています。
秋が終わり季節が変わり始めると、次は来年の「冬」を想い、季節を見つめていきます。
「冬」の世界から生まれ出てくる作品も、是非どうぞお楽しみください。

大阪芸術大学美術学科 版画コース

美術学科版画コースでは、版画の基礎的な技法を学び、その表現方法を知ることから、学生自身が楽しみながら、自分自身の個性や方向性に気付くことに、学習の重きを置いています。大学で版画と出会った学生が、その技法や制作過程に興味を持つこと、面白さを感じることが、まずは、何より大切です。そして、その制作過程では、自分是一体何に興味関心があるのかという視点を以て、制作課題を絞っていき、自分自身を表現していきます。
技法を習得することが、版画の目的ではありません。完成する作品のイメージに近づけられるかという体験を通して、学生の中にある自分の世界観を最大に引き出してあげられるよう、サポートしていきます。

ほじょりん工場のすまこちゃん

2022年2月10日に福音館書店より発売されました。日本で唯一残る自転車の補助輪工場を舞台に描かれた物語です。
路面電車がはしる大阪の小さな町で、あんまりやる気のないのんびりやの小学生すまこの赤い自転車は、いつまでたっても補助輪つき。友達にからかわれても、このままでええねん!と、気にしない。しかし、「ほじょりんをはずすぞ」とおとうちゃんの声で、とつぜん自転車の練習がはじまりました。やる気も勇気もないすまこには、ぜったい無理にきまっています。
「すまこちゃん」がくりひろげる、おかしくて、ちょっぴりしんみり、人情味あふれる物語です。



絵本「ほじょりん工場のすまこちゃん」

PROFILE

1959年 大阪府生まれ

現代版画コンクール(大阪府立現代美術センター)への出品などを経て、84年 平松画廊(大阪)にて初個展。96年から現在までギャラリープチボワ(大阪)で毎年個展を開催するほか、東京など全国の展覧会に出品。繊細なエッチングによる線とパステルによる手彩色で、性や年齢などの属性を越えた人物と草花が等しく存在する世界を描き続けてきた。村上龍などの小説の装画も数多く制作し、近年では『百年文庫』(ポプラ社、2010-11年)全100巻の表紙を初の木版画で取り組んだ。『鱧の痕跡』(93年)をはじめ詩画集や自身の幼年時代を題材にした絵本も刊行している。



アトリエ

インタビュー・文責 / 企画広報委員 植村幸治・金沢ちかこ



ここは、コンサート・演劇・ミュージカル・伝統芸能・上映会・発表会・式典などの全てのパフォーマンスの殿堂

EVANS CASTLE HALL

浅川ハーベストビル株式会社 代表取締役

株式会社主婦の店 代表取締役会長

浅川 哲弥 1982年 大阪芸術大学 工芸学科卒業(陶芸専攻)(C8004)

古都奈良の観光の入り口ともいえる、JR奈良駅から三条通りに入って間もなくのところにEVABS CASTLE HALL(エヴァンズ キャッスル ホール 2019年設立)があります。三条通りをそのまま進むと猿沢池や興福寺にもほどなく到着する場所です。前号のウィングスNo.43の記事 工芸学科「40年後に送られてきた奇跡の卒業アルバム」でも少し紹介されましたが、その際のアルバム委員会の皆様から、このホールとホールを設立された浅川さんを是非取り上げて欲しいと熱烈な推薦を頂きました。私自身が奈良の出身で舞台の仕事をしていることもあり、興味を持ってこの歴史ある場所に創られたEVANS KINGDOMをお訪ねしました。



EVANS KINGDOMの三条通り沿いの入り口にはEVANZ PLAZAがあります。まずはその入り口で「この建物、ヨーロッパのお城の城壁は何なのだろう?」と眺めていると、とても柔らかな物腰でまさに紳士という雰囲気浅川さんが出迎えて下さり細かく案内して下さいました。そこではとても不思議な光景が展開されるのですが、そのお話は後にして。

EVANS KINGDOMは3ブロックから成る複合施設です。まず入口のEVANS PLAZA 飲食を中心としたテイクアウト型小規模店舗を配した屋内街路 ここを通り抜けるとCASTLE GADEN こじんまりしたステージを配した屋外のお祭り広場。ここでは多角的なイベントが開催されています。さらに進むとEVANS CASTLE HALLに到着。ホールのロビー入り口にはドリンクカウンターがあり、[ここにはスポーツカフェ](#)「気まぐれ! Hawks(ホークス)」が併設されています。このカフェには展示コーナーがあり、プロ野球のグッズがずらーっと並び、そこにはイチロー選手のユニフォームを始め、多くのサインボールなども。浅川さんは南海ホークスの頃からのホークスファン。現在の福岡ソフトバンクホークスの試合の際は、このカフェで野球中継を流し、自らカウンターに立ってお客様と共に試合観戦。試合のある日は、通常の仕事から引き続いて野球終了まで長い仕事時間になるそうです。

そして、いよいよEVANS CASTLE HALLホールの中へ。ホールがオープンしたのは2019年10月。翌年にはコロナ禍が始まり予定していたイベントは中止や延期、その後の入場制限もあり現在も当初予定していた運営には至っていないそうですが、ホールの特性を生かした多彩な演目が行われています。音楽ライブ・コンサート・演劇・講演会・落語会・映画祭・プロレスリングなど。ホールの空調設備では、消臭除菌電解次亜水を空間に噴霧することでコロナ対策としてもより安全性の高い空間を確保されています。将来は舞台スタッフにも大阪芸大卒業生を登用していきたいとのこと。ホールの2階にはギャラリースペースがあり、奈良出身の現代アート作家 ヤマオタケンさんの絵が飾られていました。



EVANS PLAZA 入口



CASTLE GADEN

スポーツカフェ 気まぐれ! Hawks



EVANS CASTLE HALL エントランス

浅川さんは、大学を卒業後は陶芸の道とはかかわりのない仕事に就かれ、在学中の友人たちともほとんど交流もなく過ごしてこられたそうで、今回のご友人たちからの推薦には大変恐縮しておりましたが、奈良のアーティストたちの力になりたいとの思いから、この奈良の地にホールを創設したことを語って下さいました。

自身が生まれ育ち、仕事で長く関わってきたこの歴史ある場所に、広く奈良に貢献できる施設を目指して、新しい複合施設EVANS KINGDOMを創り、奈良を中心に活動する文化・芸術の各分野のアーティストの活動拠点として、また奈良を紹介する施設として、そして地元の皆様にも文化・芸術との出会いを提供することを目指してEVANS CASTLE HALLを創られました。自分たちの子供や孫の時代に少しでも良い環境を残していきたいと語って下さいました。

ところでEVANSとは? EVANS KINGDOMとは?

お訪ねする前にホームページ等で写真を見て、浅川さんからいろいろと説明を伺ったりと、私の中では一応の理解はしたのですが、その世界はとても奥深くてこの紙面ではとても説明できそうにありません。浅川さんから頂いた冊子等から少し抜粋させていただきます。

○EVANS KINGDOMの紋章

紋章は王国の王を現わす王冠、EVANSの善悪二心を現わす陰陽(善悪)二つのドクロ、それを推し量る天秤、そしてエヴァンの守護星座たる蠍(さそり)の4つの重要な要素から構成されています。

・・・このサソリは入口正面のレリーフ、CASTLE GADENの至るところに這っているとか実際に赴き探してみよう。(はい、いっぱいいました!)

○EVANSって何?

EVANSは人の心をそれぞれに具現化したもので、悪心のEVAN GOLDと善心のEVAN SILVERに分かれる。ようするに、EVANSは人の心なわけだから、皆も一皮剥けば誰もがEVANSってことさ。

・・・ホールの通路やその他にEVANSの等身大の人形がいます。

皆様、奈良をお訪ねの際には、奈良の玄関口三条通りを少し入った所、EVANS KINGDOMにお寄りいただき、是非この世界を体感してください。

文責/企画広報委員 豊田 千晶



豊田企画広報委員と浅川さん



EVANS CASTLE HALL ホール 最大収容190席(スタンディング550人)

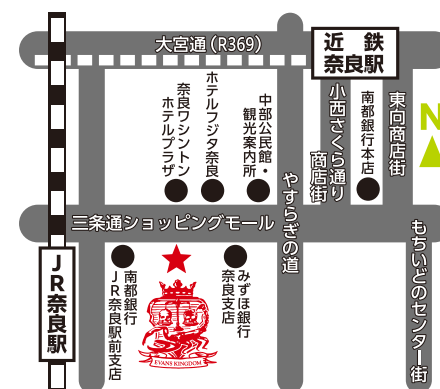


EVANS CASTLE HALL 入口とサソリのレリーフ



EVANSと豊田企画広報委員/ヤマオタケンさんの絵画

EVANS CASTLE HALL アクセス



EVANS KINGDOM 紋章



ステージに立つ側から ステージを支える側へ

株式会社 大阪アートエージェンシー
代表取締役 奥村 芙未

2002年 大阪芸術大学 演奏学科卒(管弦打コース)(R99)



大阪芸術大学グループの学外公演のほぼ全てのマネジメントに携わる大阪アートエージェンシー代表の奥村さん。2011年に大阪コンサート協会から業務を引き継ぎ新会社を設立、芸術の感動を伝える仕事に精力的に取り組んでおられます。お話を伺った日は、ザ・シンフォニーホールのラジオ番組「ザ・シンフォニータイム」の収録が終わられたあとでした。演奏家を目指していたところからのマネジメントへの転身。そのいきさつや活動への思いをうかがいました。

音楽との出会い

3歳からピアノを習い始めました。中学校の吹奏楽部でサクソフォーンに出会って、演奏家を目指し大阪芸大演奏学科管弦打コースに入学しました。

マネジメントとの出会い

大学を卒業後、管弦打研究室に副手として勤務。演奏会関係の業務にも携わるようになりました。その頃に顎を痛めてサックスが吹けない時期があり、痛み止めを飲みながら演奏したりと辛い思いをした時もありました。でもその治療の間に、裏方の仕事に力をいれていたおかげで、演奏家を支えるマネジメントの仕事に興味を持つようになりました。

その後、大学の演奏会のマネジメントをされていた音楽事務所に入社し、本格的にマネジメントに関わるようになりました。

新会社設立のきっかけ

自分が会社を創るなんて考えたこともありませんでした。でも、お世話になった社長が高齢で体調を崩されたこともあり、突然に会社をたたむと言われて。それで「事業を引き継がないか?新しい会社を創ってやってもらえないか?」と言われました。丁度私は自分の結婚式の直前で、引き継ぐまでの時間も短くて、どうしたらよいか分からずとても迷いました。

そんな時、私の兄が(兄は父の会社を継いで頑張っているのですが)「好きな音楽の道を歩んできて、まだ音楽の仕事の世界が目の前にあるのに、立ち止まってほしくない」と言ってくれたのです。その言葉で、迷いは一気にふっきて会社設立の為に懸命に走り回りました。そして2011年6月に新会社を立ち上げました。

マネジメントの仕事についてのご自身の考えは

一つの演奏会で、演奏する以外の全ての仕事を担い、演奏家を支えて芸術の感動を伝えることは、とても重要な仕事だと考えています。私自身が演奏をしていたし、演奏家を目指していたので演奏家の気持ちがわかることが一番の強みだと思っています。舞台に立つ人は皆さん緊張もするし、特別な精神状態におかれます。それぞれの演奏者に対しての理解とそれを踏まえての丁寧な仕事を進めていくことが大切なことだと考えています。

お子さんが二人おられて家庭や子育ては

子供は小学3年生と保育園の年長の女の子二人です。もともと私の実家が自営業で父も母も働いていましたし、家庭と仕事という点では上手く両立出来ていると思います。子供達も音楽が好きですし、仕事ながら時間も不規則で夜遅くなることも多いのですが、主人も私の仕事を応援してくれて、協力しあえています。

コロナ禍での仕事の様子は

2020年の4月に緊急事態宣言が出され、予定していた演奏会の中止や延期の手続きをした後は、半年以上ずっと自宅で過ごしていました。当初は仕事も全く無くなり、出かけることさえ出来なくなり、この先どうなるかと思いましたが、反対に在宅での仕事を増やすことが出来、仕事が戻ってきた現在にも上手く生かせていると思います。

ようやく大阪芸大の演奏会が、無観客・配信のみの公演で再開されることになり仕事が復活し始めました。2020年12月に大阪芸術大学学生によるピアノ演奏会(ザ・フェニックスホール)同じく12月に大阪芸術大学

大阪芸術大学ウィンド・オーケストラ 第43回定期演奏会 2022年10月19日ザ・シンフォニーホール

© 飯島隆



特別演奏会(フェスティバルホール)

9か月ぶりの演奏会でした。

「ここに戻ってこられた・・・私の場所はここだ・・・」という気持ちにあふれ胸がいっぱいになりました。

最後に今後の抱負を

大阪芸術大学の演奏会や舞台公演、大好きな母校の仕事に携われて幸せです。努力を重ねこれから更に躍進する学生たちのサポートが出来るよう努めていきたいと思います。

また、私自身が母親である経験を活かし、子供たちが“生の音楽”本物の芸術に触れる機会を増やしていきたいと思っています。どんな仕事にも真摯に向き合い、一生懸命取り組んでいきたいです。

文責/企画広報委員 豊田 千晶

ウィンド・オーケストラ 演奏会当日の卒業生のスナップ写真
奥村さんを囲んで



© 飯島隆

左から 内田 尚子 フルート(演奏学科卒 R99)
伊勢 敏之 教授 指揮(演奏学科卒 R89)
橋爪 伴之 教授 トランペット(演奏学科卒 R8)
奥村 芙未 大阪アートエージェンシー代表(演奏学科卒 R99)
丸山 亜希子 大阪アートエージェンシー社員(演奏学科卒(ピアノ)R02)
篠原 猛浩 先生 クラリネット(演奏学科卒 R99)

大阪アートエージェンシーの主な事業

大阪芸術大学グループの学外公演等のマネジメント

・大阪芸術大学特別演奏会	・大阪芸術大学プロムナードコンサート	・大阪芸術大学ウィンドオーケストラ定期演奏会
・大阪芸術大学 JAZZ & POPS	・大阪芸術大学学生によるピアノ演奏会	・大阪芸術大学オペラ公演
・大阪芸術大学声優学概論	・大阪芸術大学短期大学部演劇公演	他

ザ・シンフォニーホールの自主公演の一部の制作 各種コンサートの企画・立案・制作・運営 各種イベント・コンサート等への演奏家派遣



可能性を無限大にする デザインへの挑戦

高山 巧 1985年生まれ
大阪芸術大学 デザイン学科 2008年卒業 (D04074)

大学でコミュニケーションデザインを学び、真生印刷株式会社入社。グラフィックデザイナー・ディレクターとして様々なクライアントの仕事に従事。後に2014年合同会社DMM.com入社。UI/UXデザイナー兼アートディレクターを経て2021年、株式会社ディー・エヌ・エー入社。現在は担当サービスのUI/UXデザイナー及びデザイングループリーダーとして活躍中。



Twitter : ID
@anpanmaru0

こんにちは！大阪芸術大学短期大学部の卒業生の岩瀬です！今回は同じ大阪芸術大学出身で、元同僚であった高山巧さんをご紹介します。印刷からITという異なる領域に挑戦し、現在もデザイナーとして活躍されています。

岩瀬：お久しぶりです。本日はよろしくお願いします。

高山：コロナ前の2020年1月以来ぶりくらいに会いますね。新卒で入った印刷会社時代からですから、思えば長い付き合いになるなあ。

岩瀬：今日は高山君にご自分のキャリアを振り返っていただこうと思ってます。

高山：はい。お手柔らかにお願いします。

大学時代をふりかえる

岩瀬：大阪芸大に入学したきっかけは？

高山：僕は子供の頃から絵を書くのが好きで、イラストレーターになりたいと芸大に行きたいと思い、推薦でうけたら受かったんです(笑) コミュニケーションデザインコースに入って、広告デザインを学んだのをきっかけに、デザインの楽しさややりがいを見つけました。顧客の課題を整理し、デザインをアウトプットする。モノづくりの醍醐味みたいなものを感じましたね。

岩瀬：私が学生の頃(いつの時代！？)は、限りなくアナログなデザイン時代でした！レタリングしたり、アクリル絵具やインスタントレタリング使って制作したりしてた…時代の差を感じます(笑)

高山：学生の時はとにかく楽しくて、仲間とポストカード作って販売したり。無邪気なものづくりを楽しんでいた思い出があります。その時の仲間とは今でも繋がりがあって、活躍している友人もたくさんいるんですよ。



大学時代のグループ展

デザイナーとしてのスタート

岩瀬：私は真生印刷に1989年入社。当時の印刷はアナログからデジタルへの変換期でDTP黎明期でした。高山君が新卒で入社したのが2008年。郷里が金沢の高山君が、なぜ大阪で就職したのですか？

高山：パッケージデザインをやりたいと思って、募集要項にパッケージがあった真生印刷を受けたら受かった(笑)。実際にはパンフレットやDMなどのデザイン制作に明け暮れました。パナソニックや、アリコなどの数十社を超える多様なクライアントのデザインに携わる事が出来ました。自分のデザイナーとしての基礎はここで培われました。

岩瀬：私も同じくカレンダーの企画デザインをはじめとするいろんな媒体の制作に携われた充実した時期でした。

高山：新米デザイナーとして、非常に多くの制作経験を積む事が出来たのは本当に良い時間でした。

Re.Start 新たなステージへの挑戦

岩瀬：数年して、わたしも高山君も新しいステージに向かいましたね。

高山：6年程働いて来た中で、もっと自由に表現出来る媒体へ、より上流から制作に関わりたいという思いが高まり、故郷の石川にあるIT系事業会社のDMM.comにUターン転職をすることになりました。

岩瀬：紙媒体からWEBへの転身！迷いはなかったのでしょうか？

高山：全く迷いがなかったわけではないですが、ポートフォリオを先方に見せた所、制作のクオリティは申し分ない！と評価していただいたのでチャレンジしました。入社当時はWebという媒体での理解も経験も無し。デザインを0から学び直すように、セミナーを受けたり参考書を読み漁ったりして日々学習していました。

岩瀬：迷いはあったけれど、変化する事を選んだ。

高山：媒体が違えど、情報をデザインしてアウトプットする本質は変わらないと思いました。WEBやアプリのデザインを経験する中で、事業サービスそのもののデザインに携わるようになり、その過程で、UI/UXデザイン・体験設計の重要性を学びました。実績が評価され、健康献立提案サービス「MENUS」の立ち上げメンバーとしてアサインされ、VI/CI、UI/UX、マーケティングなどデザイン業務全般を担当すると共に開発チームのプロダクトオーナーも兼任していました。新しい領域にチャレンジし、チーム一丸となってサービスを磨き上げた結果、「MENUS」はGoogle Play ベスト オブ 2019の隠れた名作部門賞を受賞することができました。



DMM.com
MENUS
プロダクトデザイン



DMM.yell/DMM okan
プロダクトデザイン



真生印刷
ダイレクトメール
パンフレット

岩瀬:変化とチャレンジ。わたしは50歳を過ぎてから転職したのですが、聞いてて共感しました。

高山:未経験でもまずは取り組んでみるのが大切な気がしてます。ぼくは根底に『モノづくりが好き』というがあるので、どんな仕事でもそれはずっと変わっていません。そういえば岩瀬さんが転職される時、電話もらいましたね(笑)

岩瀬:そう!相談に乗ってもらいました。あれからもう7年。高山君と一緒に、チャレンジして経験値を積んで来ました。

高山:岩瀬さんの場合は50歳を超えたタイミングでの転職だったから、心理的ハードルは高かったでしょうか?

岩瀬:ええ、それはもう…コミュニケーション力をあげたくて、コーチングを受けたのですが、それは現在仕事にとっても役立っていて、自分もコーチになる勉強をはじめました。



高山:それで『コーチング受けてみませんか?』って連絡いただいたんですね。当時の僕は、サービスデザイナーとしての知見や経験を広めたくて、違う環境での可能性を求めて転職を決意。ディー・エヌ・エーへの入社が決まったタイミングだったんです。漠然とした不安や、今後のキャリアに対して整理したいと思っていたので岩瀬さんの提案はタイムリーでした(笑)

岩瀬:高山君にはコーチングについて既に知識があったんですね。実際に受けてみていかがでしたか?

高山:職場以外で対話の壁打ちをしてもらえたのは有り難かったです。転職にあたって自分の準備出来る事、やらなければならない事、どんな自分になりたいのか、考える事はたくさんあって、定期的にセッションを行って順番に整理したという感じです。

岩瀬:コーチングの効果、出ましたね!ディー・エヌ・エーに入社されてどうですか?

高山:自分がデザイナーとして事業にどんな価値を発揮できるか、スキルが通用するか?精一杯頑張りましたね。現場の判断や考えを重視する社風であり、メンバーが常に問いを重ね、物事の本質を見極めようとする姿勢が自分にとって刺激となっています。最近ではグループリーダーも任されて、マネジメントの課題にぶつかることもあります。日々成長していると実感があります。

岩瀬:具体的にはどのような仕事を担当されているのですか?

高山:カーシェアプラットフォーム「Anyca」のサービスデザイナーを担当しています。アプリプロダクトからマーケティングまで幅広く担当し、サービスの認知拡大に現在も取り組んでいます。

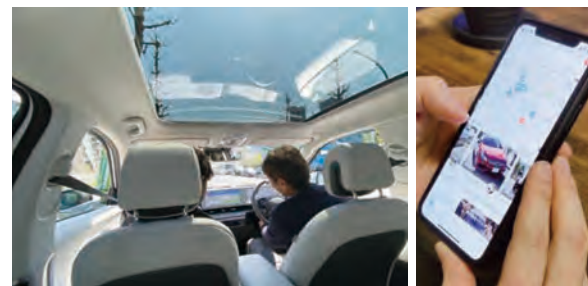
岩瀬:成長途中の高山君ですが、今後はどんな高山君になりたいですか?



DeNA
Anyca
プロダクトデザイン



高山:「人々が求めている価値・ビジネスが提供できる価値は何か」の本質を見据えてデザインする。人と社会の課題解決を担うデザイナーになりたいと考えています。岩瀬さんはどうですか?



岩瀬:私は転職してディレクションが主な仕事になりました。会社のキービジュアルデザインやブランディング、コミュニケーション拡大に貢献していきたいです。コーチングでは、さらに経験と知識を積んで国際コーチング連盟認定資格をとって、デザインとコーチングの架け橋になりたいんです。

高山:ほう、やはり新たなチャレンジを模索中という事なのですね。DESIGN×COACHING。還暦とは思えないパワフルさです(大笑)

最後に

岩瀬:たくさんお話を聞かせていただいてありがとうございました。キャリアを模索している方に響く実際の事例としてすごく興味深く聞かせていただきました。

高山:岩瀬さんの50歳からの転職物語も、勇気づけられる人がいるのではないのでしょうか?

岩瀬:そうだといいですね。

最後に聞かせていただきたいのですが、過去の自分自身に声をかけるとしたら、どんな声をかけると思いますか?

高山:『やりたいと思った事は、素直にチャレンジすればいい。たとえ不安でもチャレンジすることで、必ず結果がついてくる。』

大学を卒業してそろそろ14年が過ぎようとしています。モノづくり大好きな自分の本質はあまり変わらない気がします。

岩瀬:自分の根幹を成す部分は変わらない、それを信じて前に進んでいくことでしょうか?

高山:そうですね。常に自分の本質を信じて進み続けたいと考えています。

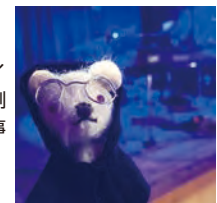
岩瀬:ありがとうございました。これからの挑戦も楽しみにしています。

高山:こちらこそありがとうございました。岩瀬さんのコーチとしてのチャレンジもがんばってください。

取材・文責:岩瀬 美保



インタビュー/岩瀬 美保 (D81007)
1963年生まれ
大阪芸術大学短期大学部 グラフィックデザインコース 1983年卒業。1989年より真生印刷株式会社にて21年間勤めた後、現在は大紀商事株式会社 マーケティング部、社内広報担当。
Twitter ID : @nicol_coach





授業風景

浪速短期大学を選んだきっかけ

高校在学中に、デザインの勉強をしたいと思い、大阪芸術大学に進学してみたいと漠然と考える様になりました。そんな時期に浪速短期大学の存在を知り、その当時開設されていた、マイプランコースの自由に時間割りが組めるという所に興味を持ち、デザイン以外にもいろいろなことにチャレンジ出来るのではと、浪速短期大学にお世話になると決めました。また、大阪芸術大学への編入の道があることも魅力の一つでした。

在学当時の思い出や印象に残っている先生

その当時、版画の授業には、山中嘉一先生、日下部一司先生、安井寿磨子先生がおられ、第一線で活躍されている先生方の楽しい授業を受けることができました。その後、先生方とは長期にわたりお付き合いがあり、こんなにもお世話になることとは、想像もしておりませんでした。また、部活動では軽音楽部に在籍しており、良い先輩、同期、後輩に恵まれ、みんなで一つのものを創り上げていく経験をしましたし、本当に楽しかったなあ！と未だに思い出します。

シルクスクリーンとの出会い

1年生前期の版画の基礎実習で初めてシルクスクリーンを体験しました。カッティング法という、表面に均一にニスが塗られた薄いニス原紙をカッターで切り抜いて、インクが出る孔(あな)をつくる技法です。テーマは[都市のイメージ] 2版2色刷りの課題でしたが、上手く刷ることが出来ず、5枚刷った中で何枚か失敗しています。でも版を作る時のドキドキ、刷り上がった時の達成感、「これ、なんか おもしろい。」と版画専攻に進むと決めました。

卒業後は？

短大を卒業後は、大阪美術専門学校の芸術研究科に1年、

一人ひとりの個性を大切に 版の面白さを多くの人に伝えたい。

毎号プチギャラリーの学生作品にご協力いただいている
大阪芸術大学短期大学部 特任准教授の大船光洋さんに
インタビューしました。

版画家

大船 光洋

1987年 浪速短期大学デザイン美術科(版画専攻)卒業
1988年 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 芸術研究科 修了
1990年 大阪芸術大学芸術学部美術学科(平版ゼミ)卒業

3年次編入で大阪芸術大学の美術学科(平版ゼミ)に2年お世話になりました。芸大の3年生の頃より、学外での作品発表の活動が始まります。芸大を卒業後は、短大での非常勤副手、非常勤講師を経て現在に至ります。その間、学校に籍のない時期もありましたが、途切れることなく作品制作と作品発表を継続できたことが、今につながっているのだと思います。

現在のお仕事について

作品制作と共に、個展、企画グループ展、アートフェア等で作品発表を行っています。そしてもうひとつ大切な仕事として、大阪芸術大学短期大学部や大阪美術専門学校で主に版画専攻の授業に携わっています。母校で後輩に版画の事を伝えるという、私にとっても難しいけれども楽しい貴重な時間だと思っています。そのため[仕事]という感覚は薄いかもしれません。作品の事も授業に関しても、人とのつながりが大事だと痛感しています。

学生たちに伝えたいこと

自身の経験からも、何事も自分で制限せずたくさんの事にチャレンジする事が大切だと思っています。全てが成功するとは言えませんが、失敗の中にも次につながる発見が潜んでいるはずです。偶然にも自分が納得できる表現に出会えることも少なくありません。その様な時に、敏感に察知し対応できる感覚を育ててほしいと思います。その感覚は、コツコツと継続して物事に取り組むことで生まれてくるものだと思っています。

今後の展望について

ひとつの軸として版を使った作品制作にはこだわって継続していきたいと思っています。その中で偶然的な要素を取り込んだり、版の特性を利用したりと、ここ十数年やってきたことをさまざまな方向

で発展させ独自の作品を生み出していきたいです。まだまだ版の可能性をワクワクしながら見つけ出すことが楽しみです。授業内でも一人ひとりの個性を大切に作品に活かせるような指導を継続し、版での作品制作の面白さを多くの方に伝えたいです。

2023年の展覧会情報など

展覧会名 「いきづく空間 -光を刷りこむ-」
会 期 2023. 4/3 (月) - 4/15 (土)
11:00 ~ 19:00 (土曜17:00迄、日曜休廊)
展覧会場 ギャラリー白、ギャラリー白3
大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル2F 3F
Web <http://galleryhaku.com/>

2004年より毎年開催されている、ギャラリー白の企画グループ展
長谷川 睦さん(銅版画、リノカット)、近松 素子さん(銅版画)と大船 光洋(シルクスクリーン)の3人の版画家による展覧会です。ギャラリーオーナーから出されるテーマに沿った三者三様の作品展開とその空間を楽しんでいただけます。



プロフィール

版画家

1966 大阪に生まれる
1987 浪速短期大学デザイン美術科(版画専攻)卒業
1988 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 芸術研究科 修了
1990 大阪芸術大学芸術学部美術学科(平版ゼミ)卒業
1988年より関西を中心にリトグラフやシルクスクリーンの作品発表を行う
近年はシルクスクリーンによるモノタイプ作品でアートフェアにも出品し
作品発表の場をひろげている
浪速短期大学デザイン美術科非常勤副手、同大学 非常勤講師、大阪芸術大学
短期大学部デザイン美術学科 客員准教授を経て現在、同大学 特任准教授、
大阪美術専門学校 兼任講師

展覧会歴 直近10件

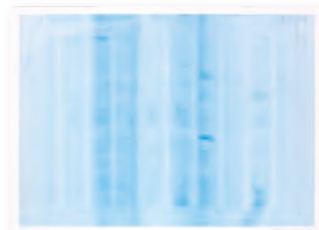
2021 大船 光洋 展(ギャラリー白3・大阪)
2021 いきづく空間 -版画家に出会った喜び-
(ギャラリー白、白3・大阪)
2021 いきづく空間 (Oギャラリー・東京)
2021 ASIA NOW Paris Asian Art Fair (Galerie Anthologie・パリ)
2022 いきづく空間 -恋文- (ギャラリー白、白3、白 kuro・大阪)
2022 ART OSAKA 2022 (大阪市中央公会堂 3階・大阪)
2022 宝塚から一番近いアーティストが生まれる場所 /
大阪芸術大学短期大学部の現在
(宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー・兵庫)
2022 いきづく空間 (Oギャラリー・東京)
2022 大船 光洋 展「ある記憶の想い」(Note Gallery・大阪)



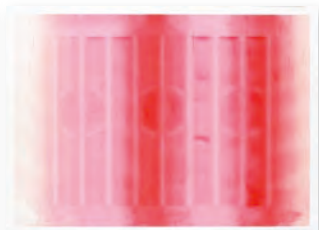
あゝ空の想い L-2
screen print (monotype)
70 × 100cm



あゝ空の想い L-3
screen print (monotype)
70 × 100cm



ある想いの跡
screen print (monotype)
56 × 76cm



ある想いの跡 2
screen print (monotype)
56 × 76cm



ある記憶のかたち H-3
screen print (monotype)
54.4 × 42.3cm



あゝ場所の記憶 Y-4
screen print (monotype)
34.7 × 42.3cm



授業風景

寄り添う ドキュメンタリー

映像制作者 菅原 広司

2013年 大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校 総合デザイン学科コミュニケーションデザイン専攻(現デジタルデザイン専攻)卒業後、フリーランスとしての活動を開始。

2014年 ブライダルウェディングのエンドロールムービー編集者として1,000本以上の映像を制作。

2021年 大阪美術専門学校非常勤講師、放送芸術学院非常勤講師として勤務。

現在、撮影・編集を1人でこなしながらフリーの映像ディレクターとして活躍中。



撮影場所：大阪美術専門学校ラウンジ

美専に入るまで

実は大学を卒業してから美専に来ているんです。大学では社会学を勉強していました。フィールドワークとしてさまざまな人に聞き取り調査を行いました。今思うと、それが現在のドキュメンタリー制作の下地になっているように思います。

そうして自分が作る方へと興味に移っていき、美専への入学を決めました。

学生時代の思い出

美専では映像ではなく、コミュニケーションデザインという専攻を選びました。南珠里先生が担当する1回生の最初の授業で「将来、何がしたい?」と質問されて「映像がやってみたい」とボソッと言ったんです。それを聞いた南先生はその場で地下の映像スタジオまで連れて行って、東陰地正喜先生を紹介してくれました。東陰地先生もすぐに「来ていいよ!」と言ってきて、次の日から映像の授業にも参加することが決まりました。「なんてオープンなんだろう…」と驚いたのを今でも覚えています。

それから1回生の夏休みには松井公一先生が監督され

た映画「G&G」にもスタッフとして参加させてもらったり、映像専攻と一緒に進級制作を作らせてもらったり。技術だけを教えてもらうというよりは、一緒に作る過程の中で制作の面白さを体験することができました。その時に経験した楽しさが、今も映像制作を続けているモチベーションになっています。コミュニケーションデザインの専攻では細沼俊也先生のもと、プランニングやプレゼンテーションなど今の自分に必要なスキルの多くを学びました。好きなことと必要なこと、この2つを学ぶことができました。また美専で出会った同期や先輩、先生方と今もつながりが続いていることに本当に感謝をしています。

アシスタント時代

美専のアシスタントとしては3年間、勤務させてもらいました。

メインの仕事は教室の管理でしたが、先生と学生の間にあってサポートをする事も自分の仕事だったと思っています。大切だと思ったのは学生の話をしっかりとかと聞くという事でした。現在、講師として教える立場になりましたが、この時の経験が生かされていると思います。

美専は小さい学校ですが先生と学生の距離が近くて。放課後に卒業生が訪れて、相談したり、話に来たりする姿もよく見ます。縦のつながりが強くて、ふらっと気軽に遊びに来れる空気感が美専の良さなのかなと思っています。

現在の仕事

卒業してすぐにブライダルウェディングの業界で、エンドロールの映像編集という仕事を始めました。

結婚式が始まって終わるまでの数時間の間に一本のダイジェスト映像を完成させなければならないこの仕事。いつも時間とのプレッシャーに追われながらの仕事でしたが、完成した映像を最後、会場で上映して感動を共有できる瞬間が好きでした。



森のウェディング - forest wedding party -

去年、撮影と編集の両方を自分1人でやっていきたいという思いから、ブライダルの仕事を離れました。そのタイミングで「木津川アート2021」というアートイベントの映像制作の仕事依頼されました。木津川市の〈みかのほら〉という地域で1週間、レジデンス、滞在生活しながら映像をYouTubeにどんどんアップしていくという仕事。



Documentary of Kizugawa Art 2021



ドキュメンタリー みかのほら〜とができるまで



YouTubeで見る



YouTubeで見る



撮影場所：大阪美術専門学校スタジオ

当初はアート作品の記録映像を残す、というテーマの撮影のつもりでしたが、レジデンスしながらその土地で暮らすことで見えてきた風景や自然の美しさに気がつき、最後はそこに暮らす人や歴史へとテーマ、被写体に変化していきました。この映像は40分のドキュメンタリーというカタチでYouTubeに残っています。

その場所で生活しながら人と会って話す、聞く、映像を撮っていく、そこからテーマや被写体に変化していった、という体験がとても面白かったです。

今年も同じ地域で「みかのほら〜と」という行政主体ではなく、そこに暮らす住民主体のアートイベントが初開催され、ドキュメンタリーを撮っています。

他にも、さまざまなアーティストや劇団のドキュメンタリー、作品の記録などを請け負っています。

最後に

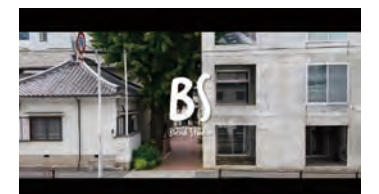
今まで自分が映像の仕事をやったのは、人とのつながりや縁のおかげだと思っています。

感謝の気持ちを忘れずに、人とのつながりを大切に自分にか撮れない映像とはなにかをこれからも探求していきたいと思っています。

取材・文責/企画広報委員 東陰地 正喜



①

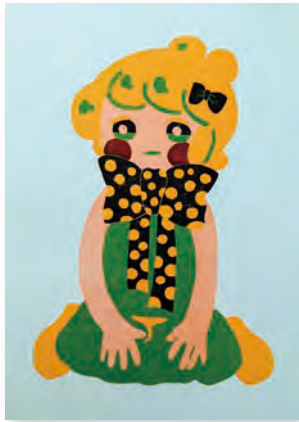


②



③

① ウンゲツィーフア演劇作品「ラバーソールズ」ダイジェスト
② Blend Studio プロモーション映像
③ こうべくつ家15周年プロモーション映像「はじまりの続き」



座るたま
F19075 高松 美空
540×380
油性木版/油性インク・ケント紙



にゃんがら節
F21003 和泉 希咲
350×250
シルクスクリーン/油性インク・ケント紙



action
F21007 浦 尋風
300×212
ウォーターレスリトグラフ/油性インク・いづみ紙



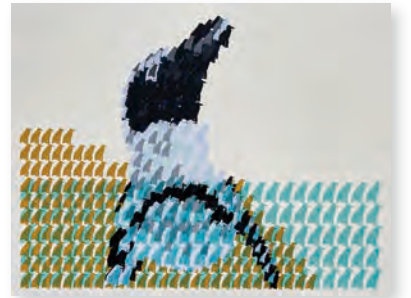
void
F19039 平野 瑞稀
800×250
銅版画/油性インク
ハーネミュレ紙/木炭



いいひと
F20001 伊藤 空音
258×363
シルクスクリーン/油性インク・PHO紙



taxi
F19030 豊田 遼
200×270
銅版画/油性インク/ハーネミュレ紙



けっけあ
F19041 逸見 溪太
545×727
シルクスクリーン/油性インク・PHO紙



Sunday
F21015 栗崎 紗音
305×100
エッチング・アクアチント
油性インク・ハーネミュレ紙



三人歌
F19006 呉 美喜
542×760
リトグラフ/油性インク・キャンソン紙



迫出
F21061 清水 稜太
210×320
油性木版/油性インク/ハーネミュレ紙



すべり台
F21060 猪俣 萌乃香
300×230
リトグラフ/油性インク/ケント紙



したたる情
F19074 浅見 琴音
230×160
シルクスクリーン/油性インク・和紙



めまい
F20007 奥 眸
290×290
シルクスクリーン/油性インク・PHO紙



クリームパーク
F20087 竹本 結
435×388
シルクスクリーン/油性インク・ラメ・色ケント紙



レギオン
MS21048 孟 慶青
600×730
アクアチント・ドライポイント
油性インク・ハーネミュレ紙



寂
F19062 Naiyiman Wajiti
314×281
銅版画/油性インク/ハーネミュレ紙



ループ
F19002 伊東 輝
450×650
銅版画/油性インク/木製パネル/ハーネミュレ紙/ケント紙



vision
F21059 若木 優志
320×230
リトグラフ
油性インク
ケント紙



hope
F20086 Wang Chuxian
500×300
銅版画/油性インク/ハーネミュレ紙



どなたか気圧をあげてください
F18084 齊田 詩乃
660×550
シルクスクリーン/油性インク・BFK紙



18:38
F19054 横川 舞衣
400×600
水性木版
水彩絵具・和紙



にゃんこ
F19021 後藤 正高
510×720
シルクスクリーン
油性インク
PHO紙



Atatakami
F19004 上田 小晴
380×380
銅版画/シルクスクリーン
ファブリアーノ紙・油性インク



blur
F21001 朝井 颯志
225×200
木版/水性絵具・和紙



土星とキリン
F21043 原田 結加
280×380
ウォーターレスリトグラフ/油性インク・いづみ紙

工芸学科
金属工芸コース



かえるカエル
C19009 阪本 涼
H500 × W300 × D300
鉄



知恵の実
C19001 星 茜
H250 × W250 × D250
銅、真鍮

工芸学科
ガラスコース



うたかた
MS21003 渡邊 紫音
H160 × W210 × D170
ガラス



沈む
C19015 豊田 美野梨
H535 × W535 × D140
H390 × W390 × D100
ガラス、樹脂



一輪挿し
C19002 井関 すず
H120 × W100 × D100
銅、銀



おいで
C19013 辻岡 きらら
各H150 × W230 × D230
アルミ、銅

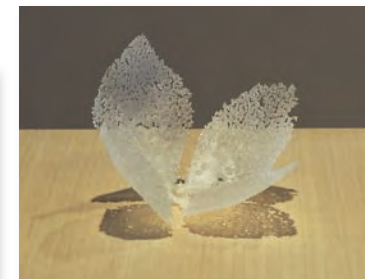
威圧

C20034 山田 慈門
H150 × W100 × D150
ブロンズ



望み

C19003 井上 一葉
H190 × W1040 × D430
ガラス、ブロンズ



tender flower
MS22014 岡崎 彩香
H80 × W100 × D100
ガラス



希望
C19030 イ チャングン
H455 × W250 × D105
ガラス

工芸学科
陶芸コース



Hand's fox
C20037 中村 幹
H300 × W300 × D350
陶土



イ音器
C21023 藤井 毅
H450 × W300 × D400
陶土



sound
C21012 後藤 実穂
H600 × W250 × D250
陶土



振動
C21031 山本 千尋
H210 × W230 × D110
陶土



緑
C20040 内丸 彩夏
H270 × W320 × D320
陶土

工芸学科
テキスタイル・染織
コース



月光

C20036 坂口 太一
H1500 × W1200 × D30
コットンドリル



水底の楽園
C19006 窪田 幸愛
H1140 × W1320
綿布



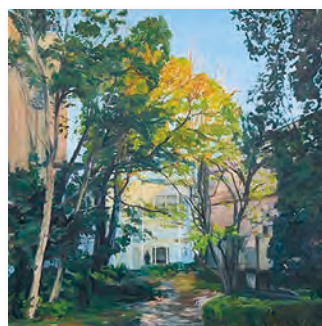
マチコさん
C19026 森谷 涼風
H1200 × W500 × D400
綿布



噴火
C18039 井上 悠乃
H970 × W230
ラミー・ウール・アクリル

サバ・アジ・イワシ
C20022 竹下 穂乃香
サバ H320 × W820
アジ H280 × W630
イワシ H150 × W490
綿糸・ジュート

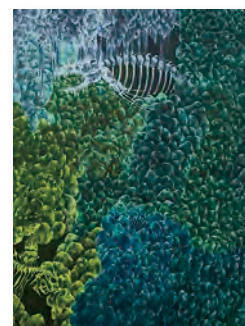




白画像=描く未来
向井 康太
1620×1620mm
キャンバス、油彩



壮麗
斎藤 千明
1455×1120mm
キャンバス、油彩、アクリル



幽谷
山根 望莉
1620×1300mm
キャンバス、油彩



曲がったまま、ありのまま
松本 海凪
727×606mm
キャンバス、油彩



花鳥猫図
赤崎 真理愛
640×1620mm
紙本彩色



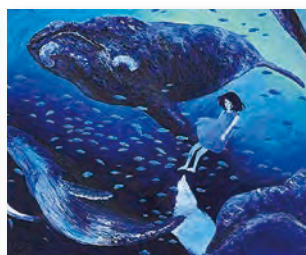
なれのはて
村上 こころ
1455×3360mm
紙本彩色



周りを見て、
椎原 睦優
1620×1300mm
キャンバス、油彩



色鳥々
田口 波琉
910×1330mm
エッチング、ミクストメディア



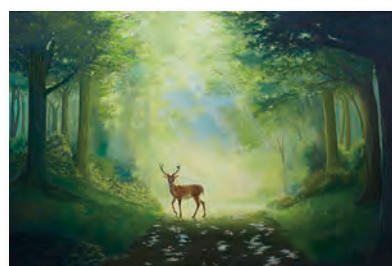
海の血から始まる世界
大津 眞子
500×606mm
キャンバス、油彩、アクリル



introduction
谷野 里佳
1300×1620mm
パネル、アクリル、
メディウム、綿、オ
イルパステル



行く先
田中 優季
803×1000mm
キャンバス、油彩、白亜地



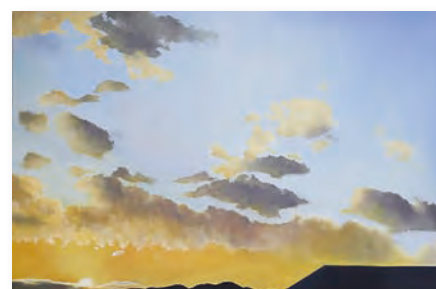
白昼夢
富士原 綾香
1303×1940mm
キャンバス、油彩



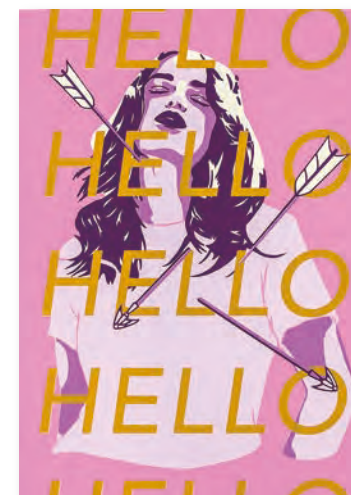
慟哭
福村 まゆき
1620×2910mm
パネル、ペン画



ここでやすみ
福田 光
1215×1620mm
紙本彩色



流れる情景
暮部 玲奈
1303×1940mm
キャンバス、油彩



HELLO
樋口 葵
450×287mm
シルクスクリーン / 紙



120% おめかし
竹本 結
544×726mm
シルクスクリーン / 紙



ミイ
長谷川 空良
180×120mm
エッチング、アクアチント / 紙



相棒
山川 真由
394×278mm
リトグラフ / 紙



色鮮やかなトンボ
片爪 寛明
726×544mm
シルクスクリーン / 紙



バグ魯
北尾 清香
726×544mm
エッチング、アクアチント / 紙



螺旋
砂川 夢
508×393mm
シルクスクリーン / 紙



時差
正井 真梨奈
566×395mm
シルクスクリーン / 紙



しいたけ
澁谷 哲平
180×240mm
エッチング、アクアチント / 紙



Happy
村田 優騎
726×544mm
シルクスクリーン / 紙



よふかし
元木 星伶
500×500mm
シルクスクリーン / 紙



Inferno
大西 似奈
180×120mm
エッチング、
アクアチント /
紙

ハガキ 短信

● 茨木 貫太

大阪芸術大学 美術学科 平成 16 年卒
今ゲーム制作の現場で主にアートディレクションを担っていますが、きっかけは大学の友人と取り組んだ、自主制作アニメだったことを今も覚えています。今も毎日勉強の日々ですが、先輩方の活躍を読むと、もっとがんばらねばとはげみになりますね。いつもありがとうございます。

● 廣方 めぐみ (旧姓・奥)

大阪芸術大学 美術学科 昭和 62 年卒
コロナ禍で、大阪に2年以上行けておらず、大好きなクラシックコンサートや美術館、映画館もがまん、がまんの年月。その中での「Wings」は貴重な情報源。心のいやしです。
いつも楽しく読ませてもらってます。ありがとうございます。

● 道田 篤男

大阪芸術大学 美術学科 昭和 58 年卒
教員を退職して、今年度は講師として働いていますが、大阪芸大へ遊びに行きたいと思っています。
学食で何か食べたり、油絵の教室を見てまわりたと思っていますがちょっと難しいかな…？
コロナが明けたら、行ってみたいです。

● 牛尾 亮一

大阪芸術大学 デザイン学科 昭和 55 年卒
昨年の TOKYO2020・組織委員会で SIG 担当になり、大会を見届けて会社員生活を終了し今年からは年金生活となりました。母校で学んだ事が社会人として最後に活かされました 感謝です！

● 大西 俊一

大阪芸術大学 デザイン学科 昭和 56 年卒
大阪市内で子供絵画教室「リープフロッグ 絵画教室」を 30 年。
未来の芸大生たちと楽しく作品作りやります!!

● 南北 一郎

大阪芸術大学 デザイン学科 昭和 51 年卒
ウイングス毎年ありがとうございます。
卒業から 46 年経った今でも当時大学で目にした作品、中でもデッサンは記憶にあります。
それらを超える事ができるよう日々努力しています。

● 大塚 兼忠

大阪芸術大学 デザイン学科 昭和 43 年卒
現在はフリーですが、週 2 回 (火・金曜) は滋賀大津の「ウィードプランニング」に顧問として通勤しております。
あとは、少し自営業としての仕事、それと趣味で陶芸に携わっております。年令は 77 才になります。とにかく 1 期生なので古いです。

● 松山 茂

大阪芸術大学 デザイン学科 昭和 45 年卒
実家が羽曳野市なので去年妹島和世氏の円形校舎を見学させていただきました。建物が増えて変わり様におどろいています。Wings の投稿欄に同期がいなのはさびしいかぎり、皆どうしているのか？

● 中大路 克也

大阪芸術大学 デザイン学科 平成 3 年卒
現在は、美術館の収蔵庫の内装及び、什器の設計を仕事としています。
個人的には、イラスト制作も行っており、二科展デザイン部のイラスト部門に 3 回入選し、昨年度は、特選賞を授賞しました。以上、近況です。

● 井本 静美 (旧姓・延増)

大阪芸術大学 工芸学科 平成 12 年卒
”40 年後に送られてきた奇跡の卒業アルバム” なつかしい景色に胸が熱くなりました。

● 野々村 茂樹 (旧姓・森脇)

大阪芸術大学 建築学科 昭和 50 年卒
学生番号を書く所に、50 年も前の番号「A1082」とスラスラ書いたので我ながらびっくりしました。最近、友達と会っても名前が思い出せない、物忘れも多くなりました。困ったことです。それなのに学生番号だけは、(ウン、ウン、と思い出すことをせずに) スッ、と出てきました。
人間の脳は不思議ですね。

● 関 一則

大阪芸術大学 建築学科 昭和 47 年卒
大芸大、卒業後 50 年が経ちました。
建築学科草創期の 2 回目の学科卒業生としては、学科が沢山増えて多角化し名実共に総合芸術大学としてまさに充実していることを実感します。マスコミやあらゆる書物にも頻繁に大芸大卒の方や指導される関係者の名を目にすると、当時は存在さえ知られていなかった私の在学中とは隔世の感あり。
今や日本の芸術分野大学の重要な位置を占めていると大変誇りに思います。

● 幸地 一浩

大阪芸術大学 環境計画学科 昭和 56 年卒
気付けば在籍していた環境計画学科がなくなっていたのは寂しく思いました。
現在も存在していれば SDGs がさげばれる中、最先端の学科になっていたのではと思う今日この頃です。在籍当時は、硬式野球員で一番奥のグラウンドで練習にはげんでいました。
シャピロ教授～お元気ですか～
然るに、環境計画学科は永遠に不滅で～す!!

● 山本 史典

大阪芸術大学 環境計画学科 平成 8 年卒
毎号、皆さんの活躍を楽しみに読ませていただいています。僕は 2006 年より、個人で植木職人として独立しています。より良い庭木の手入れを目指して、周りの皆と頑張っています。

● 山中 庸生

大阪芸術大学 環境計画学科 平成 9 年卒
現在、ウィンドウディスプレイの仕事をしております。WINGS が届く度、学生時代を思い出し懐かしんでおります。コロナ禍の昨今、何かとデジタル化へ移行され、覚えた技術も今では使う場面が無くなりました。ものづくりの工程にも変化が出てきました。変わらないことといえば OB、OG のつながりです。仕事関係では芸大卒の方が多くお互い卒業生とわかるとより打ち解け合えるんです。そこは感謝しかありません。

● 隈井 清隆

大阪芸術大学 映像学科 平成 10 年卒
毎年楽しみにしています。私はエヴァの生みの親、庵野さんの大学の後輩にして地元が一緒なので地元をエヴァタウンにするのが目標です。私自身は一切 SNS をしていませんがアフターコロナが来たら、エヴァ＝宇部市と認識してもらう為に色々やってみようと思います。

宇部市、山口県いい所ですよ。一度は訪ねてみて下さい。宇部ラーメン、美味しいですよ。

● 山根 萌未

大阪芸術大学 文芸学科 平成 3 年卒
Wings の表紙をめくると母でもなく妻でもなく私自身の世界が始まります。一瞬のうちに大学生の時の情景が頭をめぐり、その時の思いがよみがえってきます。そんな中で文芸学科は支部の活動等がないので、少し寂しいです。文芸学科の方々で支部の立ち上げと一緒に考えて頂ける方がいたらいいのになと思います。が…
又、そんなお話があれば、教えてください。

● 小山 浩

大阪芸術大学 文芸学科 昭和 58 年卒
「WINGS」いつも懐かしく拝読しています。
私は、昨年 3 月に 38 年間勤めた気象庁を無事、定年退職し、現在も再任用で働いています。
楽しみは、読書とオープンカーです。
大阪芸大卒業から 40 年、同級生の皆さんも、元気で頑張っていますか?!
また、いつか会いたいですね…。

● 上村 雅博

大阪芸術大学 文芸学科 昭和 54 年卒
卒業生の皆さんお元気ですか!昨年より趣味の語学を活かして「英語の絵本の読み聞かせ」のメンバーに入ったところ、子ども相手に結構楽しくエンジョイしていましたが今年に入り急速なオミクロン株の蔓延により絵本の読み聞かせ会はお休みとなりました。一日も早くコロナ終息を願っています。

● 猫戸 賢嗣

大阪芸術大学 文芸学科 平成 5 年卒
自身のステップアップの影に必ず母校への回帰があります。
人生の豊かさをもたらしてくれる母校の存在は、今さらながら、ありがたく感じる今日このごろ。
現在も通教でお世話になっていますが、美専・大芸と、私の「技」を形成したのは、まぎれもなく母校です。
芸大池にとびこんだあの日がなつかしいです (笑)

● 森永 博之

大阪芸術大学 放送学科 昭和 54 年卒
JR 熊本駅前にある複合施設「くまもと森都心プラザ」でホールの利用促進を担当しています。シアター形式での他に、席を収納すればスクール形式で 180 名までの「地方試験」「学校ガイダンス」に使われる大学も増えてきました。
九州での学会などにもご活用いただければ幸いです。
(ホームページ: https://stsplaza.net/hall)

● 高田 治則

大阪芸術大学 放送学科 昭和 53 年卒
定年をとくに過ぎています。(まだ現役ですが…)
若い頃とくらべ何を得て何を失ったのか、この頃考えます。
失ったもの 行動力、パワー、意志力。いやもっといっぱいなくしています。でも、なくすごとにささやかなやすらぎを得てきたように思う。今はその上に立って穏やかな毎日を過ごしています。

● 三浦 真稚 (旧姓・北野)

大阪芸術大学 放送学科 平成元年卒
いつも楽しく読ませて頂いております。
コロナ禍で皆様大変厳しい状況の中、当社はガーデニングメーカーということもあり大変好調で申し訳ない程です。(プライム市場上場) 芸大ジャージ復刻のニュースは同期生の中でも話題になりなつかしかったです。

● 藤原 智子 (旧姓・加川)

大阪芸術大学 音楽教育学科 昭和 52 年卒
「Wings」いつも楽しく拝読させて頂いています。
卒業して 46 年になります。親子で芸大を母校にされているのを読ませて頂き年月の長さは感慨深い思いです。
私が通っていた当時は畑の中にボツンと大学があるだけで、畑道を猛スピードで走るスクールバスの運転手さんを今でも覚えています。
朝ドラのカムカムエヴリバディに世良公則さんが出演されているのを見て、一年下の学年で軽音楽部に入っていた同級生からその素晴らしさは毎日のように聞いていました。テレビを見ていてそのことを大変懐かしく思い出しました。

● 田村 隆義

大阪芸術大学 演奏学科 昭和 51 年卒
今回は、私の学生時代のなつかしい風景を企画して頂き、大変感激してしまいました。かつての喜志駅…。かつての成和荘…。
ありがとうございました。
また、女子大学駅伝、毎年の私の年末の楽しみになっています。これもまた、感激です。

● 岡森 道代 (旧姓・藤室)

大阪芸術大学 演奏学科 昭和 57 年卒
大学卒業からなんと 40 年!
今も中学校で非常勤講師として働いています。
生徒たちとの年齢差が大きくなる中、コロナ禍の中、いかに音楽の楽しさを伝えていけるかを考え学ぶ日々です。息子が舞台芸術学科に通った頃は、何度となく足を運んでいた学校も今は行くことなく、この Wings だけが学校と私をつないでくれている気がしています。

● 瀬谷 崎友香 (旧姓・佐野)

大阪芸術大学 演奏学科 平成 23 年卒
卒業後、クラシックを中心にピアニストとしての演奏活動と医療に携わり、子供達の姿勢や治療院向けの AI ヘルステックの会社経営をしています。

● 福井 博章

大阪芸術大学 芸術計画学科 昭和 62 年卒
若手の担い手不足、仕事のきつさ (今は改善) に起因する離職率の高いイベント業界にとって、今回のパンデミックは、その実態に、より拍車をかけることとなった。もともと東京にシフトし、関西の同業界にとって案件は減少傾向だったので、現実には厳しく我慢をしいられた。徐々に回復しだした現場に出て、先人から教授してもらったことを伝承し、若手から斬新なアイデアを聞くことができるようになり、現場以外でも、そんな機会があれば願っている。

● 竹内 徹

大阪芸術大学 芸術計画学科 平成 15 年卒
卒業して美術で食べていこうとしてうまくいかず料理人を目指すも体を壊し、IT 業界に入り大学で学んだ事とは違う道に進んだなと思っていましたが、今や経営企画や、デザイナーを育成する立場になり、大学で学んだ事が今になって活きています。世の中、人生何があるかわからないものです。

● 渡邊 暁

大阪芸術大学 大学院芸術文化研究科 平成 19 年修了
今年は恩師、前田昭雄先生と出会ってから 20 年目の年です。大学院で共に学んだ仲間とも出会ってから 20 年。
あれから 20 年が過ぎて、世の中が大きく変わりましたが、その中でも大阪芸大が今なお多くの学生を集めて発展していることをうれしく思っております。

● 谷 雪晴

大阪芸術大学 大学院芸術研究科 平成 31 年修了
現在勤務しております、弊社同或文化芸術(株)はアートジャームを扱っている会社です。そこで絵を教えており、忙しい日々の中、色々と勉強もしています。コロナ禍が終わったら、また母校に帰って、懐かしい学園も見たいです。今は、早くコロナが終息することを願うばかりです。

中国 北京市在住

● 浅井 恭子 (旧姓・當麻)

浪速短期大学 デザイン美術科 昭和 44 年卒
今、高取町市尾、駅前の広場に小さいですが、我が村に有る「墓山古墳」から、出土した、鳥のハニワを再生し「市尾はにわ公園」が完成しました。村の発展・活性化を願い歳はとっても、自分ができようことをしようと頑張っています。是非一度来て下さい。お待ちしております!

●前島由香利

浪速短期大学 デザイン美術科 昭和60年卒
Wingsいつもいつも楽しく拝見しています。
浪短時代のこと懐しく思い出します。
天の橋立へ研修旅行に行つて、故山中嘉一先生が夜遅くまで私達の部屋で話してくれたことや奈良へスケッチに行ったこと等々、たくさんの想い出があり、どれもこれも私の心の中に刻まれた1ページです。

●上田隆康

浪速短期大学 デザイン美術科 昭和45年卒
ウイングスありがとうございます。卒業して50年近くなろうとしているのにウイングスを読ませてもらうとなつかしく、短大時代の楽しかった事を思い出します。

●今中和義

浪速短期大学 デザイン美術科 昭和37年卒
モダンアート協会大阪支部長を拝し、現代美術の全国公募を毎年4月東京展開催されている。積極的に地方展も開催されて若手作家の魅力的な出品もあり絵画・彫刻・版画・写真・デザイン・スペースアート部門の次代の現代美術指針と育成に務めています。
多くの力量のある作家や実験的精神を持った作家の参加・出品を願っています。

●松田泰子(旧姓・牧野)

浪速短期大学 広報マスコミ科 昭和53年卒
卒業後それぞれに落ち着いた頃から仲良しグループメンバーで一泊二日の旅行を企画、生存確認をしていました。コロナの影響で中断!
浪短で出会えた大切な友人達と早く笑顔で会いたいです。同年の皆様はどうされているのかなあーと思っています。

●長岡真実恵(旧姓・森川)

浪速短期大学 広報マスコミ科 昭和60年卒
浪短卒業後、結婚・出産・育児・離婚・再婚…紆余曲折ありましたが、45歳で介護業界に身を置き、12年、50歳で介護福祉士の資格を取得し8年、現在は後期のリハビリ病院にて介護士として従事。頑張っています。

●林田真紀(旧姓・北川)

浪速短期大学 広報マスコミ科 昭和49年卒
卒業して50年、来年は”古希”を迎えます。身体は赤信号だけで、元気なのは「口」だけになってしまいました。大好きな”朗読”の勉強を続けて、子供たちに絵本の読み聞かせをしています。毎年の発表会に広報科の仲間たちが四国から聞きに来てくれます。コロナ禍が一日も早く終息して、又、友の笑顔に会いたいです。

●藤本眞利子(旧姓・久保井)

浪速短期大学 広報マスコミ科 昭和49年卒
Wings43号、送付いただきありがとうございます。卒業後、小学校教員として20年あまり、その後、政治の世界で今まで務めてきました。今は県会議員として仕事をさせていただいています。青春のひとこまとして円形校舎や矢田駅から友達と歩いた日のことを思い出しています。塚本学院のますますの御発展をお祈りしています。

●田畑紗也加(旧姓・川上)

大阪芸術大学 短期大学部広報学科 平成21年卒
今年、転職し発達障害などについて勉強しながら児童発達支援の指導員をしています。始めたばかりで学ぶ毎日ですが、学生の時のように充実した時間を過ごしています。2人の子供を育児しながら、これからも頑張つてパワフルに仕事をしていきたいと思います。来年のウイングス楽しみにしています。

●中尾正治

浪速短期大学 商業科 昭和39年卒
小学校校長を6年間、浄土宗太厳寺住職10年、今は悠々自適の83才!
浪速短大商業科・仏教大学文学部3年編入小学校へ。社会教育主事3年
浪速短大があればそこここまでこれた。まことに有難うございました。

●出原沙織

大阪芸術 大学短期大学部保育学科 平成14年卒
保育学科卒業後、保育士を11年、幼稚園を8年勤務し、昨年、企業主導型保育園の立ち上げをし、無事開園。コロナ禍で大変な日々が続きますが、園長として充実した日を過ごしています。芸術大学保育学科でたくさん教えていただけたこと、とても感謝しております。

●菊池美和(旧姓・椿)

浪速短期大学 保育科 平成6年卒
卒業してはや、27年。頑張つて20才の時に就職した保育園で、老体にムチを打ちながらがんばってます。
年々、若い職員の成長も楽しんでおります。定年まで、がんばるゾ!!

●渕野美保(旧姓・新甚)

浪速短期大学 保育科 昭和63年卒
先日、実家に届いていた「WINGS」を見つけ、なつかしく読ませて頂きました。
卒業後は同期生ともなかなか会う機会もなく、みんな元気にしているのかなあ〜…
私は公立保育所で23年間勤務して今は病児保育室で7年目、保育の仕事が続けています。

●堀 千月(旧姓・西村)

浪速短期大学 保育科 昭和35年卒
大阪の幼稚園に35年間勤務(内20年は園長として)退職後は京都で第二の人生を満喫しました。踊り、プール、コーラスと、コロナの前は、踊りで25～26ヶ所の老人ホームを慰問、コーラスではコンサートホール、東本願寺の春、秋の報恩講音楽法要がありました。今は、本願寺の朝のお参りも、22年目に入りました。
プールでは昨年より「泳いで、歩いて日本縦断」で、北海道から、今、神奈川まで来ました。82才。まだまだ頑張ります。

●渡邊由子(旧姓・三津国)

浪速短期大学 保育科 昭和48年卒
元気で12月で70才でも気持ちは、50才になります。
ファミリーサポートを20年間頑張つてまーす。

●西田元子(旧姓・田辺)

浪速短期大学 保育科 昭和59年卒
57才です。人生、いろんな事があるものですね。
在学中の経験を経て、いまだに大阪方面の知人となつがつ、うれしく思います。
縁あって、貴校で経験させてもらった事を糧に人とかかわりを経て、幸せに生活しています。
とはいえ、なんなんでしょう!! コロナが少しでも早く終息することを、一途に願っています。
頑張りましょう!!

●竹田真由美(旧姓・平尾)

浪速短期大学 保育科 昭和60年卒
毎号なつかしく、又若い方のご活躍がたのもしく、拝見させて頂いております。
卒業して、保育園で勤め一担結婚の為退職しましたが、又復職、子供の進学に加え、義父の認知症、夫の病等々ある中、保育に身をおけた事は何よりの喜びの源でした。芸大永遠たれ!感謝です。

●桑村喜久子(旧姓・柄木)

浪速短期大学 保育科 昭和32年卒
ウイングス届く度に帰世な方になった、気さくな塚本学長、先生方、事務方をなつかしく思い出します。幼稚園は2年勤めて、海外でのボランティアも楽しく参加出来ました。香港で太極拳4年習い、70才まで教えました。来年は米寿です。

●林田一美(旧姓・山下)

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和50年卒
ウイングスを送って頂き、OBの方々のご活躍にうれしく思っております。毎回あの頃を、

思い出し(前)万博に行った頃、あの太陽のとうの前で記念写真を撮ったことをきのうのように覚えています。卒業後は、福祉の道に進み、養護施設、保育園、そして老人さん達のお世話をして今でも現役で頑張っています。
免許も保育士、介護福祉士、ケアマネジャーをとり、もう、72才になりましたが、孫娘も幼教の免許をとり、今年就職が決まりました。この仕事のきっかけとなったのが浪速短期大学の生徒となったことです。ありがとうございます。

●大口英子(旧姓・和田)

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和47年卒
この度校友会誌ウイングスありがとうございます。
長い年月が過ぎてても会誌を送ってもらいありがとうございます。
年一回の授業は楽しいものでした。
すばらしい会誌とても心楽しく目を通しています。
高年令になつても卒業出来た通信授業の楽しく事務局や先生方のお世話になった事忘れません。今は希望をもって人生をおくっております。
保育32年、保育係6年でした。

●中島文子

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和48年卒
お陰様で今年も健康でウイングスを受け取りました。
ありがとうございます。炬燵で読みながら、若い皆さんの御活躍に感動しうれしく思っています。
なかでも富士山女子駅伝は地方でも放送されますので「ガンバレ、ガンバレ」大きな声で応援しています。
今後も貴校の御発展と皆さまの御活躍を祈っております。

●大森由紀子(旧姓・坂巻)

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和48年卒
半世紀も経つのに学報を送っていただきうれしいです。大阪万博の年で授業の一環で見学させていただき貴重なスクーリングの思い出です。
今もその時の学友(愛知、岩手、栃木)の3人は3年に1度会っています。スクーリング時の宿は1年目大阪芸大(河内長野)、2年目(矢田照ヶ丘)、人生の大きな一ページです。感謝です。

●久保ハツミ(旧姓・横道)

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和43年卒
何十年経つても学校から便りがきて嬉しく思ひ、感謝しております。只今77才。定年まで楽しい保母生活を過ごさせて頂きました。短

大卒業面接で塚本学長先生が(5人一組)ひとりひとりにやさしいおひげのお顔で言葉をかけて下さった事が50年以上たつても忘れる事が出来ません。別仕事をしながら(大阪)春、秋、夜間のスクーリングは青春の頑張りでした。あの頃の友と(佐賀県)今もつながっております。

●鈴木明美(旧姓・滝山)

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和44年卒
浪速短大通信教育部を44年に卒業し27年間幼稚園教諭をし、退職後は義母の看病に20年間かかり、最近まで放課後児童クラブに勤務し、今は孫の面倒を見てゆつたりすごしています。一緒に大学へ行った仲間も他界してしまい、さみしいです。あの若き頃がたのしく思い出されています。

●浜田紀子

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和44年卒
1965年、短大通信教育部保育科に入学しました。その夏のスクーリング、リトミックの授業で入った体育館の両端にはたたんだふとんがずらつと並んでいました。全国から集まつてきた生徒がここで寝泊りしていたのです。小学生を連れた方もたくさんおられました。資格を取つたら給料が3500円上がるといった話がとび交っていました。81才になった私はあの体育館の光景を、人生の原点として大切にしています。

●黒宮朝子(旧姓・伊藤)

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和45年卒
短大通教を卒業できたおかげで36年間公立園に勤める事ができ心より感謝。スクーリングの時に円形校舎で宿泊したのも思い出。50年以上もたったのに♪たくわえて ♫たくわえて人となるのを待つ我ら♪と浪速短大の校歌を今も覚えている。学校がますます発展していくのを校友会誌で見せていただくのが嬉しい。

●星野正子(旧姓・相澤)

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和43年卒
雪の中で住む私に明るい冊子が届きうれしく読ませていただきました。学生時代の楽しかった事が頭の中にととてもよい思い出となりよみがえつて来ます。スクーリングで学ばせてもらひ、幼稚園の資格しか受けなかった為、結婚してから保育士資格をとりました。学生の時取れるものは全部取得すればよかったと思います。今実習生には学生の時、いっぱい取得できるもの自分のものにしないとアドバイスしております。

●中川愛子

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和32年卒
令和4年に90才を迎えました。いつまでも冊誌ありがとうございます。
元気にひとりで、くらしています。
(令和元年)今年六月に天皇陛下より勲章をいただきました。

●森川須美代

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和43年卒
私の若き時代戦争の真っただ中、大阪での居住でしたが、美章園近くに1t爆弾が落下父親は召集で外地、母、弟と3人で真夜中に仕方なく亡母の里、和歌山へと、若い間は、市内の幼稚園(公立)へ勤務、それゆえ通信でも勉強をと、実習は、勤務中で了解を 今は趣味の短歌にと励んでおります。1枚の卒業証書及び卒業者方々の名簿は、今も大切にいたしております。
母校のいやさかを、心より念じております。
老婆93歳です。

●山本宏子(旧姓・山岡)

浪速短期大学 通信教育部保育科 昭和39年卒
皆様お変わりなくお元気で夫々の道でご活躍のことと想います。私は、保育科卒業から50年以上たち一生懸命学んだ日々の想い出いっぱいです。
80代になって生かされていることに感謝し、「一日一日成るように成る」を心して生活しています。
ウイングスを通して皆様のご健康とご活躍を祈っています。

●賀川剣史

大阪美術専門学校 デザイン学科 昭和62年卒
グラフィックデザイナーとして神戸で独立し、今年6月で10年目となります。
地域のデザイナーとして、中小企業へ貢献できる活動が続けていきます。

●堀佳世(旧姓・長川)

大阪美術専門学校 デザイン学科 昭和59年卒
なつかしい先生方の消息は毎号たのしみに読ませていただいています。
他の先生方の消息を知りたいです。

ハガキ 短信

●澤 戡三

浪速短期大学 デザイン美術科 昭和 38 年卒
今だになって、デザイン・写真に取り組んでいます。シャープ(株)デザイン本部に入社し 40 年で定年退職。その後は、写真の文化講座講師・県の審査員等活動しています。シャープ社友会では、昨年近況を取り上げてくれ、作品掲載して頂きました。参考まで失礼乍ら同封致しました。



●梶原淳生

大阪芸術大学 写真学科 平成元年年卒

この度ご縁がありまして、令和 3 年 11 月、近鉄上ノ太子駅前に「太子町聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会」様の聖徳太子像(身丈 1.8 mブロンズ製)を建立するプロジェクトにて銅像の制作(原型～鋳造)をさせていただきました。
35 年前、芸大に進学したのは、この為に呼ばれていたのかもしれない。
今になって理由が解ったような気がします。



ハガキ短信に寄せて…

…この数年ハガキ短信を送って下さる方が大変増えて嬉しい限りです。懐かしい思い出や記事についてのご意見、ご自分の活動の様子等々。紙面の都合上そのすべての掲載が出来ないことは残念ですが、皆様とウイングスを繋ぐ欄として今後も多くのお便りをお待ちしております。

書籍・CD・DVD出版

著者・出版物のご案内



BOOK わがままな選択
著者——横山拓也
(大阪芸術大学文芸学科卒)
発行所——株式会社河出書房新社
定価——1,630円+税



BOOK 江戸っ子の食養生
著者——車 浮代
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
発行所——株式会社ワニ・プラス
定価——900円+税



BOOK アートって何だろう
はじめてアートに出会う本
著者——中島裕司
(大阪芸術大学大学院後期 修了)
出版社——保育社
定価——3,000円+税
令和 4 年度児童福祉文化賞「特別推薦作品」
全国学校図書館協議会選定図書



BOOK ゼピュロス
いま、芸術の森へ 第二号
著者——葉山郁生(阪井敏夫)
(大阪芸術大学文芸学科 元教授)
出版社——銀河書籍
定価——1,000円+税



BOOK 自分で色づけ!
図鑑 でんしゃ
著者——井上広大
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——株式会社交通新聞社
定価——1,200円+税



BOOK ほじょりん工場のすまこちゃん
著者・イラスト——安井寿磨子
(大阪芸術大学美術学科卒)
出版社——株式会社 福音館書店
定価——1,100円+税



BOOK とまと
著者——まつおかひろかず
(大阪芸術大学文芸学科卒)
発行所——株式会社文芸社
定価——1,100円+税



BOOK ミスターフィギュアのフォット、一息
著者——恒川憲一
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——セルバ出版
定価——1,760円+税
Kindle版(電子書籍)——1,760円



CD 心のきずな
阿波のふるさと
歌手——東野徳子
(浪速短期大学保育学科卒)
レーベル——株式会社ソルトワークス
定価——1,200円(税込)

書籍・CD・DVD出版

著者・出版物のご案内



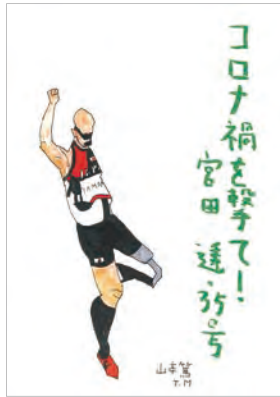
BOOK 第34号フォト&イラスト短歌集
「一日が無事に過ぎますように」
著者——宮田 透
(大阪芸術大学芸術計画学科卒)
発行所——株式会社プラルト
定価——500円(税込)



BOOK 鉄道花札
てつふだ
著者——井上広大
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——株式会社交通新聞社
定価——1,600円+税



CD 人生演歌みち
歌手——東野徳子
(浪速短期大学保育学科卒)
レーベル——トアエンタテインメントジャパン
定価——1,000円(税込)



BOOK 第35号フォト&イラスト短歌集
「コロナ禍を撃て!」
著者——宮田 透
(大阪芸術大学芸術計画学科卒)
発行所——株式会社プラルト
定価——500円(税込)



BOOK ColorPalette of World Masterpieces
著者——高田雄吉
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——バイ インターナショナル
定価——1,600円+税



CD 長生き人生
歌手——東野徳子
(浪速短期大学保育学科卒)



BOOK 第36号フォト&イラスト短歌集
「青空と雲を詠みまし」
著者——宮田 透
(大阪芸術大学芸術計画学科卒)
発行所——株式会社プラルト
定価——500円(税込)



BOOK 淀川八景
著者——藤野恵美
(大阪芸術大学文芸学科卒)
出版社——文春文庫
定価——690円+税

校友会員・各学校の
教職員による
著書・CD 等を
Wings 及び
ホームページで
紹介します。
企画広報委員会まで
寄贈してくださいませ。

大阪芸術大学体育会 アメリカンフットボール部OB会支部

大阪芸術大学体育会アメリカンフットボール部 総監督 岡田 邦彦

Reborn Vipers

いつも応援ありがとうございます。

コロナ禍がなかなか治まらず、昨年に引き続き現役の活動は休部状態が続いております。

ここ数年学生連盟主催のリーグ戦に参加出来ているのは、ほとんどがスポーツ推薦が行われているか、学生数が2万人を超える大学であります。入学してきた学生に勧誘をし入部してもらうような我が校のようなところは人数不足で活動が思うように出来なくリーグ戦も不参加になってしまいます。昨年のWingsにも書かせていただきましたが、コロナ発生前に比べ、アメフトをする学生は約半数になってしまいました。

その上、マスコミにも大きく取り上げられました同志社大学アメフト部員の不祥事により、ますます学生アメフト界は厳しい状況に追い込まれました。今こそ学生スポーツの原点に立ち返る必要があると思います。

我がパイパースの活動は創部以来文武両道をモットーに素晴らしい芸術家、良き社会人になってもらうためのクラブであると位置付けております。

本来アメフトは究極の体力、知力が必要とされるスポーツと言われております。

私自身も大学からアメフトを始めたのですが、その魅力に取り憑かれ、約50年に渡り関わりをさせていただいております。

また、他のスポーツと大きく違う点としてオールマイティーなスポーツ能力は無くても何かひとつ特化したものがあればその部分を突き詰めて鍛えることでチームとして成り立っていく



1970 年頃

ところですよ。個性を伸ばす、これこそ芸大生に最も適したスポーツであると思っています。

なんとしても復活し、グラウンドを駆け巡る学生たちを応援することが全てのOB、OGの願いであります。

毎年のお願ひですが皆様のお知り合いで高校でスポーツクラブに入っていたが(アメフトに限りません)、大学は芸大に行きたいと思っておられる親御様がおられましたらぜひご一報よろしくお願いいたします。

近畿一円であればすぐに勧誘に行かせていただきます。

また、地方においても全国にOBがおりますので出来る限り対応させていただきます。



筆者と同期のメンバー

演奏学科管弦打支部

支部長 山本 恭平



2014年 11 回演奏会 河内長野ラブリールホール

皆様こんにちは。

現在も世界的なコロナ禍の影響下において、日々の生活を送っておりますが、徐々に生活を普通に戻すようになり、感染症対策を行って、大学学内外でも演奏会等活動が開催されるようになりました。

感染者数は減少しましたが、演奏会の開催にも多少なりとも影響することもあります。

大阪芸術大学演奏学科管弦打支部では、定期的と同窓会総会及び同窓生の交流と親睦を兼ねて演奏会(大阪芸術大学卒業生による演奏会大阪芸術大学ヴィルトゥオーゾウインドオーケストラ演奏会)を開催しておりましたが、2020年から開催を中止しております。

塚本学院校友会より交付金(塚本学院校友会社会貢献等支援事業)の支援を賜りましたが誠に残念ながら「2年続けて中止」との判断をさせて頂きました。

「安心して演奏会が開催できる」と判断出来る時まで待ちたいと思います。卒業生の皆様におかれましては、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。演奏会開催の日が早く訪れることを祈り、お互いに笑顔で再会いたしましょう。



2019年 16 回演奏会 地元中学生との共演演奏 PRISM HALL

大学では、卒業生が徐々に教員として大学に戻り後進の指導に携わっていただいています。卒業生が母校に戻り指導いただけることは、大変うれしい事です。これからの学生の成長が楽しみです。

これからの大阪芸術大学演奏会予定をお知らせいたします。

2023 年

3月10日(金) 第44回オペラ公演

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

3月17日(金) ポピュラー音楽コース卒業公演

大阪なんば hatch

3月18日(土) ピアノ・声楽・管弦打コース卒業演奏会

住友生命いずみホール

3公演が開催されます。

現役の学生の活躍をご覧ください。

入場券を希望の方はメールでご連絡いただけましたらご招待券を用意させていただきます。

Mail : y-uemura@osaka-geidai.ac.jp

植村までお願いいたします。



2013年 10 回 同窓会総会 河内長野ラブリールホール

校友会支部を立ち上げませんか

塚本学院校友会支部は、校友会本部との連携をもとに、支部会員相互の親睦と母校の発展に寄与することを目的に活動しています。現在、学科支部が5支部、クラブ支部が3支部、地域支部が1支部、それぞれ活動を展開中です。

会員のみなさんも校友会支部を立ち上げて、互いの親睦を図るとともに、母校の隆盛に貢献しませんか。詳しくは、校友会事務局までお問合せください。

支部運営委員長 奥見 俊晴

校友会事務局 TEL 06-6607-1988 FAX06-6607-7485

映像学科支部「ゲイダイ今昔」

大阪芸術大学 芸術計画学科 学科長 教授 村上 敬造
映像計画学科 V06-105 卒業生



村上 敬造 芸術計画学科学科長

入学は1976年4月、四国愛媛県宇和島市から大阪芸術大学映像計画学科(当時)に入学し、1980年3月に卒業するまでの4年間を大学で過ごした。当時の芸大は、現在の大学全体の敷地に比べると7割程度の敷地の中に旧0号館(現在のアートサイエンス学科)から始まり、7号館(現在の映像学科)の建物に加え、A棟と呼ばれるプレハブの実習棟が建ち、現在の8号館、9号館は未整備の状態で近隣の阪南ネオポリス、一須賀そして大学前の場所に学生が下宿するマンション(アパート)や下宿屋が数多く点在する場所だった。

四国の田舎から出てきたはずの私は、それをしのぐ田舎に大学があることを入学直前に初めて知ることになった。当時の学生の大半は、同じような意見を持っていただろう。現在よりもはるかに北海道から沖縄までの各都道府県から大阪芸術大学を目指しやってきた時代である。我々下宿生たちは、外界からある意味隔離されている様な生活環境の中で大学という学問、演習を極める生活を送る事となった。

今思うと逆にその不便さは、学生たちの創造力や集中力に磨きをかけ、結果、目指した業界の中で頭角を現す卒業生を輩出していったことは、誇らしいことである。またその後、芸術情報センターが建設され、図書館も充実。現在0号館の大教室は無くなったが、その敷地を利用しアートサイエンス学科の校舎が建っている。

映像学科で言えば、撮影所が建設され、7号館1階奥のスタジオは映画館として整備され、A棟を含むプレハブ教室は姿を消し、周辺の敷地を整備し、現在では舞台芸術学科の芸術劇場及び舞台芸術学科、そして念願の体育館が整備された。また、当時グラウンドだった場所には、8号館、9号館も建設され、現在では我々が目にした畑の部分はキャ

ラクター造形学科の学舎に様変わりし、A棟の敷地と池の部分は大学のナイター仕様のグラウンドとなっている。このように、60歳を超えるような卒業生たちが学んだ学び舎は、時代のニーズに合わせてながら大きく大学の施設、設備及び敷地を拡充しながら現在も発展を遂げているのである。卒業生としてまた、芸術計画学科学科長をしながら現在も大学へ通っている日々ですが、今後とも学生たちの夢の第一歩を応援できる大学であり続けていきたいと願っています。



7号館横中庭を望む



7号館旧合同研究室を望む

＜事務局より＞
コロナ渦で止まっておりました総会や記念同窓会は、開催に向け準備を進めています。決定次第、メール及びホームページ等でお知らせいたします。住所変更や入会の方は、映像学科支部事務局まで是非ご連絡ください。
(問い合わせ) 大阪芸術大学 映像学科研究室 映像学科支部事務局 担当：近藤
TEL：0721-93-3781(代)
支部Mail：v-dousou@osaka-geidai.ac.jp
支部HP：https://v-dousoukai-oua.jimdo.com/



映画館(旧スタジオ)を望む

写真学科OB会支部

2021年度活動報告と次回総会のご案内

写真学科OB会支部では2022年2月13日(日)、いまだ感染状況が落ち着かない社会情勢を鑑み、2021年度総会を大阪芸術大学16号館の教室を配信拠点として、WEB会議サービスZoomを利用したオンライン形式で開催しました。総会では役員の改選、会則の改定、会計報告等を「手を挙げる」機能を利用し信任投票を行い、それぞれ可決されました。詳しくはOB会ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。



WEBを使ったオンライン総会で挨拶をする奥見会長

また2021年度より在校生と卒業生の繋がりや、OB会の活動を周知することを目的として写真学科卒業制作においてOB会賞を制定し、毎年一名に賞と記念品を授与することとなりました。賞の選定は写真学科の織作峰子学科長ら担当教員による卒業制作最終審査において決定、栄えある第一回のOB会賞は栗須廉太郎さんが受賞されました。

続いて総会後は卒業生同士の交友を深めるためのイベントとして現在国内外で活躍する卒業生によるトークショーを開催しました。今回は細かく取り集めた町の断片を再構築した”Diorama Map”シリーズで世界的にも活躍中の写真家 西野壮平氏、現在写真学科客員教授で人と自然の関わりをテーマに多数の作品集を出版し活躍される写真家 津田直氏、富山県高岡市で伝統産業である鋳物による斬新な製品を次々と開発し話題を集める株式会社能作 代表取締役 能作克治氏をお招きし、15分間ずつという短い時間でしたが、写真学科を卒業し現在活躍されるまでのエピソードや、近年の作品について興味深いお話を伺う事ができました。

さらに事前に募集したOB会員の近況を知らせる作品やスナップ写真をインターネット上のWEBギャラリーで「写真学科OB会WEB展」を開催しました。当日はZoom上で会場を巡回し、それぞれの作者から一言ずつ近況を報告するギャラリートークも合わせて開催し、画面越しですが旧友との再会の場を作る事ができました。

コロナ渦でのオンライン開催となった今回の総会及びイベントですが、全国のOB会員が一堂に会し、活躍する卒業生の声を聞くことができたのは、オンラインならではのメリットだったのではないのでしょうか。

写真学科OB会支部では2023年総会を2023年2月12日(日)に開催予定です。今回も総会と合わせて記念イベントとして、活躍する卒業生によるトークショー、WEBギャラリーを用いたギャラリートーク、卒業制作展のライブ配信等を計画しております。次回もオンライン開催となりますので、前回参加していただきました皆様にはご友人にもお声がけをお願いします。普段なかなか大阪までお越しいただけない遠方のOB会員の皆様もぜひともご参加ください。

大阪芸術大学写真学科
OB会支部ホームページ

「写真学科OB会」で検索
https://www.photogeidai.com/



写真学科の教室にてオンライン総会の配信を行いました

塚本学院校友会 大阪支部 活動報告

第7回を迎える「大阪芸術大学OB&OG会」、「塚本学院校友会 大阪支部」と承認されてから第3回目の総会が令和4年9月24日(土)に開催される予定でありましたが、コロナ禍のために今年も中止となりました。

今回こそは開催できようと思っておりましたが、8月に大きく陽性者数が上がりましたので、やはり、今年も開催は出来ないかと判断し、中止とさせて頂きました。コロナの感染力は強くなりましたが、コロナに対しての薬も出来ておらず、陽性になると1週間~10日間の隔離療養しか対処のしようがない状況では、無理をして決行することは参加者にご迷惑が掛かるかも知れないと思い、判断いたしました。

ただ、世界的に平常に戻る方向で各国進んでいる状況ですので、次回こそは必ず、開催出来ると信じております。

総会では 毎回、この1年の大阪支部の活動報告の後、参加メンバーの自己紹介、活動発表やイベントの発信を行っておりますが、今回は 数年分の溜まった報告を出席メンバーのみなさんから、発信して頂けるものと思いますし、例年より内容の濃い総会となるように計画したいと思っております。本会は、校友会本部と連携を保ち、支部会員相互の親睦を深め、もって母校に寄与する事を目的としており、今後も学校・学部・年度の枠を飛び越え、色々なところで活躍され

ている仲間たちと交流し、新しい繋がりを広げて行きたいと思っております。

塚本学院校友会で、大阪府に在住・在職している会員及び、大阪府以外に在住・在職している会員でも、目的に賛同して頂ける人を支部員としていますので、ぜひ、入会して頂きたいと思っております。今後も、目的達成に向け、SNS等での情報発信、見学会、発表会、後援会等を行っていききたいと思っております。

次回、2023年の総会も9月最後の土曜日に予定しておりますので、塚本学院校友会 大阪支部 会員の皆様、また新規会員も募集しておりますので、ふるってご参加下さい。

お問い合わせ先

株式会社 スタジオ オット 大林 誠

〒530-0047

大阪府北区西天満1丁目1-11レーベルビル2F

Tel . 06-6363-1591

E-mail : otto_say_0510@yahoo.co.jp

Facebook

<https://www.facebook.com/groups/ouoa84ct/>



役員の選任

支 部 長 大林 誠 (芸大 デザイン学科 インテリアデザイン専攻)

副支部長 辻 健 (芸大 デザイン学科 グラフィックデザイン専攻)

植井和彦 (芸大 デザイン学科 インテリアデザイン専攻)

理 事 下岡 清・吉谷武敏 (お二人とも 芸大 デザイン学科 インテリアデザイン専攻)

金沢ちかこ・西河英里 (お二人とも 芸大 デザイン学科 インテリアデザイン専攻)

野田峰子・前田千寿 (お二人とも 芸大 デザイン学科 グラフィックデザイン専攻)

植村幸治 (芸大 デザイン学科 インテリアデザイン専攻)



2017 第4回 OB&OG会・2次会



2018 第5回 OB&OG会・1次会



2019 第6回 OB&OG会・1次会

学びのフィールド

現代芸術の多彩なフィールドを網羅する、
大阪芸大グループの令和4年度の学科編成

大阪芸術大学

【アートサイエンス学科】

〈研究分野〉
•アートエンターテインメント
•先端デザイン

【美術学科】

•油画コース
•日本画コース
•版画コース
•彫刻コース

【デザイン学科】

•グラフィックデザインコース
•イラストレーションコース
•デジタルメディアコース
•デジタルアーツコース
•プロダクトデザインコース
•空間デザインコース
•デザインプロデュースコース

【工芸学科】

•金属工芸コース
•陶芸コース
•ガラス工芸コース
•テキスタイル・染織コース

【写真学科】

〈研究分野〉
•ファインアート
•プロフェッショナル
•映像表現

【建築学科】

〈研究分野〉
•建築
•環境デザイン

【映像学科】

〈研究分野〉
•映画
•映像
•シナリオ
•映像学

【キャラクター造形学科】

•漫画コース
•アニメーションコース
•ゲームコース
•フィギュアアーツコース

【文芸学科】

〈研究分野〉
•創作(小説・詩・脚本)
•ノンフィクション・文芸批評
•出版・編集
•翻訳・講読

【放送学科】

•制作コース
•アナウンスコース
•先端メディアコミュニケーションコース
•声優コース

【芸術計画学科】

〈研究分野〉
•アートプロデュース
•イベントプロデュース

【舞台芸術学科】

•演技演出コース
•ミュージカルコース
•舞踊コース
•ポピュラーダンスコース
•舞台美術コース
•舞台音響効果コース
•舞台照明コース

【音楽学科】

•音楽・音響デザインコース
•音楽教育コース

【演奏学科】

•ピアノコース
•声楽コース
•管弦打コース
•ポピュラー音楽コース

【初等芸術教育学科】

大阪芸術大学短期大学部

[大阪学舎]

【保育学科】

[伊丹学舎]

【メディア・芸術学科】

•メディアコース
(出版・広告・放送・映像)
•舞台芸術コース
(身体表現・舞台制作)
•ポピュラー音楽コース
•声優コース
•ポピュラーダンスコース

【デザイン美術学科】

•グラフィックデザイン・イラストレーションコース
•空間演出デザインコース
•キャラクター・マンガ・フィギュアコース
•アニメーション・デジタルデザイン・ゲームコース
•工芸・立体デザインコース
•絵画・版画コース
•アートサイエンスコース

大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校

【総合デザイン学科(3年制)】

•グラフィックデザインコース
•デジタルデザインコース
•イラストレーションコース

•プロダクトデザインコース
•インテリアデザインコース

【コミック・アート学科(2年制)】

•マンガコース
•コミックイラストコース
•アニメコース

•フィギュアコース
•美術・工芸コース
(絵画・版画・アクセサリー・陶芸)

研修センター施設のご案内

白 浜
菅平高原

学校法人塚本学院（大阪芸術大学、大阪芸術大学短期大学部、大阪芸術大学附属大阪美術専門学校、大阪芸術大学附属幼稚園）は白浜温泉（和歌山県）と菅平高原（長野県）に研修センターを設置しています。学生・教職員は勿論、卒業生の皆さんも利用する事ができますので、一度訪ねて見ては如何でしょうか？金額もリーズナブルで料理も美味しく管理人さんも親切な方々です。是非ご利用ください。

白浜研修センター

2022年3月に耐震工事も終わり、研修センターが新しく生まれ変わりました。お風呂も源泉かけ流しで湯量も多く体の芯まで温まります。また、白良浜に徒歩3分とロケーションがよく、海水浴の時は水着でも行ける距離にあります。

白良温泉は、歴史も古く三古湯（有馬温泉、道後温泉、白良温泉）に数えられ古くは万葉集や日本書紀にも紹介されています。

白良浜周辺には「エネルギーランド」、特にパンダがいる「南紀白浜アドベンチャーワールド」は大人気です。名称旧跡として「千畳敷」「三段壁」「円月島」等人気があります。温暖な気候で四季折々で楽しめる白浜に是非お出かけください。

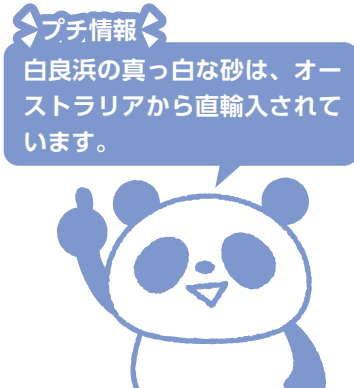


管理人の木村さんから一言

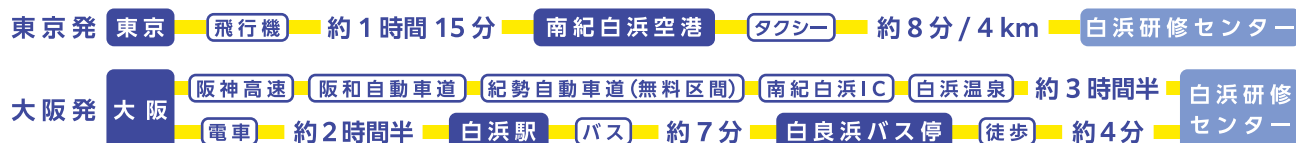
新しく奇麗になった施設に宿泊してみませんか？ここは立地がよくコンビニまで徒歩5分。白良浜まで徒歩3分です。白良温泉は四季折々楽しめるところです。卒業生の皆さんお待ちしています。

白浜研修センターの詳細

- 所在地 〒649-2211
和歌山県西牟婁郡白浜町 1393 番 5
TEL：0739-42-5181 FAX：0739-43-0412
白良浜バス停 徒歩 3 分
- 収容人数 55 名
- 宿泊費 大人 3,000 円 / 子供（小学生以下）500 円
＊宿泊費は卒業生が利用する金額です。
- 食事代 夕食（1,500 円・2,000 円・3,000 円の 3 種類）
朝食 300 円
＊飲食費の 10%を諸経費として徴収します。



白浜研修センターへのアクセス



申し込み方法

各学校の学生課（担当）に空室状況を問い合わせ、申込書に必要事項を記入のうえ各学校に提出してください。（申し込み受付は、1 ヶ月前からです）

大阪芸術大学 〒 585-8555 大阪府南河内郡河南町東山 469 TEL 0721-93-3781 (代表) 0721-93-3267 (学生課) FAX 0721-93-5587	大阪芸術大学短期大学部 大阪学舎 〒 546-0023 大阪市東住吉区矢田 2-14-19 TEL 06-6691-7341 (代表) FAX 06-6692-9404	大阪芸術大学短期大学部 伊丹学舎 〒 664-0001 伊丹市荒牧 4-8-70 TEL 072-777-3353 (代表) FAX 072-777-6058	大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 〒 545-0003 大阪市阿倍野区美章園 2-23-9 TEL 06-6713-4466 (代表) FAX 06-6713-7740
---	--	---	--

菅平高原研修センター

菅平高原は、標高 1250 ～ 1650 m の高原地帯であるため夏でも涼やかな気候で避暑地として、ラグビー合宿の聖地としても有名です。春から秋にかけては様々な種類の草花が楽しめるため観光客に人気があります。冬はパウダースノーでスキー・スノーボードを楽しんでください。また、根子岳や日本百名山の四阿山（あずまやさん）などの登山も楽しむことができます。

菅平から軽井沢、草津温泉や県内の温泉にも車で 1 時間から 1 時間 30 分位で温泉巡りをすることもできます。研修センターではスキーやスノーボードの用具レンタルやウエアーのレンタルも取り扱っています。



管理人の津端さんから一言

研修センターは菅平の中心でスキー場にも近く、2,500 坪の土地に 700 坪の建物にテニスコート 2 面完備しています。料理もすべて手作りで安心して食事をしていただけます。四季折々で楽しめる菅平に、是非一度お出かけ下さい。お待ちしております。

菅平高原研修センターの詳細

- 所在地 〒386-2204
長野県上田市菅平高原 1223 番地 2381
TEL：0268-74-1100 FAX：0268-74-1103
菅平高原天狗バス停 徒歩 5 分
- 収容人数 90 名
- 宿泊費 1泊2食（大人）7,000 円
子供（小学生以下）2,500 円
＊宿泊費は卒業生が利用する金額です
- 施設 テニスコート 2 面



菅平高原研修センターへのアクセス



2022年、放送学科・広告コースは、先端メディアコミュニケーションコースへ。

この校友会誌をお読みになっている皆さまに伺います。「スマホのない生活」なんて、いまさら想像することができますか？そう。世の中のメディア環境は、ここ10年で大きく変化しました。もはや、TV、ラジオ、新聞、雑誌、つまり4マスメディアしかなかった時代は、遠い昔。人々は、スマホを中心に、SNSや動画配信、ネットゲームやVRなど、あらゆるメディアを使いこなしながら、日々を過ごしています。それに伴い、「広告」も大きく変化しました。

マスメディアの時代は、商品を売るために、人々の目を惹きつけるコマーシャルやグラフィックを制作することが重要なテーマでした。けれども今や、それだけでは全く不十分。新しく登場するデジタルメディアを駆使し、「商品」や「ブランド」や「コンテンツ」に注目を集め、話題にしたいアイデアを生み出さなくてはなりません。

それは、巷で「バズる」と言われる取り組み。要するに、「ヒットを生み出すアイデア」の企画です。

だから本年度、コースの名前も変わりました。「広告コース」から「先端メディアコミュニケーションコース」へ。もちろん、カリキュラムも進化します。

このコースは、さまざまなメディアを用いたコミュニケーションの、先端的なアイデアの生み出し方と、実施の技術を、実践的に学ぶことを目指します。

続々と、実践的な取り組みにチャレンジ中

先端のアイデアを生み出すためには、世の中の先端の出来事にチャレンジするのが一番。

そこで、「先端メディアコミュニケーションコース」では、社会と関わりながら実践的な取り組みを行うことに注力しています。

例えば、2025年に開催される、「大阪・関西万博」との連携。

国際博覧会協会が主催する「TEAM EXPO 2025・共創チャレンジプロジェクト」に正式に登録し、「EXPO2025・PR大実験」をテーマに、さまざまな企画アイデアを提案中。2025年の本番に向けて、大阪芸大生ならではの関わり方を、追求していきます。
(<https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/82>)

また、クリエイティブの発想力を高め、実社会における力試しを目的として、各種のクリエイティブアワードに積極的に応募し、実績を積み重ねることで、学生のやる気と自信を育みます。

実際のところ、「先端のメディア」で起きている出来事は、教授陣よりも若者＝学生の方が詳しいことも少なくありません。

したがって、「教え・教わり」の関係ではなく、「一緒にアイデアを考え、企画する」ことが、当コースの醍醐味です。

校友の皆様にも「おもしろい」と言っていたりするような取り組みにチャレンジして参りますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

文責：大阪芸術大学 放送学科 教授 櫛原 廣



2021年度「大阪広告協会・HaHaHa Osaka Creativity Awards」学生部門、入賞者集合写真

2021年度「Brain Online Video Award」学生部門賞、入賞者集合写真

2021年度「EXPO2025・PR大実験」プレゼン時、集合写真

関連動画：<https://www.youtube.com/watch?v=fHriWhva2II>

芸ジャー（芸大体操服）復刻プロジェクト ご報告

前号で事前応募のお知らせを掲載し、懐かしいジャージに想いをはせた方も多かったことと思います。

ハガキ短信にも「締め切られていて残念」、「再版を希望」など多くのメッセージが寄せられました。予定の100セットは約1週間で予約終了となったそうです。一言ご報告まで。

文責：大阪芸術大学 芸術計画学科 学科長 教授 村上 敬造

芸短祭は誰のもの？

短大では昔から大学祭のことを「芸短（げいたん）祭」と呼びます。

今年は10月22・23日（土・日）に開催（大阪学舎は23日のみ）。

伊丹学舎では3年ぶりに外部のお客様の入場を解禁、トークショーゲスト（声優のKENNさん）も迎え、真夏かと思えるほどの暑かったお天気と同様、ステージと模擬店を中心に音楽ライブ・ダンス・演劇等たくさんの出演学生で盛り上がった2日間となりました。

コロナ感染拡大防止のため大幅に規模を縮小した過去2年間の芸短祭を経て、大学祭の在り方が変わってきたような気がします。集客数がどうこうより、在校生ひとりひとりが参加できてるかって、そちらの方が、大事になった。お客さんに楽しんでもらうのも大事だけど、まずは楽しむのは自分。自分が楽しめているからこそ、自分のやりたかったこと、自分の創造したものを周りのみんなも見てほしい、共感してほしい。そんな学生の思い、意気込みを感じました。それに呼応するかのように、今年の伊丹学舎芸短祭のテーマは「個性の花を咲かせろ！」（テーマとなるワードは毎年、学生さんたちが考えてくれます）。

みんなの個性を摘んでくれた今年の「芸短祭」は、みんなの充実感につながったのでは。げいたんに咲き誇る沢山の「個性」たち、今年は、今年も、楽しんでくれたようです（結局毎年楽しいのだけれど）。

スナップ写真からあふれ出る「なんか、たのしいー」感が、このページを見てくださっている卒業生の方達に「なんか、なつかしいー」と伝わりますように…。



いいものがあればお買い物はする



手作り作品がならぶ



メディア・芸術学科の副手さん with はばたん



ダンシング



かつていい人たち



音声学部の人たち



コスプレサークルのコスプレ喫茶



心を和ますメイドさん

写真：大阪芸術大学短期大学部 BLOG より

せいひつ ビセンには静謐があります。



この写真は、前期期間4月から7月までの期間内に、授業を休講された先生方の補講届です。「休講すれば補講をする。」この至極当たり前のことを大阪美術専門学校は粛々と実践しています。大学、短期大学は学校教育法の第1条に掲げられていますが、専修学校である本校は第124条で掲げられている学校なのです。小学校、中学校、高校のように時間制です。

先生の体調不良、先生の急な私事、台風等、休講の理由は様々ありますが、前期15回、後期15回の授業を実施するという、教育の質を図る上で一番基本となることを普通に行っています。講師の先生方の「自分の専門技術をできる限り教えてあげたい。」という熱い思いを抜きにして専門学校は成り立ちません。本校は駅から近いという立地条件が良い反面、その分学生食堂やグラウンドなどを持っていな

いハンディキャップをかかえています。しかしながら学生たちの満足度が高いということは、ひとえに授業への満足度、先生方との関係性に満足しているという結果に他なりません。昨年初めて授業アンケートとは別に「学生生活満足度調査」を実施しました。

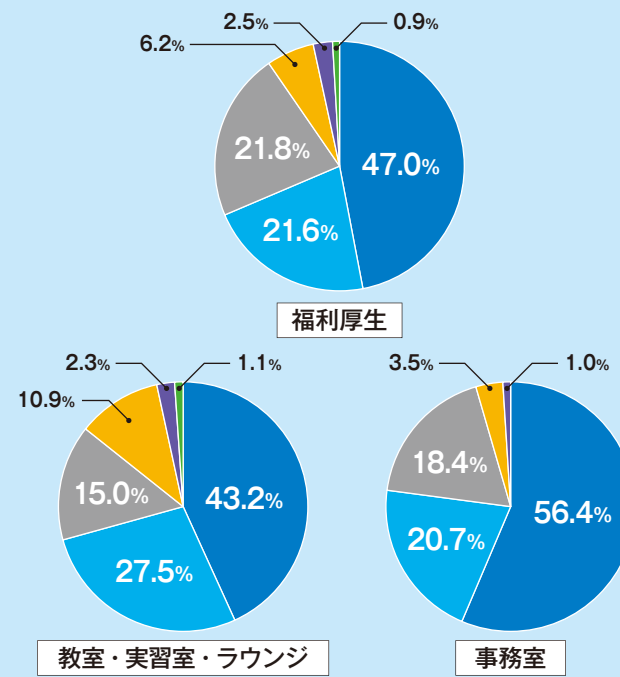
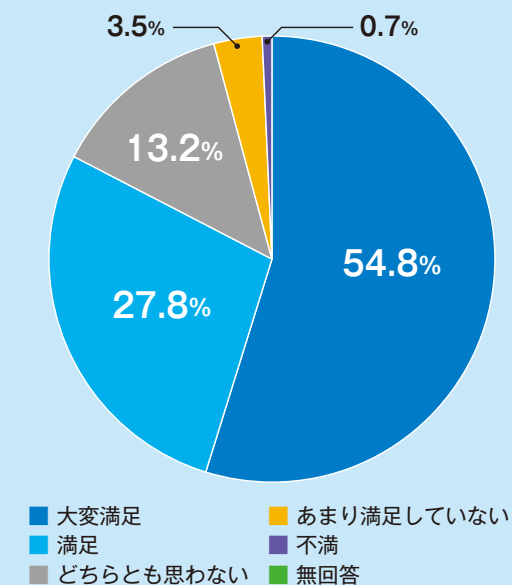
結果は以下のとおりです。学生・先生・設備このトライアングルの中に含まれる要素は、「好きなことに打ち込める喜び」「専門技術を習得する喜び」「自分の専門技術が向上する喜び」これらのこと以外に満足度を上げる要素はありません。

学内には独特の静謐があります。廊下に先生の声は響いていますが、しかしなぜか各教室には静かな空気が流れていて、黙々と制作に励む学生たちは、まさに「ビセン生」なのです。なぜだかとても「So Cool!!」です。

授業以外の活動としては、近隣の自治体からのデザイン依頼や制作物の依頼を引き受けたり、福祉施設への観賞用の作品提供、公共の駅などでの作品展示の他、各企業様から案内いただく数々のコンペティションへの参加などがあります。ビセンは「デザイン美術」の専門学校ですから、粛々と制作活動を続けています。今後も、学生の出席管理をしっかり行い、コロナ禍によって揺れ動いた日々から解放されて、学生と教職員一同、当たり前の日常を過ごしていきたいと願っています。

【満足度調査 2021】

あなたの学生生活は全体的に満足できましたか



塚本学院校友会援助金検討委員会からのお知らせ

学生活動支援制度

塚本学院校友会では、充実した学生生活の創造と社会にとって有用な人材の育成を図ることを目指して、学生個人として修学上有益な自主活動（以下「支援対象活動」という。）に対する支援を行っています。

支援対象活動の例示

公募展への出展、コンテスト、コンクールへの出場、調査・研究

- ※ 1 支援対象経費
支援対象活動を行うために必要な経費
但し、対象外経費に注意してください。（詳細はしおりにて）

支援申請の対象者

（以下の要件を満たしている者）

- 1 大阪芸術大学、大阪芸術大学 短期大学部及び大阪美術専門学校の在学生
- 2 塚本学院校友会の入会手続きを完了していること。（準会員）
- 3 学業を継続する意思と能力がありかつ学業・人物とも優秀であること

支援上限額 10万円

支援金受給制限 年度内1回限り

支援申請用紙について

制度の詳細説明と支援申請書がついた「学生活動支援制度申請のしおり」は、塚本学院校友会ホームページからダウンロードするか、塚本学院校友会事務局にて配布しております。

提出方法

塚本学院校友会事務局へ直接届け出るか、郵送にて提出してください。

締切日

偶数月の末日（末日が休日の場合は翌日）
但し 12月 は第3週の金曜日

支援申請窓口・問い合わせ

塚本学院校友会援助金検討委員会
塚本学院校友会 事務局
〒546-0023 大阪市東住吉区矢田2-14-19
TEL:06-6607-1988 FAX:06-6607-7485
Email:tgkouyukai-3@giga.ocn.ne.jp
HP:http://koyukai.osaka-geidai.ac.jp



令和6(2024)年度 入学試験日程

※入試について詳しくは主催校にお問い合わせください。

■学部入学試験日程

試験種別	試験日	学 科	試験会場	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
総合型選抜入学試験(1期)	令和5年 9月9日(土)～10日(日)	(2日間)全学科共通	本学	WEBエントリー 令和5年9月1日(金)～4日(月)	合格通知 令和5年 11月1日(水)	令和5年11月17日(金) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
				出願可否通知 令和5年9月19日(火)		
				WEB出願<専願制> 令和5年9月20日(水)～9月28日(木) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】(簡易書留速達)		
総合型選抜入学試験(2期)	令和5年 10月8日(日)～9日(月・祝)	(2日間)全学科共通	本学	WEBエントリー 令和5年10月1日(日)～4日(水)	合格通知 令和5年 11月1日(水)	令和5年11月17日(金) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
				出願可否通知 令和5年10月16日(月)		
				WEB出願<専願制> 令和5年10月17日(火)～21日(土) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】(簡易書留速達)		

試験種別	試験日	学 科	試験会場	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
一般選抜入学試験(1期) ※1	令和5年 11月11日(土)	デザイン・写真・映像・文芸 芸術計画・舞台芸術・音楽 各学科	本学	WEB出願 令和5年11月1日(水)～11月6日(月) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】 (簡易書留速達)	令和5年 12月1日(金)	令和5年12月14日(木) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
	令和5年 11月12日(日)	アートサイエンス・美術・工芸・建築・キャラクター造形 放送・演奏・初等芸術教育 各学科	本学			
学校推薦型スポーツ選抜入学試験 ※4	令和5年 11月10日(金)	全学科共通	本学	令和5年11月1日(水)～11月3日(金) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)		
一般選抜入学試験(2期) ※1 【専門試験方式】	令和6年 2月6日(火)	デザイン・写真・映像・文芸 芸術計画・舞台芸術・音楽 各学科	本学	WEB出願 令和6年1月26日(金)～1月31日(水) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】 (簡易書留速達)	令和6年 2月22日(木)	令和6年3月4日(月) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
一般選抜入学試験(2期) ※1※2※3 【共通テスト+専門試験 方式】	令和6年 2月7日(水)	アートサイエンス・美術・工芸・建築・キャラクター造形 放送・演奏・初等芸術教育 各学科	本学			
大学入学共通テスト 利用入学試験(1期) ※3	本学個別の試験は課しません			WEB出願 令和6年1月26日(金)～1月31日(水) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】 (簡易書留速達)	令和6年 2月22日(木)	令和6年3月4日(月) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
大学入学共通テスト 利用入学試験(2期) ※3	本学個別の試験は課しません			WEB出願 令和6年3月1日(金)～3月5日(火) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】 (簡易書留速達)	令和6年 3月15日(金)	令和6年3月22日(金) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)

※1 試験日が異なる学科の併願、及び他の入学試験との併願が可能です。(入学検定料は一律。) ※2 一般入学試験[共通テスト+専門試験 方式]に出願す
※3 一般入学試験[共通テスト+専門試験 方式]及び大学入学共通テスト利用入学試験(1期)(2期)の出願者は、令和6年1月13日(土)・14日(日)に実
※4 スポーツ推薦入学試験においては事前に出願資格審査があります。詳細は「2024年度 学校推薦型スポーツ選抜入学試験学生募集要項」をご確認ください。

ると、自動的に一般入学試験[専門試験方式]及び大学入学共通テスト利用入学試験(1期)でも選考します。
施される大学入学共通テストを受験してください。(令和6年度 大学入学共通テストの出願期間は令和5年10月上旬頃です。)

■編入学試験日程

試験種別	試験日	学 科	試験会場	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
3年次編入学	令和5年 11月11日(土)	デザイン・写真・映像・文芸 芸術計画・舞台芸術・音楽 各学科	本学	WEB出願 令和5年11月1日(水)～11月5日(日) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】 (簡易書留速達)	令和5年 12月1日(金)	令和5年12月14日(木) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
	令和5年 11月12日(日)	アートサイエンス・美術・工芸・建築・キャラクター造形 放送・演奏・初等芸術教育 各学科	本学			

芸術研究科 博士課程〔前期〕 【芸術文化学専攻・芸術制作専攻】	試験種別	試 験 日	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
	1期入学試験	令和5年11月10日(金)	令和5年10月16日(月)～10月23日(月) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)	令和5年11月17日(金)	令和5年12月8日(金) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)
	2期入学試験	令和6年2月22日(木)	令和6年2月2日(金)～2月9日(金) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)	令和6年3月7日(木)	令和6年3月15日(金) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)
芸術研究科 博士課程〔後期〕 【芸術専攻】 (芸術文化学研究分野・芸術制作研究分野)	試 験 日	出願期間		合格発表日	入学手続締切日
	令和6年2月22日(木)	令和6年2月2日(金) 【郵便局消印有効】	～2月9日(金) (簡易書留速達)	令和6年3月7日(木)	令和6年3月15日(金) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)

※社会人特別選抜入学試験も同様の日程

◆大阪芸術大学短期大学部 ●お問い合わせ／大阪芸術大学短期大学部 伊丹学舎 事務室 TEL 072-777-1842 URL <https://osaka-geitan.jp>

試験種別		エントリー受付期間	試験日	出願期間	合格発表日	手続締切日
総合型選抜入学試験 (専願)	1期	令和5年 9月 1日(金)～ 9月 4日(月)	令和5年 9月 9日(土)	令和5年 9月20日(水)～ 9月25日(月)	令和5年11月 1日(水)	令和5年11月20日(月)
	2期	令和5年 9月28日(木)～10月 2日(月)	令和5年10月 9日(月・祝)	令和5年10月16日(月)～10月20日(金)	令和5年11月 1日(水)	令和5年11月20日(月)
	3期	令和5年11月16日(木)～11月20日(月)	令和5年11月25日(土)	令和5年12月 3日(日)～12月 8日(金)	令和5年12月16日(土)	令和6年 1月10日(水)
	4期	令和6年 2月11日(日)～ 2月14日(水)	令和6年 2月20日(火)	令和6年 2月26日(月)～ 2月29日(木)	令和6年 3月 6日(水)	令和6年 3月13日(水)

試験種別	試験日	出願期間	合格発表日	手続締切日
学校推薦型選抜指定校制 入学試験(専願)	令和5年11月11日(土)大阪 令和5年11月12日(日)伊丹	令和5年 11月1日(水)～11月6日(月)	令和5年12月1日(金)	令和5年12月15日(金)
一般選抜入学試験(1期)				
一般選抜入学試験(2期)	令和6年2月14日(水)	令和6年 2月1日(木)～2月7日(水)	令和6年2月22日(木)	令和6年3月7日(木)
一般選抜留学生 入学試験		令和6年 1月25日(木)～1月31日(水)		
共通テスト利用 選抜入学試験		令和6年 2月1日(木)～2月7日(水)		
一般選抜入学試験(3期)	令和6年3月11日(月)	令和6年 3月4日(月)～3月8日(金)	令和6年3月14日(木)	令和6年3月22日(金)

期日は予定の為、変更になる場合がありますので短大ホームページにてご確認ください。

◆大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校 ●お問い合わせ／大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校 入学センター TEL 0120-06-2239 URL <https://www.bisen.ac.jp/>

試験種別		エントリーシート提出期間	選考日	入学選考結果通知	出願期間	合格発表	入学手続締切日		
A O 入 学 試 験 (専願)	1期	2023年 6月 1日(木)～ 6月12日(月)	6月18日(日)	各選考日の 翌 2 日以内に 発送	9月 1日(金) ～ 9月13日(水)	各志願書提出 締切日より 翌 3 日以内に 発送	11月16日(木)		
	2期	2023年 6月28日(水)～ 7月10日(月)	7月16日(日)						
	3期	2023年 7月19日(水)～ 7月31日(月)	8月 6日(日)		～12月 4日(月)		12月18日(月)		
	4期	2023年11月 1日(水)～11月13日(月)	11月19日(日)						
	5期	2024年 1月10日(水)～ 1月22日(月)	1月28日(日)					～ 2月13日(火)	2月27日(火)
	6期	2024年 2月 7日(水)～ 2月19日(月)	2月25日(日)					～ 3月 6日(水)	3月19日(火)

試験種別	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
指定校制推薦入学試験(専願)	2023年10月 2日(月)～10月10日(火)	10月15日(日)	試験日の 翌2日以内に 発送	11月16日(木)
	2024年 1月17日(水)～ 1月31日(水)	2月 7日(水)		2月26日(月)
授業料全額免除入学試験	2023年10月 2日(月)～10月20日(金)	10月29日(日)		11月16日(木)
自己推薦入学試験	2024年 1月17日(水)～ 1月31日(水)	2月 7日(水)		2月26日(月)
社会人入学試験	2024年 2月28日(水)～ 3月13日(水)	3月20日(水・祝)		3月27日(水)必着

図書館の利用について



大阪芸術大学

卒業後の図書館利用

開館日であれば利用いただけます。
貸出の有無を問わず、入館には図書館利用者カードの発行及び事前申込(予約)が必要です。

- ※利用予定の開館日前日(休館日を除く)15:00までに、図書館ウェブサイト内の利用予約フォームより利用申込みを行ってください。
- ※お申し込み時には塚本学院校友会正会員番号が必要になります。
- ※図書館利用者登録(利用者カードの発行)及び更新手続には、現住所を確認できる身分証明書(運転免許証・パスポート等)が必要です。＜当日持参＞
- ※図書館利用者カードの有効期限は発行日から1年間です。

大阪芸術大学短期大学部

- ※開館日であれば、大阪・伊丹キャンパスとにもご利用いただけます(ただし館内利用に限ります)。
開館日時等は、大阪芸術大学短期大学部図書館サイト(http://lib-op3.osaka-geidai.ac.jp/opac/opac_search/)にてご確認ください。
- ※ご来館の都度、カウンターにおいて身分証明書(運転免許証、パスポート等)のご提示とともに大阪芸術大学グループ校卒業生の有無について確認させていただきます。
- ※AV資料(DVD等)の視聴をご希望の場合、利用者登録の手続をしていただくことになりますので、ご了承ください。

大阪美術専門学校

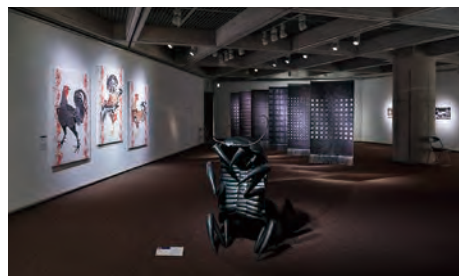
本校の図書室は、スペースが狭く、外部の方には開放していません。
授業内でのコピー作業に教員も利用するスペースとなっています。
大阪芸術大学グループの在学生や卒業生の方にもご利用はお断りしていますので、ご了承ください。

The information of the Graduation Work Exhibition
2023 卒業制作展のご案内

大阪芸術大学
卒業制作展

学内展

「令和4年度 大阪芸術大学 卒業制作展」
期間：令和5年2月12日(日)～19日(日)
11:00～17:00
会場：大阪芸術大学
※同時に芸術情報センター展示ホールにて
「優秀作品展」を開催



学外展

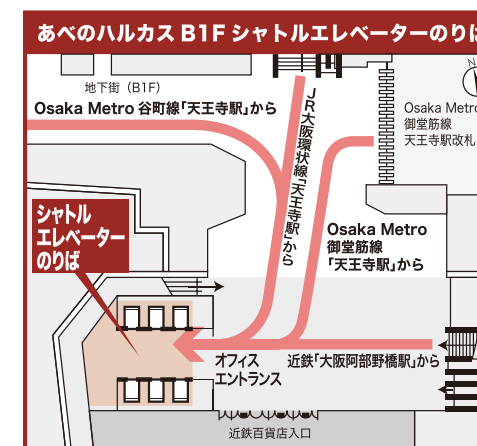
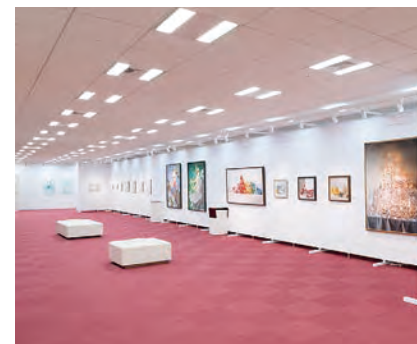
○大学院
「令和4年度 大阪芸術大学大学院 修了制作展」
期間：令和5年2月7日(火)～17日(金)
11:00～19:00 (入場は18:30まで)
会場：大阪芸術大学スカイキャンパス
〔休館日 2/13(月)〕

○芸術学部・短期大学部・大阪美術専門学校
「令和4年度 大阪芸術大学グループ
卒業制作選抜展」
期間：令和5年2月24日(金)～3月5日(日)
11:00～19:00 (入場は18:30まで)
会場：大阪芸術大学スカイキャンパス
〔休館日 2/27(月)〕

※詳細については、大阪芸大ウェブサイトをご確認ください。

■大阪芸術大学スカイキャンパス

〒545-6090 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス 24F
TEL 06-6654-5557
※あべのハルカスには本学専用駐車場がございません。恐れ入りますが公共交通機関をご利用の上、ご来場ください



あべのハルカス B1F オフィスエントランスよりシャトルエレベーターをご利用ください。(17F オフィスロビーにて、オフィスエレベーター(低層用)に乗り換え)

大阪芸術大学
短期大学部
卒業制作

学内展(メディア・芸術学科)(デザイン美術学科)
期間：2023年2月7日(火)～12日(日)
10:00～16:00
会場：大阪芸術大学短期大学部 伊丹学舎

学外公演

○メディア・芸術学科 舞台芸術コース
期間：2023年2月18日(土)
会場：川西市みつなかホール

○メディア・芸術学科 ポピュラーダンスコース
期間：2023年2月27日(月)
会場：あましん アルカイックホール オクト

○メディア・芸術学科 ポピュラー音楽コース
期間：2023年3月12日(日)
会場：ビルボードライブ大阪



▲メディアコース



▲声優コース(卒公ゲネプロ)



▲舞台芸術コース卒業公演



▲舞台芸術コース卒業公演2



▲ポピュラーダンスコース卒業公演



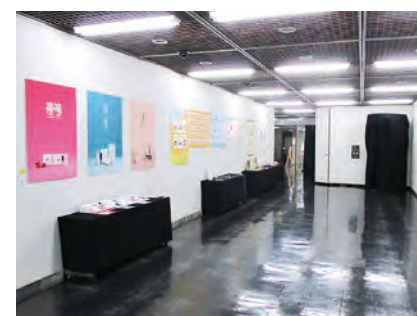
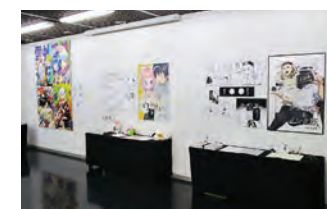
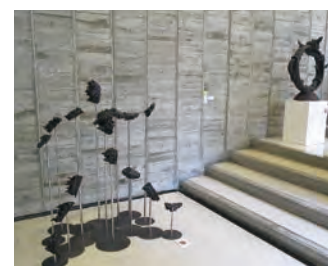
▲ポピュラー音楽コース卒業ライブ



▲ポピュラーダンスコース卒業公演2

大阪芸術大学附属
大阪美術専門学校
卒業制作展

期間：2023年2月11日(土)～14日(火)
10:00～17:00
会場：大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校





Business Card Ad

1969年に設立された塚本学院校友会は、多くの皆さまが芸大グループに集い、学ばれました。2022年現在、その数は約114,000人を越え、卒業生はさまざまな業界で活躍されています。

「WINGS」は、学部、学科、世代が異なる卒業生をつなぐ縦系・横系の働きをするものと考えています。そこで、巣立っていかれた卒業生の皆さま同士が発展的な交流を生み出し、そして新たな価値創造を行う場として校友会会員企業広告を掲載いたします。同窓生（卒業生）の名刺型広告の掲載をお待ちしています。

外構・造園設計施工
株式会社 田中造園

取締役 末廣 茂
営業部長

大阪芸術大学 芸術学部 環境計画学科造園コース 昭和57年卒

本店 〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町9-48
TEL 06 (6773) 3376
支店 〒585-0004 大阪府南河内郡河南町山城639
TEL 0721 (93) 3119 FAX 0721 (93) 4674
携帯番号 090-3272-7651
E-mail t-suehiro@power.odn.ne.jp



池田 康子創作舞踊 YJW
トータルセラピー ラビス・ヤスコの部屋
ホリスティックケアサロン：サロン・ド・ラビィ

YJW主宰 池田 康子

大阪芸術大学 舞台芸術学科 舞踊コース卒業

〒557-0042 大阪市西成区岸里東1-5-22C
e-mail : yasuko.jw@nifty.com
https://www.facebook.com/Totarudansuyjw
舞踊デザイナー・衣装コーディネーター・トータルセラピスト

社会福祉法人 南河学園
児童養護施設 南河学園

副園長 伊山千鶴子

浪速短期大学 保育科 1975年3月卒

大阪府柏原市国分本町7丁目6-14
TEL 072-975-2200
FAX 072-975-2224



みやび流 押絵
四代目

小西 聡甫

浪速短期大学 デザイン美術学科 1996年3月卒

〒659-0035 兵庫県芦屋市公光町3-15
TEL&FAX : 0797-34-1001
E-mail : ZWU00307@nifty.ne.jp
https://www.facebook.com/soho.oshie

一級建築士事務所
スズキ デザイン オフィス

鈴木儀雄
大阪芸術大学 デザイン学科インテリア専攻 (1969年度卒)
鈴木由慶
大阪芸術大学 建築学科 (1999年度卒)

〒542-0061
大阪市中央区安堂寺町1-3-12 大阪谷町ビル7F
TEL 06-6796-7057 FAX 06-6796-7058
yoshio.suzuki@s-d-o.info http://www.s-d-o.info

株式会社 スタジオオー

STUDIO O

OSAKA/TOKYO

大阪芸術大学 環境計画・建築・デザイン 卒業

龍田 修 E-1 ・ 金野 武治 E-83 ・ 大森 泰博 E-95 ・ 前田 拓志 E-97 ・ 松本 達郎 A-00
住友 優 ED-03 ・ 中尾 智明 ED-04 ・ 長谷川 貴大 A-04 ・ 横上 和典 D-07

大阪 〒558-0052 大阪市住吉区帝塚山西1丁目1番25号 TEL 06 (6653) 5307
東京 〒135-0023 東京都江東区平野2丁目16番20号 TEL 03 (3641) 0880

WAY OUT

CREATIVE DESIGN OFFICE

HAND PHONE 090-3277-2129 造形作家

TEL 0721-93-6868

FAX 0721-93-4687

壺井 勘也

大阪芸術大学 美術学科 1977年3月卒

http://www.geocities.jp/kfwgk261/ 585-0005
E-mail kanyatsuboi@ybb.ne.jp 大阪府南河内郡河南町大宝5-3-12

レーザーショー演出・イルミネーション・ライトアップ

ヴィーナスレーザー株式会社

代表取締役・レーザーデザイナー

奥平 賢浩 (M90卒業)

平成5年度 大阪芸術大学 音楽学科 卒業 (M90011)

〒111-0056 東京都台東区小島2-12-3
TEL 03-5826-4561 FAX 03-5826-4562
http://www.venuslaser.jp



取締役COO

圓林 真吾

大阪芸術大学 文芸学科 2003年3月卒

株式会社 メディアオーバースプラス

Address 神戸本社

〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通5丁目1-14

神戸商工貿易センタービル18F

Tel 078-222-1311 (代表)

E-mail marubayashi@mediaopusplus.com



伝統的工芸品 寄木細工専門店
箱根丸山物産

代表取締役

丸山 一郎

昭和62年度 大阪芸術大学 工芸学科 卒業

有限会社 箱根丸山物産

箱根からくり美術館

箱根開発株式会社

〒250-0520 神奈川県足柄下郡箱根町箱根17番地

TEL 0460-83-6604 FAX 0460-83-7825

HP www.hakonemaru-yama.co.jp



子育てのこと、お気軽にご相談ください。

〈職員募集〉

社会福祉法人 若福会

理事長 福永 亮碩

浪速短期大学 広報科
1964年3月卒

児童養護施設
若江学院

・ショートステイ ・トワイライトステイ

大阪府東大阪市西岩田1-2-8

TEL : 072-962-1808

FAX : 072-962-1807

指定障害福祉サービス
若江障害者センター

・短期入所事業 ・日中一時支援事業

大阪府東大阪市西岩田1-2-14

TEL : 072-961-0009

FAX : 072-961-0006



企画広報委員はこの名刺を持って取材含め他の活動に対応致しております。



E-mail: yama3007-1@rondococur.ne.jp

電話 0797-35-5676

兵庫県芦屋市大原町11-4

郵便番号 650-0092

大阪芸術大学 デザイン学科 1968年

山脇 悠一郎

代表取締役

株式会社
山脇デザインオフィス

photo boutique NON co.,ltd.
株式会社 フォトブティック・ノン

代表取締役社長

吉田 昇

浪速短期大学 デザイン学科写真専攻 1964年3月卒

〒565-0853 吹田市春日4丁目20番3号
TEL 06-6385-0107 FAX 06-6338-1626
E-MAIL : p-non@chive.ocn.ne.jp



株式会社 渡辺石整舎

代表取締役

渡辺 創太

大阪芸術大学 美術学科 1990年3月卒

〒660-0864 尼崎市東桜木町22
TEL 06-6411-0205
FAX 06-6411-1588
http://www.watanabesekiseisha.jp

WINGS vol.44

執筆等、お世話になった方々

秋田 康	大下 靖子	日下部 一司	辻本 恵子	福原 成雄
浅川 哲弥	大杉 基也	小山 保広	津端 正廣	増田 敏也
石川 成利	大林 誠	榑原 廣	中瀬 洋一	松井 桂三
伊藤 尚子	大船 光洋	坂本 ひとみ	中西 學	松本 セイジ
井上 千鶴	岡田 清子	佐々木 仁司	中野 木綿子	村上 敬造
岩崎 純	奥見 俊晴	島村 和香子	長谷川 貫	森 隆嘉
岩瀬 美保	奥村 芙未	首藤 由美子	長谷川 政弘	安井 寿磨子
岩竹 彩華	片岡 昭夫	杉崎 真之助	長谷川眞由美	山本 恭平
鵜飼 隆	川西 純市	高田 雄吉	浜崎 広	山本 善一郎
圓光 弘一	木寅 篤人	高山 巧	林 洋一	
大倉 博	木村 圭志	竹見 仁子	広瀬 まり	

ウイングス編集の行程で大変お世話になりました
塚本学院校友会 事務局 事務局長／細見 勲さん 職員／柴田 稔子さん 松本 晴名さんに感謝します。

企画広報委員会

担当副会長 竹内 美子	委 員 金沢 ちかこ	委 員 東陰地 正喜
委 員 長 田村 昭彦	委 員 木下 淳史	委 員 平松 佑介
副 委 員 長 竹垣 恵子	委 員 薩摩 嘉克	委 員 福留 愛生
委 員 岡田 邦彦	委 員 下村 宗生	委 員 山口 俊介
委 員 吉田 昇	委 員 菅原 広司	委 員 吉川 幸夫
委 員 植村 幸治	委 員 豊田 千晶	委 員 和田 貢
委 員 楓井 由美	委 員 東 真一郎	各地の会員情報取材スタッフ

編集後記



自薦あり他薦あり、依頼原稿ありと様々なかたちで編集された Wings です。
取材スタッフは、御自身の仕事を後回しにして多忙な中、そしてコロナ禍と云う現状で、素敵な記事を書いていただきました。感謝致します。
事務局長 細見勲様、柴田稔子様、そして取材、撮影、印刷原稿の校正等々、信頼できる強力なスタッフ
松本晴名様には大変御世話になりました。広報委員会を代表して心より御礼申し上げます。



塚本学院校友会誌と云うタイトルから Wings への移行辺りで、松井公一、工藤皇、故 三木幹久、井上誠治、各氏と編集内容等を話し合った時期があり、その中で凸凹母校のネーミング案も出ました。さらには校友会の存在意義、目的等々の話題が出た記憶があります。
35～6年前だったかと懐かしく思い出します。これからも進化して発展することを祈るばかりです。



細見事務局長が2022年12月に退職されます。16年に渡り、校友会の大変な事務をお引き受けいただきました、お疲れ様でございました。そしてありがとうございました。
細見様の後任には、大阪芸術大学グループの事務局に勤められていた芝野晴夫様が今年より塚本学院校友会事務局に来られます。

校友会役員で企画広報委員会スタッフ、香川文人氏 2022年8月、齋藤信氏 同年11月に他界されました。
二人は、同じ高校だったと聞いています。
先輩の齋藤氏は何事にも慎重に対峙する、子供の様な澄んだ丸い目をした男で、後輩の香川氏はまだ学生気質を持った、すこしヤンチャでシャイな男であった。
二人共に人懐っこい魅力的な人間でありました。

合掌

企画広報委員長 田村昭彦

母校と校友を結ぶ コミュニケーション誌『WINGS』に 広告を掲載しませんか？

校友会では、広報誌やホームページを広告媒体として、異業種交流の一環、「企業と個人」のコミュニケーションを図るというコンセプトで企画しました。

■媒体概要

発行形態：年1回発行（次号予定は、2024年1月予定） 判型：A4版（天地 297× 左右 210mm）無線綴じ 印刷方式：オフセット輪転印刷（全ページカラー）

配布方式：会員名簿に基づき、会員へ無料で郵送

発行部数：70,000部（令和4年度実績） 募集規格：天地 52 × 左右 87 mm

掲載料：1回1枠 10,000円（税込）

■お申し込み、お問い合わせは、塚本学院校友会 事務局

〒546-0023 大阪市東住吉区矢田 2-14-19

TEL：06-6607-1988 / FAX：06-6607-7485

E-mail：tgkoyukai-3@giga.ocn.ne.jp

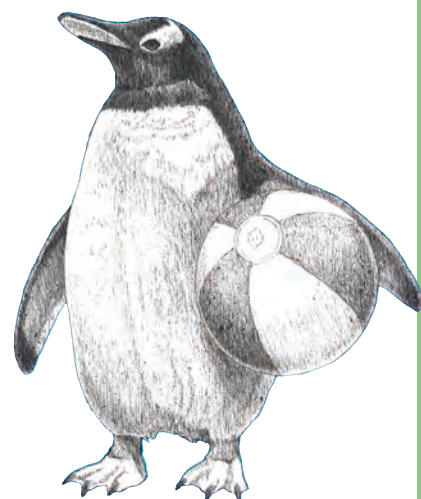


卒業生（校友会員）の展覧会・コンサートなどの活動報告や、校友会事務局からのお知らせなどを掲載しています。広報誌『WINGS』のバックナンバーもデジタルBOOKで閲覧できます。

又、校友会員から提供されました。催物・音楽会等の招待券も事務局まで連絡いただきましたら送付します。是非会員の作品等を観賞してください。

塚本学院校友会ホームページ

<http://koyukai.osaka-geidai.ac.jp>



準備万端ービーチボールー
久保田 晴名 (MS11038)
2024年度 大阪芸術大学大学院
博士課程(前期) 修了